

平成 24 年度 事業報告 1 年のあゆみ

H24.4.1▶H25.3.31

も く じ

平成 24 年度事業等の実施概要	1
第 1 地域福祉の推進	2
1 市町村社会福祉協議会への支援と協働	2
2 ボランティア活動の振興と関係団体等との連携・協働	13
3 民生委員・児童委員活動との連携・協働	20
4 生活困窮者等に対する資金の貸付と支援	22
5 福祉安心電話サービス事業の推進	26
6 一人暮らし高齢者等に対する見守り活動の推進	32
7 広報、啓発活動の充実	33
8 第 61 回青森県社会福祉大会の開催	34
9 当事者活動への支援と連携	35
10 東日本大震災に係る県外避難者への支援（新）	47
第 2 利用者の利益を守る事業の推進	48
1 日常生活自立支援事業の充実	48
2 苦情解決事業の推進	55
3 福祉サービス第三者評価の推進	59
4 障害者権利擁護事業の実施（新）	64
5 地域生活定着支援事業の推進	66
第 3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進	72
1 介護サービス事業所の情報の公表	72
2 社会福祉施設経営支援事業の推進	73
3 福利厚生事業の推進	77
4 福祉サービス第三者評価事業の実施	82
5 地域密着型サービスの外部評価事業の実施	83
第 4 福祉を担う人材の確保・養成	84
1 福祉人材センター事業の推進	84
2 介護知識や技術、並びに介護機器の普及	92
3 社会福祉従事者及び経営者に対する研修の推進	102
第 5 組織・経営基盤の強化	107
役職員が参画している関係機関・団体が主催する会議・委員会等	111
全国及び北海道・東北ブロック会議	114
本会の組織	116
事務局組織図	117
会務の運営	118
会員等の状況	122

平成24年度事業等の実施概要

本会の基本理念に掲げる「住民が支えあい、だれもがその人らしく健やかで安心して暮らせる福祉社会」の実現のため、活動指針に基づき、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係社会福祉団体、そして県との連携の下で各種事業を実施した。

また、平成21年度に発覚した不祥事等により失われた信頼回復のために、内部監査の実施等、内部けん制体制の整備にも継続して取り組んだ。さらに、新たな福祉安心電話サービス事業の普及啓発に取り組んだほか、県内の祭りを通じた障がい者等の社会参加活動の拡充、障がい者への虐待防止や解決を図る障害者権利擁護事業に取り組んだ。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災への対応として、新たに県外避難者支援のための電話による相談対応に取り組んだほか、社会福祉施設を対象とした災害時における地域支援に係る研修会に取り組んだ。

第1 地域福祉活動の推進

地域福祉活動の中核である市町村社協や青森県市町村社協連絡会、民生委員・児童委員と連携・協働し各事業・活動を進めるとともに、ボランティア活動の支援や各関係機関・団体等の活動支援を目的として、新たに子育てイベント用品貸出事業を実施した。また、東日本大震災における県外からの避難者に対する支援を実施したほか、新たな福祉安心電話サービス事業の拡充に向けて各種イベントへ出展するなど、普及・啓発に取り組んだ。

第2 利用者の尊重と利益を守る事業の推進

総合的な福祉ニーズを抱える利用者を支援することを目的として、日常生活自立支援事業や成年後見制度に関わる事業、資金貸付事業等を実施した。また、利用者の利益の保護を目的として、福祉サービスの利用者やその家族からの苦情を中立公平な立場から解決する苦情解決事業を実施したほか、新たに障がい者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応等を行うことを目的として、障害者権利擁護事業を実施した。

第3 福祉サービス事業者への経営支援と人材育成の推進

良質な福祉サービスを提供するための高い専門性を備えた人材の確保・養成を目的に、就労希望者への就労斡旋と職場とのマッチングを支援するとともに、次代の福祉人材を養成するための研修事業を実施したほか、災害時における社会福祉施設等の地域支援のあり方や役割に係る研修会や相談対応を行う経営支援アドバイザーを設置した。また、質の高いサービスの提供と利用者が適切にサービスを選択出来るように、介護サービス情報の公表制度を実施したほか、地域密着型サービスの外部評価事業や福祉サービス第三者評価事業、福祉現場で働く職員のための福利厚生事業を実施した。

第4 組織・経営基盤の強化

事務執行能力の強化と内部統制機能の向上に向けて、職員特別研修や内部監査の実施、顧問会計士による財政及び経理に関する指導・助言を受けながら、適正な管理・運営と職員の意識向上を図った。

第1 地域福祉の推進

1 市町村社会福祉協議会への支援と協働

市町村社会福祉協議会が地域福祉の推進主体としての役割を発揮し、福祉コミュニティづくりや継続的なサービスの提供を行えるよう支援を行うとともに、運営基盤の更なる強化に向けて巡回訪問を実施した。

(1) 市町村社協の事業活動及び企画・調整への支援

①市町村社協との連携強化と地域福祉推進への支援

ア) ほのぼのコミュニティ21推進事業への支援

期 日	市町村	内 容
平成 24 年 6 月 26 日 (火)	つがる市稲垣	ほのぼの交流協力員委嘱状交付式及び稲垣地区社会福祉協議会事業推進会議において「地域社会におけるほのぼの交流協力員の役割と意義について」講演を行った。
9 月 7 日 (金)	蓬田村、黒石市、五所川原市、横浜町、野辺地町、六戸町、階上町	市町村社協連絡会地域福祉推進部会において、ほのぼのコミュニティ 21 推進事業の取り組み状況と課題について協議したほか、平成 24 年度における本事業の取り組みの考え方等を提示した。
11 月 29 日 (木)	田舎館村	見守りネットワーク研修会において「住み慣れた地域で安心して暮らすために」について講演を行った。
平成 25 年 2 月 22 日 (金)	板柳町	見守りネットワーク研修会において「地域での孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせるまちづくり」について講演を行った。
	野辺地町	見守りネットワーク研修会において「見守り活動について」講演を行った。
3 月 4 日 (月)	青森市野内	ほのぼの交流協力員研修会において「ほのぼのコミュニティ 21 推進事業について」講演を行った。
3 月 7 日 (木)	三戸町	ほのぼの交流協力員研修会において「見守り活動について」講演を行うほか、ディスカッションでのコーディネーター役を行った。
3 月 20 日 (水)	つがる市木造	ほのぼのネットワーク研修会において「見守り活動について」講演を行った。
	つがる市車力	
3 月 21 日 (木)	つがる市森田 つがる市柏	
3 月 27 日 (水)	平内町	ほのぼのコミュニティ 21 推進事業協力員委嘱状交付式及び研修会において「見守り活動について」講演を行った。

イ) 地域福祉活動計画の策定支援

期 日	市町村	内 容
平成 24 年 7 月 5 日 (木)	中泊町	安心生活基盤整備事業についての進め方等について協議し、地域福祉活動計画の策定に向けての助言等を行った。
10 月 29 日 (月) 12 月 11 日 (火) 平成 25 年 2 月 15 日 (金)	田子町	地域福祉活動計画策定委員会に委員として出席し、助言等を行った。

ウ) 青森県市町村社会福祉協議会連絡会の経営支援

【会務の運営】

○総会の開催

40市町村社協会長を構成員とし、年1回開催。

期 日：平成24年6月4日（月）

会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」

出席者：38社協（委任状9社協）

○監査会

平成23年度事業について業務の執行及び会計の状況について監査した。

期 日：平成24年5月17日（木）

会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」

出席者：2人（会長1人、監事1人）

○正副会長幹事会合同会議

第1回 総会に付議すべき事項について協議・調整を行った。

期 日：平成24年5月17日（木）

会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」

出席者：7人（会長1人、副会長2人、監事1人、幹事3人）

第2回 事業の中間報告、次年度事業計画等について協議・調整を行った。

期 日：平成25年2月18日（月）

会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」

出席者：8人（会長1人、副会長2人、幹事5人）

○法人経営部会

第1回 内部牽制体制の強化、新会計基準移行について協議・調整を行った。

期 日：平成24年10月22日（月）

会 場：県民福祉プラザ「ボランティアルーム」

出席者：12人（部会員10人、幹事2人）

第2回 内部牽制体制の強化、新会計基準移行、次年度の部会の事業計画について協議・調整を行った。

期 日：平成25年2月25日（月）

会 場：県民福祉プラザ「共用研修室Ⅰ」

出席者：10人（部会員9人、幹事1人）

○地域福祉推進部会

第1回 市町村社協における災害時対応体制の整備、災害協定の締結、ほのぼのコミュニティ21推進事業の課題等について、協議・調整を行った。

第1 地域福祉活動の推進

期 日：平成24年9月7日（金）
会 場：県民福祉プラザ「共用研修室Ⅰ」
出席者：9人（部会員7人、幹事2人）

第2回 市町村社協における災害時対応体制の整備、災害協定の締結、ほのぼのコミュニティ21推進事業の課題、自己評価指針の改訂、次年度の部会の事業計画等について、協議・調整を行った。

期 日：平成25年3月4日（月）
会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」
出席者：7人（部会員6人、幹事1人）

○介護保険等部会

第1回 介護保険事業経営診断結果、介護職員ネットワーク研修会、平成24年度介護保険事業所便覧の様式等について協議・調整を行った。

期 日：平成24年4月12日（木）
会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」
出席者：11人（部会員10人、幹事1人）

第2回 介護職員ネットワーク研修会の報告、介護事業所便覧等について協議・調整を行った。

期 日：平成24年9月26日（水）
会 場：県民福祉プラザ「県社協会議室」
出席者：7人（部会員6人、幹事1人）

第3回 平成25年度の介護職員ネットワーク研修会、介護事業所便覧様式、次年度の部会の事業計画等について協議・調整を行った。

期 日：平成25年2月27日（水）
会 場：県民福祉プラザ「共用研修室Ⅰ」
出席者：6人（部会員6人）

【研修事業】

○社協役職員セミナーの実施

期 日：平成24年6月4日（月）
会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」
参加者：88人
演 題：地域福祉計画策定の意義と地域福祉実践
講 師：ルーテル学院大学大学院社会福祉学専攻主任
社会福祉学科 教授 和田 敏明氏

○介護職員ネットワーク研修会の実施

期 日：平成24年7月18日（水）～7月19日（木）
 会 場：外ヶ浜町「ペンションだいば」、外ヶ浜町社協各介護事業所等
 参加者：市町村社会福祉協議会介護保険事業所職員、部会員等46人
 講 師：弘前学院大学教授 八戸 宏氏
 有限会社竹洞介護あしすと代表取締役 竹洞 孝義氏

○社協会長・役職員等研修会の実施

期 日：平成25年3月14日（木）
 会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」
 参加者：103人
 伝達研修：「平成24年度 社会福祉協議会活動全国会議に参加して」
 報告者：地域福祉推進部会 副部会長 室舘 篤 氏
 「新会計基準対応 社協モデル経理規程研修会に参加して」
 報告者：法人経営部会 副部会長 井上 雅哉 氏
 「市区町村社協介護サービス経営セミナーに参加して」
 報告者：介護保険等部会 部会長 福田 正浩 氏
 演 題：地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた社協活動の方向性
 ～「社協・生活支援活動強化方針」とその推進～
 講 師：全国社会福祉協議会地域福祉部 地域福祉部長 野崎 吉康 氏

【その他】

○青森県、青森県議会、青森県市長会、青森県町村会への提言書の提出

期 日：平成24年5月17日（木）
 会 場：県健康福祉部、県議会議長室、青森県市長会事務局、青森県町村会事務局
 参加者：4人（会長1人、副会長2人、幹事長1人）
 内 容：災害時のボランティアセンターの運営について
 市町村地域福祉計画及び市町村地域福祉活動計画策定の促進について
 地域で生活するひとり暮らし高齢者等への見守り活動の充実・強化について

○郡地区社協巡回による内部けん制体制強化に向けた情報交換

期 日	市町村	内 容
平成25年1月31日（木）	南部町	三戸郡内事務局長情報交換会
平成25年2月4日（月）	板柳町	津軽広域社協連絡協議会
平成25年2月15日（金）	五所川原市	平成24年度第3回つがる西北五社協事務局長連絡会
平成25年2月15日（金）	七戸町	平成24年度上十三社協職員連絡会第2回研修会

第1 地域福祉活動の推進

エ) 市町村社協事務局長連絡会議

○平成24年度「郡市町村社協事務局長会議」

期 日：平成24年5月10日（木）

会 場：アピオあおもり「大研修室1」

参加者：市町村社会福祉協議会事務局長等37人

内 容：郡市町村社協新任事務局長紹介

行政説明

平成24年度県社協重点事業説明

推進事業報告

オ) 地域福祉活動強化に向けた巡回指導・支援

期 日	市町村	内 容
平成24年 5月12日（土）	弘前市	弘前地域福祉セミナーにおいて、「東日本大震災から学ぶ防災のまちづくり～災害ボランティアセンターの活動実践等から～」について、講演を行った。
7月5日（木）	外ヶ浜町	介護職員ネットワーク研修会の打合せを行うほか、福祉安心電話サービスについて広く住民に対する広報啓発を依頼した。
	中泊町	福祉安心電話サービスについて広く住民に対する広報啓発を依頼した。
10月29日（月）	三戸町	福祉安心電話サービスについて広く住民に対する広報啓発を依頼した。
	田子町	福祉安心電話サービスについて広く住民に対する広報啓発を依頼した。
11月28日（水） ～29日（木）	野辺地町、七戸町、おいらせ町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村	平成24年度上北郡社会福祉協議会役職員研修会において、「必要とされる社会福祉協議会を目指して」について講演を行った。
11月29日（木）	藤崎町	福祉安心電話サービスについて広く住民に対する広報啓発を依頼するとともに、福祉安心電話サービスモニターの依頼を行った。
12月11日（火）	五戸町	指定事業、地域福祉活動計画策定準備に対する助言等を行った。
	田子町	県が行った監査の内容について、情報共有を行った。
12月14日（金）	つがる市稲垣	1月に実施した平成24年度市区町村社協職員研修会コミュニティワーク研修会の事例報告者との内容調整を行った。
	五所川原市	県が行った監査の内容について、情報共有を行った。

カ) 社協活動を効果的に推進するための情報提供

- ・市町村社協便覧作成（名簿編作成）
- ・市町村社協介護保険事業所便覧作成
- ・県社協通信のメール配信（6回配信）

②地域福祉活動の先駆的・モデル的事業の共同開発

ア) 社協活動支援事業（モデル事業）

○安心生活基盤支援事業

住民参加による地域の福祉ニーズの把握と解決に結びつけるための仕組みづくりに取り組み、住民主体の地域福祉活動を推進するための基盤整備を図ることを目的とする事業に助成した。

指定市町村：黒石市、平川市、中泊町、大間町、五戸町、田子町、南部町

助成額：125万円（1か所あたり20万円以内）

指定社協	事業内容（要旨）	助成額(円)
黒石市	高齢者の見守り活動を行うほのぼの交流協力員や民生委員・児童委員を対象に見守りネット研修会を実施した。高齢者の見守りに資するモデル地区を3か所指定し、地域の実情に合わせた事業として、地区懇談会やアンケート調査を実施した。	200,000
平川市	平賀、尾上、碓ヶ関の3地域において、地域福祉推進委員会を開催し、要援護台帳や災害マップの活用方法について検討を行った。また、モデル的に規模の異なる町会に台帳等の作成をお願いしたほか、町会自主防災関係者、民生委員・児童委員、ほのぼの交流協力員に対して、行政担当職員とともに台帳・マップの活用について意見交換した。	100,000
中泊町	地域福祉活動計画策定に向けて、中泊町町民福祉意識調査を実施するとともに、地域福祉活動計画策定委員会・検討委員会を開催し、調査結果を基に内容協議した。	200,000
大間町	次世代型福祉安心システムの端末（タブレット使用）の実証試験を一人暮らし高齢者世帯4世帯に対して行い、その後、聞き取り調査を実施した。	150,000
五戸町	地域福祉活動計画策定に向けて、福祉に関するアンケート調査を実施した。また、町内40地区を対象に福祉座談会を16回開催し、福祉ニーズや課題等の把握、社協活動への理解・協力を図った。	200,000
田子町	第2次地域福祉活動計画策定に向けて、福祉に関するアンケート調査を実施するとともに、策定委員会・作業部会を行った。	200,000
南部町	地域福祉活動計画策定に向けて、南部町の福祉に関する町民の意識調査を実施した。	200,000
7か所	計	1,250,000

○市町村ボランティア活動活性化事業

ボランティア活動への住民の関心が高まる中で、地域のニーズに対応するための新たなボランティア活動メニューを開発し、ボランティア活動に対する住民参加の促進を図ることを目的とする取り組みに助成した。

指定市町村：五所川原市、むつ市、鶴田町

助成額：30万円（1か所あたり10万円以内）

指定社協	事業内容（要旨）
五所川原市	ボランティアに携わることにより、人との出会いや楽しさ、自身の成長を感じ取るために、ボランティア活動への参加促進を目的として実施した。 ◎「第6回五所川原市ふれあいカーニバル」開催 ◎五所川原市ボランティア連絡協議会と合同事業 （立佞武多観覧サービス・ハッスル清掃・焼いも清掃）

第1 地域福祉活動の推進

鶴田町	ほのぼの交流事業協力員、各福祉団体、ボランティア団体と連携し、住民がボランティア活動への関心を高め、既存のボランティア活動の質を高められるよう、住民のボランティア意欲を駆り立てる講座を開催した。
むつ市	むつ市から提供を受けた要援護者に関するデータを基に「要援護者台帳」を整備した。冬期間における高齢者等の除雪にかかる負担を、ボランティア・市民活動の推進により手助けすることを目的に、除雪ボランティア活動を実施。また、高齢者等の孤独感を解消する目的も含め小地域ネットワーク事業として、町内の集会所などでいきいきサロンとして昼食会や交流会を開催し、町内会、民生委員、ボランティアが定期的に一人暮らし高齢者等と交流できる場をもった。

○広がれ福祉の輪学習会事業の指定

地域のつながりの希薄化が進む中、未来の地域福祉を担う子どもたちに対して、ソーシャルインクルージョンやノーマライゼーションの理念や福祉の心の醸成を図ることを目的とする取り組みに助成した。

指定市町村：五所川原市、つがる市、平川市、横浜町

助成額：80万円（1か所あたり20万円以内）

指定社協 【実施日】	事業内容（要旨）	参加者
五所川原市 【8/6(月)～ 9(木)】	中・高校生を対象に、福祉施設での実習、ボランティア活動の体験を通して、自らが社会福祉への関心と理解を見いだすことを目的として、ボランティア団体による講義、高齢者疑似体験、施設体験、清掃活動等、4日間の日程で実施した。	11人
つがる市 【①8/8(水)～ 10(金) ②8/17(金)】	地域における福祉の仕事やそこに働く人達の生活に直接触れ、また、現場での実践活動を通して、ともに生きることの大切さを体得させ、潤いのある地域づくりにつなげることをねらいとして実施した。中高生を対象に、①2泊3日のワークキャンプ、②事後学習（車いす体験活動）を行った。	38人
平川市 【①7/28(土) ②8/9(木)～ 10(金)】	小学生は、①事前学習会を開催し、受入れ施設の概要説明、諸注意、役割分担を行うとともに、②1泊2日の日程で施設において交流をメイン活動とした体験プログラムを実施した。 中学生に関する福祉体験事業は、アンケート調査の集計、情報整理を行い、学校・生徒のニーズに基づいた事業立案の基礎を構築した。	33人
横浜町 【7/23(月)～ 8/9(木)】	横浜町に住む中学生、高校生、大学生及び社会人を対象に、社会福祉施設でのボランティア体験を通じて、社会福祉への理解と関心を高め、共に生きる社会連帯の精神を養うことを目的として、事前研修会、施設体験活動、事後学習会を実施した。	91人

イ) 愛の輪レクリエーション事業

障がい者・高齢者等を中心に、その家族、地域住民、ボランティアが一堂に集い、レクリエーション等を通じて交流し、社会参加の促進及び連帯意識やバリアフリー意識の高揚を図ることを目的とする取り組みに対し助成した。

指定数 13ヶ所

助成額 1ヶ所10万円を上限とした総事業費の半額助成

指定期間 1年

指定社協 【実施日】	事業内容（要旨）	参加者	助成額(円)
東津軽郡 【9/10(月)】	参加者全員でレクリエーションを行った。皆で昼食をとりながら意見交換等を行い、その後自由行動として、親子で周辺を散策した。	22人	25,000
五所川原市 【9/15(土)】	「施設・参加者対抗綱引き大会」などの他、障がいの有無や若者男女問わず誰もが参加のできるゲームを考案し用意した。大会が盛り上がるようにプログラムにめりはりを付け、午前は、運動的な内容で、午後は芸能大会的な内容で障がい者・参加者の交流を図った。	300人	100,000
三沢市 【9/30(日)】	社協まつり内で特設ステージを設け、ふれあいステージとして障がい者と子どもからお年寄りまで、音楽を通じてふれあい交流した。市内の障がい者施設や作業所の出し物の発表や音楽サークルや手品サークルの発表などを鑑賞した。又、みんなでゲーム等で交流し楽しんだ。	1,200人	100,000
弘前市 【7/22(日)】	障がい児者と家族及び市民・ボランティアがレクリエーションを通して、楽しく交流を深め、また、自らの活動意欲を奮い起こすとともに、社会生活に融合することを願いとして開催した。	776人	100,000
北津軽郡 【7/28(土)～ 29(日)】	北津軽郡・つがる市管内の在宅心身障がい児者を対象とした、1泊2日の療養キャンプをとおして、心身障がい児者と保護者、ボランティア、地域住民が交流を深めるとともにボランティアの育成も行った。	50人	100,000
平川市 【9/9(日)】	実行委員会を中心に市内全体の障がい児・者、その家族、ボランティア、関係者が一堂に会し、レクリエーションを通じて交流し、互いの親睦と融和を図ることを目的に開催した。	60人	100,000
西津軽郡 【10/20(土)】	障がい者とその家族が集い、秋の紅葉やイベントを楽しく過ごすとともに、互いに思いやり・喜び会い・助け合う協働の機会と社会参加の促進を図ることを目的に開催した。	12人	40,000
むつ市 【10/21(日)】	施設及び在宅の障がい児者・高齢者及びその家族がボランティアと一緒にゲームやレクリエーションを楽しみながら交流し、お互いの親睦を深めた。	105人	100,000
上北郡 【10/26(金)】	知的障がいを持つ在宅児者・施設入所者・家族及びボランティア等の関係者が一堂に集い、お互いの親睦を深め、自らの活動意欲を育成するとともに、地域の人々の理解と協力を得ながら社会に融和することを願いとして開催した。	299人	100,000
十和田市 【11/17(土)】	午前は障がい者及び賛助団体の芸能発表、午後は交流会とし、ボランティア・参加施設・当事者団体・職員等が一丸となり運営した。また、施設や団体の展示販	541人	100,000

第1 地域福祉活動の推進

	売コーナーを設け、市民に対し障がい者についての周知を図った。		
三戸郡 【①7/21(土) ②12/1(土)】	二回に分けて実施。 ①三戸郡内各町村育成会及び各施設親の会、また関係各施設の方々、開催地である五戸町社協を始めとするボランティア等の協力により開催。午前中は、レクリエーション協会の方からゲームや軽い運動をした。午後は、色々な種類のゲームを楽しんでいただいた。 ②三戸郡内各町村育成会及び各施設親の会、また関係各施設の方々、開催地、三戸町社協を始めとするボランティア等の協力により開催。数か所に作られた餅つき体験箇所では障がい者全員に餅つきを体験してもらった。午後は、レクリエーションや踊りで楽しい時間を過ごした。	①270人 ②219人	100,000
八戸市 【①7/29(日) ②1/23(水)】	2回に分けて実施。①市内在住の在宅知的障がい児・者を対象に実施する「野外レクリレーション」(自然とのふれあい、ボランティア・参加者同士の交流)と、②観劇会(演劇等)及び吹奏楽等を知的障がい児(者)とその家族、ボランティアが楽しみ、お互いの親睦を深め、自らの活動意欲を育成する「愛の輪レクリレーションのつどい」を、地域の方々の理解と協力を得て実施した。	①27人 ②786人	100,000
つがる市 【1/27(日)】	つがる市及び西北郡内の在宅心身障がい児・者を対象に、1日のレクリエーション事業「ゆきん子の集い」を開催し、当事者とその家族、地域住民、関係者がお互いの親睦を深めた。	89人	43,654
計		4,756人	1,108,654

ウ) 祭りを通じた高齢者・障がい者等の社会参加支援及び参画

高齢者や障がい者等が、県内で開催される祭りへの参加を通じて、社会参加の促進を図ることにより、県内にノーマライゼーションの理念を広く普及していくとともに、青森県が障がい者の社会参加を積極的に歓迎し、バリアフリーを推進していく県となる契機とすることを目的とする取り組みに対し助成するとともに、必要な支援を行った

指定数 3ヶ所

助成額 75万円(1ヶ所あたり25万円以内)

指定期間 1年

指定社協 【実施日】	事業内容(要旨)	参加者
弘前市 【8/1(水)】	障がい者が、弘前ねぶたまつりへの参加を通じて相互の交流と市民との交流を図ることにより、ノーマライゼーションの理念を広く普及すると共に障がい者の社会参加を促進し、バリアフリーのまち弘前市を目指し実施した。	68人
五所川原市 【8/6(月)】	地域の祭りを誰もが楽しめるよう、ボランティアが結集して介助や送迎などの環境を整え、参加したいと願う在宅高齢者や障がい者の希望実現を支援することを目的として実施した。	90人

むつ市 【8/18(土)】	むつ市田名部地区にて開催される「田名部まつり」期間中、まつりに華を添える盆唄「田名部おしまこ」の流し踊りに市内の高齢者及び障がい者と共に参加し、当該者の社会参加を促進するとともに、当市におけるバリアフリーの推進に資することを目的に実施した。	60人
------------------	--	-----

○祭りを通じた高齢者・障がい者等の社会参加支援事業に係る担当者会議の開催

期 日：平成24年6月28日（木）

会 場：県民福祉プラザ2階「ボランティアルーム」

参加者：9人

③市町村社会福祉協議会の経営支援

ア) 経営支援に向けた相談対応及び巡回

・相談対応

区分	経営相談	中長期計画	人材育成	組織運営	制度解釈	規程作成	計
電話・FAX	3	1	0	6	0	0	10
来所	1	0	0	1	0	0	2
区分	安全衛生	法律解釈	会計税務	労務管理	その他		
電話・FAX	0	0	12	3	2		17
来所	0	0	3	0	0		3
計							32

・巡回は、P2の表1のとおり

イ) 新会計基準対応 社協モデル経理規程研修会

期 日：平成25年2月1日（金）

会 場：リンクステーションホール青森「大会議室」

参加者：52人

内 容：「社協モデル経理規程等の概要と移行のポイント」

講 師：公認会計士 小野寺 高 氏

ウ) 役員等セミナー

○社協役職員セミナーの実施（再掲）

期 日：平成24年6月4日（月）

会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」

参加者：88人

内 容：「地域福祉計画策定の意義と地域福祉実践」

講 師：ルーテル学院大学大学院社会福祉学専攻主任
社会福祉学科 教授 和田 敏明 氏

○社協会長・役職員等研修会の実施（再掲）

期 日：平成25年3月14日（木）

会 場：ウェディングプラザアラスカ 地下「サファイア」

参加者：103人

第1 地域福祉活動の推進

伝達研修：「平成24年度 社会福祉協議会活動全国会議に参加して」

報告者：地域福祉推進部会 副部長 室舘 篤 氏

「新会計基準対応 社協モデル経理規程研修会に参加して」

報告者：法人経営部会 副部長 井上 雅哉 氏

「市区町村社協介護サービス経営セミナーに参加して」

報告者：介護保険等部会 部長 福田 正浩 氏

演 題：地域における深刻な生活課題の解決や孤立防止に向けた社協活動の方向性
～「社協・生活支援活動強化方針」とその推進～

講 師：全国社会福祉協議会地域福祉部 地域福祉部長 野崎 吉康 氏

(2) 社協の活動を担う人材養成

①市町村社協を対象とした階層別研修等の実施

ア) コミュニティソーシャルワーカー養成研修

期 日：平成25年1月6日(日)～8日(火)

会 場：青森国際ホテル「春秋の間」

参加者：66人

講 師：全国社会福祉協議会地域福祉部長 野崎 吉康 氏(1日目)

日本福祉大学学長補佐 原田 正樹 氏(1日目)

神戸学院大学教授 藤井 博志 氏(2日目)

桃山学院大学教授 松端 克文 氏(3日目)

事例報告者：つがる市社会福祉協議会主任 花田 陽介 氏(2日目)

内 容：「社会福祉協議会をめぐる現状と課題」(1日目)

「コミュニティワークと社協活動・事業」(1日目)

「日常業務におけるコミュニティワークの学習(記録と事例検討法)」
(2日目)

「住民参加・協働の手法の実際」(3日目)

2 ボランティア活動の振興と関係団体等との連携・協働

県域と市町村域で取り組むべき課題を明確にしながら、県内ボランティアセンターの役割を確認し、ボランティア活動の充実に向けて適切な情報の提供と地域住民がボランティアにかかわりやすい環境整備に努めた。

(1) ボランティア・市民活動の振興と福祉教育の充実

① 県ボランティアセンター機能の提供と市町村ボランティアセンター活動強化に向けた支援

ア) 各種ボランティア促進のための広報

- ・ 県内のボランティア活動取材し、県社協のHPに掲載し、年間3回（8月、11月、3月）に「ボランティア活動情報」として広報紙を発行した。
- ・ 県民福祉プラザに来館する一般県民に対して、ボランティア情報掲示コーナーにボランティア募集ポスター等を掲示し、関係情報を提供した。
- ・ ボランティアルームの利用貸出 利用件数：112件
- ・ ボランティアに関するビデオテープ・DVD、図書及び映写機の貸出
貸出件数：ビデオテープ等73本
- ・ 市町村社協へメールニュースの配信（6回）

イ) 各種助成金に関する情報提供

ボランティア団体活動を財政面で支援するため、各種助成制度への推薦及び情報提供を行った。

○ 情報提供した主な助成制度

- 第20回「ろうきん地域貢献活動きらら」助成事業（東北労働金庫青森県本部）
- 平成24年度（第38回）「丸紅基金」
- 平成24年助成事業（社会福祉法人清水基金）
- 平成24年度ドナルド・マクドナルド・ハウス財団
- ファイザープログラム～心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援（ファイザー株式会社）
- 2012年度「福祉車両助成事業」〈日本財団〉
- 「平成24年度社会福祉助成金事業」（公益財団法人みずほ福祉助成財団）
- 平成24年度（財）日本おもちゃ図書館財団助成金（財団法人日本おもちゃ図書館財団）
- 平成24年度（第19回）ボランティア活動助成（公益財団法人大和証券福祉財団）
- ちば元気ファンド「東日本大震災市民活動支援」（市民ネットワーク千葉県）
- 「キリン・子育て公募助成」（公益財団法人 キリン福祉財団）
- J T N P O助成事業～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～2013年度助成（日本たばこ産業株式会社）
- 平成24年度損保ジャパン記念財団「NPO 基盤強化資金助成」（公益財団法人損保ジャパン記念財団）
- トヨタ財団 2012年度「国内助成プログラム」（公益財団法人トヨタ財団）
- 「連合・愛のキャンパ」助成金（公益財団法人さわやか福祉財団）
- 障がい者福祉助成金（公益財団法人 ヤマト福祉財団）
- 地球環境基金助成金（独立行政法人 環境再生保全機構）
- (社)全互協第14回社会貢献基金助成(社団法人 全日本冠婚葬祭互助協会)

ウ) ボランティア活動保険加入の促進と助成

ボランティアが安心して活動できるように、全国社会福祉協議会が行っているボランティ

第1 地域福祉活動の推進

ア活動保険への加入促進に努めた。

- ・ボランティア活動保険加入者実績（県社協分）

期 日	Aタイプ	Bタイプ	天災A	天災B	人数合計
平成24年4月 ～平成25年3月	167人	0人	5人	4人	176人

エ) 子育てイベント用品貸出事業

県内の子育てイベント等にエアアーチとシャボン玉連続発生器を貸出した。

- ・貸出回数：エアアーチ・シャボン玉連続発生器等 32回

②青森県善意銀行の運営

個人、団体、企業等から寄せられた現金及び物品等の斡旋・調整を行った。

○金銭預託一覧 10件

(敬称略)

預託者	預託金(円)	払出先
匿名	30,000	特定非営利活動法人サンネット青森
うとう会	30,000	青森県里親連合会
倉内 寿	5,000	青森県里親連合会
うとう会	71,000	青森県里親連合会
うとう会	53,000	青森県里親連合会
匿名	30,000	特定非営利活動法人サンネット青森
新山和子	10,000	あしなが育英会「東日本大地震・津波遺児募金」
特定非営利活動法人 つがる夢庭志仙会	270,120	福島県社会福祉協議会
青森県信用組合	764,266	県内児童養護施設2ヶ所(4人)
特定非営利活動法人 つがる夢庭志仙会	130,075	福島県社会福祉協議会
計	1,393,461	

○物品預託一覧 27件

(敬称略)

預託者	預託物品	払出先
富国生命青森支社外野倶楽部	タオル300本	県内保育園(3ヶ所)
社団法人青森県看護協会	寝袋兼用リュック20セット	八戸市社会福祉協議会
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社青森支店	車椅子2台	社会福祉法人平元会、社会福祉法人幸仁会
青森県ラグビー青少年普及実行委員会	東日本大震災復興支援事業大学ラグビー親善試合明治大学VS慶應大学招待チケット8枚	ゆきわり荘、障がい者支援施設けやき寮
資生堂販売株式会社東北支社青森オフィス	スキンケア、マッサージ、メーカーキャップの技術のレッスン	社団法人青森県ろうあ協会
青森トヨペット株式会社	車椅子10台	社会福祉法人秋葉会ほか4法人
藤イベント企画藤はじめ	車椅子10台、招待券5枚	社会福祉法人高寿会ほか9法人、NPO法人アカシア会ほのぼのサークル
公明党青森県本部女性局	車椅子1台	社会福祉法人清友会特別養護老人ホーム外ヶ浜荘

青森スポーツ振興会	みちのくプロレスリング試合 観戦招待 16 枚	ゆきわり荘ほか 3 施設
匿名	衣類 5 箱 (未使用)	青森県長寿社会振興センター
株式会社トヨタレンタリース青森	車椅子 12 台	株式会社ライフセーバーコーポレーションほか 3 法人
日本原燃株式会社	2012 日本原燃ふれあいコンサート招待チケット 20 枚	ほのぼのサークルほか
青森スポーツ振興会	みちのくプロレスリング試合 観戦招待 49 枚	ゆきわり荘ほか 10 施設
青森スポーツ振興会	プロレスリング・ノア試合観 戦招待 19 枚	こぶしの家ほか 1 施設
特定非営利活動法人 日産労連 NPO センター 「ゆうらいふ 21」	劇団四季ミュージカルガンバ の大冒険招待チケット 558 枚	県内児童養護施設ほか
青森県原子力関係労組懇 話会	図書カード 80 枚	児童養護施設藤聖母園
スポーツ青い森グループ	よさこいフェスタ 2012 招待 チケット 78 枚	グループホームサニーライフ 篠田ほか 14 施設
青森県雪印メグミルク協 会	車椅子 2 台	社会福祉法人楽晴会ほか 1 法 人
富国生命青森支社外野俱 楽部	タオル 300 本	県内保育園 (3 ヶ所)
青森ヤクルト販売株式会 社	車椅子 20 台	青森市社協ほか 19 カ所
株式会社ツルハホールデ ィングス	車椅子 5 台	藤崎町社協ほか 4 社協
あいおいニッセイ同和損 害保険株式会社青森支店	車椅子 2 台	社会福祉法人 つがる三和会 社会福祉法人 吉幸会
青森スポーツ振興会	全日本プロレス試合観戦チケ ット 37 枚	こぶしの家ほか 3 施設
青森県信用金庫協会	使用済切手 6,400 g、使用済 プリペイドカード 26 枚	NPO 法人誕生日ありがとう運 動本部
青森銀行従業員組合	使用済切手 4,360 枚、ベルマ ーク 193 枚、使用済プリペ イドカード 142 枚	NPO 法人誕生日ありがとう運 動本部
青森県中部地区郵便局長 夫人会	使用済切手	NPO 法人誕生日ありがとう運 動本部
青森県立青森聾学校保健 委員会	プルタブ 15.6 kg	社会福祉法人平舘福社会 エ コル

○フードバンク (食品預託) 一覧 11 件 (敬称略)

預託者	預託物品	払出先
あすなる青果株式会社 (9 回)	ねぎ 30 本、白菜 18 kg、ピー マン 100 個、人参 30 本、玉ね ぎ 30 個、しいたけ 100 枚ほか	国際文化交流クラブ (9 回)
フードバンクだいち青森	りんご 7 箱	今別町社会福祉協議会
株式会社小巾亭	日本そば 140 食	児童養護施設藤聖母園

③各種研修会・交流会の充実

ア) ボランティア講座の開催

第1 地域福祉活動の推進

事業名	期 日	会 場	参加者
青森県ボランティア講座	平成24年5月29日(火)	青森市・県民福祉プラザ	108人
	講演「感動から生まれた奇跡」 ～鹿児島県鹿屋市柳谷町内会(通称やねだん)の取り組みより～ 講師 (株)青森テレビ 報道制作局 今泉 清保氏		
青森県ボランティアまつり	平成24年11月17日(土)	青森市・県民福祉プラザ	150人
	パネルディスカッション・ステージ発表		

イ) ボランティアネットワーク事業の共催

地域で活動しているさまざまなボランティア団体や個人等とのネットワークの活性化を図ることを目的に、青森県ボランティア連絡協議会と共催で、県内5ブロックでボランティアネットワーク事業を開催した。

期 日	会 場	出席者	事 業 名
平成24年10月14日(日)	弘前市社会福祉センター	100人	弘前市ボランティアフェスティバル
11月10日(土)	十和田市総合体育センター	53人	広がれボランティアの“わ”交流会
11月9日(金)	今別町開発センター	80人	東青地区ボランティア交流会
12月1日(土)	五所川原市中央公民館	134人	集まれ～奥津軽のボランティアたち!
平成25年1月27日(日)	南部町立町民ホール	80人	ボランティアネットワーク事業三八地区研修会
合計(5回)		447人	

④地域の福祉力を高める福祉教育の推進

地域住民を対象に、社会福祉への理解や関心を高めるとともに、住民相互の助け合いや思いやりの心を育むことを目的として、福祉教育を推進する事業を実施した。

ア) 福祉教育実践の研究(上十三ブロックで開催)

期 日:平成25年3月8日(金)

会 場:三沢市総合社会福祉センター

参加者:9人

内 容:Ⅰ 事例報告「十和田市社協における福祉教育実践」

十和田市社会福祉協議会 事務局次長 福田 延幸氏

Ⅱ 情報提供1『学校における福祉教育の取り組み方針』について

2 全国的な福祉教育の取り組み等の情報提供

Ⅲ グループワーク「地域の生活課題に注目した福祉教育の取り組みについて」

イ) 福祉教育人材の登録・紹介

県内の福祉教育における人材の掘り起こしを行い、広域的に地域の協力者を有効活用できる仕組みを構築し、学校と地域の人材の橋渡しを行うため、「福祉教育における講師等の人材把握調査」を実施した。

ウ) 義務教育教員免許志願者の介護等体験事業

義務教育教員免許法に基づいて、義務教育教員免許取得を予定している学生に対して、体験先となる社会福祉施設を斡旋調整した。

調整実績 申込・体験者数：393人

受入体験施設数：244施設(実受入協力施設 114 施設)

(2) ボランティア・市民団体の運営を円滑にする相談支援

①青森県ボランティア・市民活動センター運営委員会

	期 日	会 場	出席者	内 容
第1回	平成24年 7月25日(水)	県民福祉プラザ 「県社協会議室」	15人	・平成23年度事業報告 ・平成24年度事業計画 ・意見交換
第2回	平成25年 2月22日(金)	県民福祉プラザ 「県社協会議室」	18人	・平成24年度事業報告 ・平成25年度事業計画(案) ・意見交換

②相談件数 30件

区分	ルーム	善銀	ボラ保険	収集ボラ	災害ボラ	その他	計
電話・FAX	1	4	1	10	0	1	17
来所	1	2	4	3	1	2	13
							30

③各種会議・委員会等への参画

平成24年度「子ども防災力アップ事業」子ども防災チャレンジキャンプに係る連絡協議会

期 日	会 場	参加者	内 容
第1回 平成24年 6月13日(水)	県庁北棟	13人	子ども防災チャレンジキャンプについて

④各種講座等への講師派遣

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年 4月27日(金)	青森明の星短期大学	121人	明の星大学共通基礎科目「ボランティアワーク」 「ボランティア活動に期待すること」
7月24日(火)	青森市国際交流会ハウス	28人	青森市教職員初任者・新規採用者研修 「社会奉仕体験活動の進め方」
8月10日(金)	県総合学校教育センター	38人	平成24年度初任者研修 「社会奉仕活動体験を考える」
11月7日(水)	青森市水産ビル	11人	「災害時の外国人支援」のファシリテーター
11月27日(火)	コープあおもり本部集会室	23人	「ボランティアにおけるコーディネートの心得」と「社会福祉協議会とはどんなことをする組織？」
合計(5回)		221人	

(3) 防災・災害ボランティアネットワークの構築

①災害ボランティアセンター設置・運営セミナー（弘前市）

ア) 災害発生時に組織される災害ボランティアセンターの設置・運営に関する必要な知識等を習得するため、セミナーを実施した。

期 日：平成24年8月24日（金）～25日（土）

会 場：弘前市社会福祉センター2階大会議室

参加者：市町村社協職員等 21人

内 容：講義Ⅰ「災害VCの変遷と現状」、講義Ⅱ「災害VCの意義と役割」
グループワーク「災害VC設置の初動体制について」

講 師：新潟県長岡市社会福祉協議会 地域福祉課長 本間 和也氏

イ) 災害ボランティアセンター設置・運営資料集の作成

本県において災害が発生した際に支援活動が円滑にできるように、災害ボランティアセンターの設置・運営に関する資料及び平成24年度災害ボランティアセンター設置・運営セミナーの報告等を併せて作成した。

②県総合防災訓練「災害ボランティア受付訓練」（弘前市）

弘前市で実施された県総合防災訓練において災害ボランティア受付訓練を実施した。

期 日：平成24年8月25日（土）

会 場：青森県武道館

参加者：55人

内 容：災害ボランティア受付訓練の実施

③平成24年度青森県防災ボランティアコーディネーター養成研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年 10月13日(土)	弘前市社会福祉センター	23人	◇ 「災害ボランティア活動のコーディネーター」とは
10月14日(日)	青森市 県民福祉プラザ	10人	◇ 「東日本大震災をはじめ、災害が問いかけていることとは」
10月15日(月)	むつ市役所本庁舎	10人	◇ 導入「事例検討について」 ◇ 演習「困難事例のケース検討について」
10月16日(火)	八戸市保健所2階	22人	◇ まとめ「平時に求められる取り組みについて」
合計(4回)		65人	

④災害ボランティアセンター等の情報提供

行政と社会福祉協議会等が災害時のボランティア活動を円滑に展開するため、災害協定書の締結促進の考え方を整理し、下記の3種類の協定書例を市町村社協に情報提供した。

(通知した内容)

1. 災害協定書の締結促進について（考え方）
2. 災害時におけるボランティア活動等に関する協定書（案）（社協と行政の締結書）

3. 福祉避難所の確保に関する協定書（案）（各福祉避難所と行政の締結書）
4. 災害時要援護者の支援に関する協定書（案）（各町内会と行政の締結書）

⑤「支援物資受付・配布専用サイト」の開発

災害時に物資支援を希望する県民等への情報提供を迅速かつ適切に調整することを目的として、青森県福祉救援ボランティア活動本部HP上にシステムの追加開発を行った。

3 民生委員・児童委員活動との連携・協働

民生委員・児童委員は、住民の最も身近な相談・支援者であり、地域福祉活動の推進役として期待されている。

近年、地域住民が抱える問題は複雑・多様化しており、民生委員・児童委員が問題の解決に向けた支援活動を展開する上で必要となる資質向上と民児協組織の充実、強化に向けた研修会を積極的に推進した。

(1) 階層別研修会による民生委員児童委員の資質向上への取り組み

①単位民児協会長研修会

期 日 平成24年5月24日(木)～25日(金)

会 場 海扇閣(青森市)

参加者 149人

内 容 説明Ⅰ「地域福祉に関する最新の動向と民生委員活動について」

青森県健康福祉政策課 包括ケア推進グループ 総括主幹 玉川 孝一氏

説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」

青森県東青地域県民局 地域健康福祉部こども相談総室

こども相談課 課長 大山 和也氏

各部会・委員会からの報告

グループ討議

- ・児童問題の支援に向けた取り組みについて
- ・地域社会における孤立・孤独をなくす取り組みについて
- ・災害時における民生委員児童委員活動について

助言 青森県民生委員児童委員協議会 会長 福士 悦郎氏

講演「地域の見守りと福祉安心電話の活用」～人と情報のつながりの一体化を目指して～

県社協 地域福祉課

②中堅民生委員児童委員研修会

期 日 平成24年10月26日(金)

会 場 ウェディングプラザアラスカ 4階ダイヤモンド(青森市)

参加者 191人

内 容 中堅民生委員児童委員として、日頃の活動における課題や疑問について研究協議し、活動の活性化を図る。

講演「地域からの孤立を防ぐために必要な見守り、支援活動について」

高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 金井 敏氏

グループ討議

- ・課題を抱える子育て家庭への支援について
- ・高齢者等の孤立・孤独をなくすために
- ・災害時要援護者支援活動について

グループ討議報告

③新任民生委員児童委員研修会

- 期 日 平成 25 年 2 月 15 日 (金)
- 会 場 県民福祉プラザ 4 階「大・中研修室」
- 参加者 119 人
- 内 容 説明Ⅰ「民生委員制度に関する事項について」
青森県健康福祉部 健康福祉政策課
包括ケア推進グループ 主査 菊池 香織氏
- 説明Ⅱ「児童委員、主任児童委員に関する事項について」
青森県健康福祉部 こどもみらい課
子育て支援グループ 主幹 細越 亜起子氏
- 説明Ⅲ「社会福祉協議会と民生委員活動」
県社協 生活支援課
グループワーク「新任民生委員・児童委員の活動について」

(2) 住民に身近な相談員の資質向上に向けた支援

①相談技法研修会の開催

- 期 日 平成 24 年 11 月 20 日 (火)
- 会 場 ウェディングプラザアラスカ (青森市)
- 参加者 259 人
- 内 容 講演「地域住民とのコミュニケーションについて」
講師 青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫 氏
- 事例発表①生計に関すること
②児童に関すること
③高齢者に関すること
- コーディネーター 青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫 氏

(3) 民生委員・児童委員互助共励事業の推進

内 容	件 数	内 容	件 数
公務傷害	7 件	一般死亡	10 件
配偶者死亡	24 件	災害見舞	0 件
一般傷病 (2 ヶ月未満)	13 件	一般傷病 (2 ヶ月以上)	52 件
退任慰労 (9 年未満)	43 件	退任慰労 (9 年以上)	23 件

第1 地域福祉活動の推進

4 生活困窮者等に対する資金の貸付と支援

生活福祉資金貸付事業は、低所得者、障がい者又は高齢者に対し、資金の貸付けと必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図ることを目的として実施している。

平成21年度制度改正により創設された総合支援資金は、申込件数は減少傾向にあるものの、償還業務が本格化する中、償還率の向上が大きな課題となっており、適正な債権管理と償還促進を目的として債権管理強化推進事業及び償還支援事業を実施し、滞納者への督促、取扱市町村社協での面接会等を実施した。

(1) 生活福祉資金貸付事業の適切な運営

①貸付原資

○生活福祉資金

平成24年度末原資保有額 4,027,765,440円

○臨時特例つなぎ資金

平成24年度末原資保有額 59,905,000円

②申込及び決定の実績

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定(件数)率	貸付決定(件数)の構成比
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)		
総合支援資金	93	42,649	88	47,676	94.6%	15.5%
福祉資金	271	74,792	266	70,554	98.2%	46.8%
教育支援資金	220	180,959	213	173,524	96.8%	37.5%
不動産担保型資金	1	24,780	1	24,780	100.0%	0.2%
合計	585	323,180	568	316,534	97.1%	100.0%

③貸付金の交付

資金種類	交付額(円)
総合支援資金	57,087,497
福祉資金	58,878,544
生活復興支援資金	875,000
緊急小口資金	17,863,000
教育支援資金	183,553,315
不動産担保型生活資金	18,589,086
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	67,448,580
臨時特例つなぎ資金	100,000
合計	404,395,022

④償還の実績

資金種類	償還状況		
	計画額(円)	実績額(円)	償還率(%)
総合支援資金	83,593,835	29,602,398	35.41%
更生資金	69,003,945	8,164,160	11.83%
障害者更生資金	26,716,897	1,872,910	7.01%
生活資金	2,701,959	272,560	10.09%
福祉資金	42,749,150	17,325,695	40.53%
福祉(住宅)資金	56,115,110	8,423,201	15.01%
教育支援資金	515,572,979	236,818,325	45.93%
療養・介護等資金	13,793,343	2,412,800	17.49%
災害援護資金	3,551,813	501,840	14.13%
緊急小口資金	55,971,383	18,948,740	33.85%
離職者支援資金	104,992,954	10,660,930	10.15%
不動産担保型生活資金	—	15,624,077	—
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	—	4,957,947	—
臨時特例つなぎ資金	1,008,030	195,000	19.34%
合計	975,771,398	355,780,583	36.46%

⑤運営委員会の開催

ア) 生活福祉資金運営委員会

制度の大綱、貸付、猶予、免除申請について審査するため、生活福祉資金運営委員会を開催した。

回数	開催日	会場	出席者
第1回	平成24年6月18日(月)	青森市・県民福祉プラザ	10人(内専門委員2人)
第2回	平成25年3月21日(木)	青森市・県民福祉プラザ	7人(内専門委員1人)

イ) 生活福祉資金運営委員会小委員会

要保護世帯向け長期生活支援資金貸付金に関する審査のため、小委員会を開催し審査した。

回数	開催日	会場	出席者
第1回	平成24年6月18日(月)	青森市・県民福祉プラザ	5人
第2回	平成24年8月28日(火)	青森市・県民福祉プラザ	3人
第3回	平成24年11月15日(木)	青森市・県民福祉プラザ	5人
第4回	平成25年1月25日(金)	青森市・県民福祉プラザ	3人
第5回	平成25年3月21日(木)	青森市・県民福祉プラザ	4人

⑥生活福祉資金貸付事務一般指導監査

生活福祉資金貸付事務に係る市町村社協の実情を把握し、適正な運営に向け指導・助言するため、書面及び実地での監査を実施した。

ア) 書面監査 40市町村社協

イ) 実地監査 13市町村社協

十和田市、むつ市、つがる市、蓬田村、外ヶ浜町、深浦町、田舎館村、中泊町、野辺地町、六戸町、佐井村、田子町、階上町

(2) 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業の適切な運営

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定(件数)率
	件数(件)	金額(千円)	件数(件)	金額(千円)	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	22	105,328	17	91,034	77.3%

(3) 臨時特例つなぎ資金貸付事業の適切な運営

資金種類	申込状況		決定状況		申込みに対する決定(件数)率
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	
臨時特例つなぎ資金	2	200,000	2	200,000	100.0%

※1件は決定後辞退のため送金なし。

(4) 償還促進及び長期滞留債権への対応

厚生労働省が本制度の見直しを機会に、不良債権の整理を進めることを目的に施行した免除要件の緩和等を受け、市町村社協と連携して借受人の死亡等、免除要件に合致した債権について免除を行った。また、子どもの進学にともなう教育支援資金の再借入のために、既に

第1 地域福祉活動の推進

貸付した貸付金の償還が困難な世帯や、貸付後の自立までに時間がかかる世帯に対し、世帯の自立更生を推進するために、借受人の申請にもとづき、支払猶予を行った。

①償還免除

資金種類	件数	元金	貸付利子	延滞利子	合計
災害援護	1	50,470	12,050	363,746	426,266
緊急小口資金	5	350,000	554	120,015	470,569
計	6	400,470	12,604	483,761	896,835

②延滞利子免除

資金種類	件数	金額
更正資金	3	3,580,885 円
福祉資金	3	2,373,692 円
福祉資金（住宅）	2	926,309 円
教育支援資金	2	625,510 円
災害援護資金	1	249,571 円
計	11	7,755,967 円

③貸付金償還猶予

資金種類	件数	理由
福祉費（技能修得費）	2 件	進学のため
福祉費（その他）	2 件	年金支給開始まで
教育支援資金	12 件	進学のため
計	16 件	

④口座振替による償還の促進

貸付金の償還方法は、払込票と口座振替による自動振替を借受人が選択できるが、本会では、事務処理の効率性と償還の確実性から口座振替による償還を積極的に推進し、市町村社協へも働きかけを行った。

○平成 24 年度生活福祉資金口座振替結果

振替依頼 23,600 件 314,507,501 円

振替処理 14,215 件 216,069,198 円（件数比 60.2%）

振替不能 9,385 件 98,438,303 円（件数比 39.8%）

（5）生活福祉資金貸付事業における相談支援体制の整備

県の緊急雇用対策に係る補助金を受け、低所得者、障がい者、高齢者等の借入申込者に対する相談及び生活再建に向けた自立支援のため、県内 40 市町村社協に相談員を配置した。

○平成 24 年度生活福祉資金貸付事業担当者会議及び研修会

期 日 平成 24 年 7 月 19 日（木）

場 所 県民福祉プラザ 2 階 多目的室 2A

対象者 市町村社会福祉協議会 生活福祉資金貸付事業担当職員

参加者 39 人

- 内 容 開会・あいさつ 県社協 事務局長
 報告 平成23年度生活福祉資金貸付制度実績等
 説明 ①生活福祉資金貸付事務の留意事項
 ②償還促進運動について
 ③償還金等免除の流れと手続きについて
 県社協 生活支援課
 講義 「信用生協における貸付から償還までのチェックポイント（家計診断の手法等）」
 消費者信用生活協同組合青森相談センター センター長 三上 善博 氏

(6) 市町村社協への償還支援

滞納の解消と世帯の実態を把握するために、督促状等の送付及び取扱市町村社協による面接を実施し、滞納解消に努めた。このうち取扱件数の多い社協や滞納件数が多い社協には、業務支援のため担当職員を派遣した。

①市町村社会福祉協議会に対する償還促進運動支援

期 間	実施社協	支援対象社協
上半期 (7～8月)	18ヶ所	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市、三沢市、つがる市（車力）、つがる市（木造）、平川市（平賀・碓ヶ関）、平川市（尾上）、藤崎町、板柳町、鶴田町、中泊町、野辺地町、東北町、佐井村、階上町
下半期 (12～2月)	11ヶ所	青森市、弘前市、八戸市、黒石市、十和田市、むつ市、つがる市（車力）、つがる市（稲垣）、藤崎町、鶴田町、板柳町

②督促状・催告書の送付

償還期間中で連続して3ヶ月以上償還がなく、償還計画から1回以上遅れている世帯に対し督促状、また、平成23年度中に一度も償還のない世帯で、償還期限の経過した世帯に対し催告書を送付し、滞納分の支払いを求めるとともに、取扱市町村社協における面接相談を実施した。

	督促状等送付数	面接・電話対応	対応後入金有	返戻数
上期	2,048 通	272 件	172 件	236 件
下期	2,060 通	350 件	209 件	144 件

③内容証明郵便の送付

上半期償還促進運動における督促状・催告書に対し、反応がなかった借受人に対し、内容証明郵便を送付し、償還促進するとともに、今後の償還について相談対応を行った。

発送数 491 件 内 110 件 (22.4%) から連絡あり

第1 地域福祉活動の推進

5 福祉安心電話サービス事業の推進

青森県の福祉安心電話システムは「青森方式」と呼ばれ、平成元年10月1日開始以来、住民参加による見守りネットワークと、24時間体制による緊急対応を兼ね備えた制度として実施しており、平成25年3月末は総加入台数2,852台であった。

平成24年度は、これまでの緊急通報系サービスに加え、高齢等の日常的な安否確認ができる新たな見守り系サービスを開始したため、事業の普及・啓発を図ることを目的として、各種のPR活動を実施した。

(1) 福祉安心電話サービス事業の運営

①市町村社協との協働による事業の運営

県内40市町村社協と福祉安心電話サービス事業実施に係る覚書を取り交わし、入退会等の事務処理を行うとともに、加入者を取り巻く民生委員、協力員及び関係機関・団体とのネットワークを構築するなど、連携・協働しながら円滑な事業運営に努めた。

②市町村社協担当者会議の開催

第1回福祉安心電話サービス事業担当者会議

日 時：平成24年6月26日(火)

会 場：県民福祉プラザ「大・中研修室」

参加者：40市町村社協 計41人

内 容：協議

「電話回線の多様化と安心電話端末機の仕様等について」

株式会社 立山システム研究所 山藤正寛氏

「本事業の維持管理とネットワークの構築について」

「事務手続き及び中央センターの拡充したシステムについて」

「新たなサービスの拡充に向けた取り組み」

県社協 地域福祉課

第2回福祉安心電話サービス事業担当者会議

期 日：平成25年3月1日(金)

会 場：アピオあおもり「大研修室1」

参加者：27市町村社協 計32人

内 容：報告・協議

「事業実施報告」

「モニター事業等実施報告」

「情報交換協議（グループ討議）」

県社協 地域福祉課

③被災地支援に係る打合会

期 日：平成24年11月22日(木)

会 場：野田村役場「会議室」

参加者：野田村及び野田村社協3人、県社協地域福祉課2人

内 容：「平成25年3月31日以降の福祉安心電話サービス事業の取扱いについて」

④福祉安心電話サービス事業の普及・啓発（新）

平成24年度からの福祉安心電話サービス事業拡充に伴い、事業PR用の展示パネルを作成するとともに、各種会議での事業説明、新規サービスの県内初設置に伴う報道機関への取材依頼によるPR、各種イベントにおいてデモンストレーション等による事業説明を行うなど、事業の普及・啓発に向けて積極的にPR活動を実施した。

ア) 福祉安心電話サービス事業説明に係る各種イベントでのデモンストレーション及びチラシ配布

期 日	会 場	イベント名
平成24年 5月25日(金)	青森市・海扇閣	単位民児協会長研修会
9月6日(木)	青森市・リンクステーション青森	青森県老人クラブ連合会創設50周年記念表彰授与式
9月9日(日)	青森市・リンクステーション青森	第14回あおもりシニアフェスティバル
11月12日(月)	青森市・リンクステーション青森	第61回青森県社会福祉大会
12月5日(水)	青森市・青森市民ホール	青森県障害者権利擁護大会
平成25年 2月16日(土)	青森市・アピオあおもり	地域福祉推進フォーラム
2月24日(日)	青森市・アピオあおもり	あんしん見守りフォーラム

イ) テレビ・ラジオCM等の活用による事業周知活動の展開

おげんきメールサービスを広く県民に周知するため、テレビ及びラジオCMを制作し、事業のPRを行った。また、併せて番組出演等によるパブリシティ（事業PR活動）も実施した。

放送期日	放送局	内 容
平成24年11月から 平成25年1月まで	RAB青森放送	15秒スポットCM 93本
平成24年11月から 平成25年1月まで	FM青森	20秒スポットCM 毎週/月曜から金曜の各日1本ずつ
平成24年 11月26日(月)	RAB青森放送	テレビ出演パブリシティ 90秒 番組「月曜情報便」
12月7日(金)	FM青森	ラジオ出演パブリシティ 5分 番組「ラジモット」
12月24日(金)	FM青森	ラジオパーソナリティによるパブリシティ 60秒 番組「ラジモット」
平成25年 1月28日(月)	FM青森	ラジオパーソナリティによるパブリシティ 60秒 番組「ラジモット」
	RAB青森放送	テレビアナウンサーによるパブリシティ 60秒 番組「月曜情報便」

第1 地域福祉活動の推進

ウ) 関係機関・団体等に対する説明者の派遣等による周知活動の実施

期 日	会 場	会議名
平成 24 年 4 月 10 日 (火)	野辺地町老人福祉センター	福祉安心電話サービス事業研修会
5 月 25 日 (金)	青森市・海扇閣	単位民児協会会長研修会
9 月 18 日 (火)	青森市・県営住宅浜館 団地集会所	県営住宅あんしん見守り体制推進事業 青森地区第 3 回研究会
10 月 11 日 (木)	青森市・県庁西棟	平成 24 年度第 2 回緊急時「情報力」強化検討会 議
10 月 18 日 (木)	県社協会議室	平成 24 年度九戸村社会福祉委員等視察研修
10 月 26 日 (金)	青森国際ホテル	平成 24 年度第 1 回集合住宅高齢者生活支援シ ステム検討委員会
平成 25 年 3 月 6 日 (水)	階上町・ハートフルプ ラザはしかみ	平成 24 年度福祉安心電話協力員研修会
3 月 14 日 (木)	五戸町・倉石コミュニ ティセンター	平成 24 年度ほのぼの交流協力員並びに福祉安 心電話協力員合同研修会

エ) 新規サービス県内初利用にあたる取材 P R

期 日	市部	サービス種類	取材数
平成 24 年 4 月 11 日 (水)	十和田市	福祉安心電話おげんきメールサービス	新聞 1 社
7 月 4 日 (水)	八戸市	おげんきメールサービス	新聞 3 社 テレビ 2 社

オ) 県人会における周知活動

会 場	内 容
東京青森県人会	平成 25 年 2 月号会報掲載・会員へのチラシ配布
近畿青森県人会	会員へのチラシ配布
中部青森県人会	会員へのチラシ配布

カ) 展示パネル及び手引きの作成

福祉安心電話サービス事業の拡充に伴い、サービスの利用が円滑に進むよう、サービス別の展示用パネルと協力員向けの手引きを作成した。

⑤福祉安心電話サービスのモニタリング事業（新）

福祉安心電話サービス事業の「安心電話おげんきメールサービス」及び「おげんきメールサービス」について、「安心電話おげんきメールサービス」の加入者を対象にモニター調査を実施した。サービスの検証・評価を行うため、実施要綱を作成し、モニター募集をした。「安心電話おげんきメールサービス」の 5 人、「おげんきメールサービス」の 2 人を対象に 3 ヶ月の実施期間とモニター調査を行った。

(2) 福祉安心電話中央センターの管理

①中央センターの管理・運営

ア) V P Nによる情報閲覧機能や口座振替導入に伴うセンターシステムの見直し

市町村社協がネット上で加入者等の情報を閲覧できるV P N (Virtual Private Network) 利用や口座振替導入に伴う会員管理システムを構築し、円滑に事業運営できるよう中央受信センターシステムの開発・修正等を実施した。また、市町村社協に先行導入してアンケート調査を行った。

イ) 中央センター着信状況と会員別内訳

福祉安心電話中央センターの平成24年度の着信は、4,136件、「着信通信状況」及び「対応状況」は別表のとおりであるが、このうち協力員要請は243件、救急車の要請は49件、消防車の要請は3件であった。

市町村名	設置 個数	着信通信状況					対応状況						
		緊急	火災	復電	停電	計	協力員 要請	救急車 要請	消防車 要請	救急 協力員	消防 協力員	停電 協力員	計
青森市	253	221	0	82	96	399	34	8	0	7	0	15	64
弘前市	466	178	1	212	247	638	24	6	1	8	0	16	55
八戸市	41	31	0	32	33	96	4	1	0	0	0	7	12
黒石市	6	6	0	12	18	36	1	0	0	2	0	2	5
五所川原市	118	146	0	64	74	284	13	5	0	3	0	9	30
十和田市	91	76	0	26	36	138	9	1	0	1	0	3	14
三沢市	83	32	0	21	22	75	9	1	0	0	0	4	14
むつ市	12	5	0	2	2	9	0	0	0	0	0	0	0
つがる市	224	207	0	86	99	392	11	0	0	4	0	13	28
平川市	131	41	0	52	59	152	3	4	0	1	0	6	14
平内町	82	38	0	15	15	68	8	2	0	1	0	1	12
外ヶ浜町	63	35	0	4	7	46	4	1	0	0	0	0	5
今別町	49	42	0	14	15	71	4	1	0	0	0	0	5
蓬田村	24	3	0	1	2	6	0	0	0	0	0	0	0
鯨ヶ沢町	90	49	0	39	46	134	5	1	0	0	0	5	11
深浦町	75	67	0	22	36	125	5	1	1	0	0	2	9
西目屋村	16	4	0	14	15	33	1	0	0	1	0	1	3
藤崎町	58	19	0	26	27	72	4	2	0	0	0	1	7

第1 地域福祉活動の推進

市町村名	設置 個数	着信通信状況					対応状況						
		緊急	火災	復電	停電	計	協力員 要請	救急車 要請	消防車 要請	救急 協力員	消防 協力員	停電 協力員	計
大鰐町	35	6	0	16	18	40	0	2	0	0	0	2	4
田舎館村	41	29	0	29	29	87	2	0	0	0	0	2	4
板柳町	77	27	0	2	4	33	2	2	0	1	0	0	5
中泊町	40	8	0	16	18	42	2	0	0	0	0	0	2
鶴田町	100	29	0	22	23	74	6	0	0	1	0	0	7
野辺地町	7	4	0	1	1	6	0	0	0	0	0	0	0
七戸町	61	116	3	20	25	164	16	1	1	0	0	3	21
おいらせ町	89	40	0	44	48	132	8	0	0	2	0	9	19
六戸町	41	39	0	22	26	87	21	0	0	2	0	2	25
横浜町	29	22	1	31	36	90	1	0	0	1	1	5	8
東北町	175	103	0	30	31	164	11	1	0	1	0	4	17
六ヶ所村	2	3	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1
大間町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東通村	35	14	1	12	13	40	5	0	0	0	0	2	7
風間浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐井村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三戸町	67	44	0	27	34	105	4	3	0	2	0	2	11
五戸町	17	15	0	15	18	48	3	1	0	0	0	2	6
田子町	21	21	0	7	7	35	3	0	0	0	0	1	4
南部町	95	49	0	41	45	135	18	4	0	3	0	13	38
階上町	36	32	0	20	25	77	2	0	0	2	0	4	8
新郷村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,852	1,801	6	1,079	1,250	4,136	243	49	3	43	1	136	475

○会員別内訳

1号会員	2,846
2号会員	4
3号会員	2
4号会員	0
合計	2,852

ウ) 福祉安心電話中央センター災害停電対応訓練の実施

災害等による停電状態が長期にわたり、県民福祉プラザの非常用電源が喪失し、保有する発電機による電源確保が必要となった状況に対して、適切かつ迅速に対応し福祉安心電話中央センターシステムの維持を図ることを目的として実施した。

期 日：平成24年9月28日（金）

平成25年3月11日（月）

場 所：県社協福祉安心電話中央センター等

内 容：中型発電機による電源確保・センターシステム維持訓練

小型発電機による電源確保・センターシステム維持訓練

発電機の安全な停止及び保管について

②「お誕生日おめでとうコール」事業の実施

加入者の誕生日にあわせて「お誕生日おめでとう」コールをするほか、緊急通報等のテストを行うとともに、実施結果を毎月市町村社協に報告した。

(3) 相談員の確保と資の向上

①相談員会議の開催（月1回）

- ・相談員数12人（日中相談員4人／夜間相談員8人）
- ・福祉安心電話サービス事業相談員会議の実施（月1回／計12回）

②相談技法研修会等への派遣

- ・平成24年度相談技法研修会に相談員2人が参加した。

(4) 住民参加によるネットワーク活動への支援

①市町村社協協力員会議等への職員派遣

- ・関係機関・団体等に対する説明者の派遣等による周知活動として実施（計9回）
（5－（1）－④－ウとして表掲載）

6 一人暮らし高齢者等に対する見守り活動の推進

ICT（情報通信技術）を活用し、緊急通報システムと安否確認システムの融合や関係者による見守り情報の共有化を図り、高齢者等のさらなる見守り活動を推進するために開発した新たな見守り系サービスを実施するとともに、事業PRに努めた。

(1) 地域福祉推進フォーラムの開催

期 日：平成25年2月16日（土）

会 場：アピオあおもり 2階「イベントホール」

参加者：129人

内 容：説 明「おげんきメールサービスのCM紹介・デモンストレーション」

青森県社会福祉協議会

基調報告「支えを必要とする地域生活者の現状と課題について」

青森市南地域包括支援センター所長 齋藤 慶吾氏

シンポジウム テーマ「地域住民が支え合うまちづくりについて考える」

コーディネーター 青森県立保健大学教授 大和田 猛氏

シンポジスト

一本木沢寺子屋実行委員会 十枝内 美和氏

あおもり高齢者等支援協議会「ささえ」会長 太田 孝氏

八戸市社会福祉協議会事務局次長 馬場 信一氏

助 言 者 青森市南地域包括支援センター所長 齋藤 慶吾氏

(2) 安心生活基盤整備事業（再掲）

住民参加による地域の福祉ニーズの把握と解決に結びつけるための仕組みづくりに取り組み、住民主体の地域福祉活動を推進するための基盤整備を図ることを目的とする取り組みに助成した。

指定市町村：黒石市、平川市、中泊町、大間町、五戸町、田子町、南部町

助 成 額：125万円（1か所あたり20万円以内）

(3) ICT活用生活支援型コミュニティづくり事業への協力と参画

岩手県立大学の研究事業である「ICTを活用した生活支援型コミュニティづくり」における土日・祝日・夜間センターを受託し、土日・祝日・夜間の電話対応及び土日・祝日の安否確認業務の代行等を実施した。

7 広報、啓発活動の充実

関係機関・団体、施設や県民に対し、地域福祉推進の意識を啓発するために、県内外の社会福祉に関する情報の集積と提供を行った。

(1) ホームページによる情報提供

県社協ウェブサイト「福祉ネットあおもり」を運営し、福祉関係の情報と県社協事業に関するPR、情報開示を行った。

月	ページ ビュー数	月	ページ ビュー数	
4	113,706	10	150,560	
5	128,252	11	142,816	
6	136,000	12	156,646	
7	146,730	1	144,072	
8	171,196	2	150,121	
9	153,395	3	152,787	
			合計	1,746,281

(2) 広報誌「福祉のひろば」の発行

発行部数：3,500部

送付先：県社協会員、社会福祉施設、市町村・都道府県社協、病院、関係機関など

No.	発行日	発行部数	内容
第37号	平成24年8月1日	3,500部	特集「東日本大震災被災者支援の『今』 ～そしてこれから～」
第38号	平成24年11月1日	3,500部	特集「みんなで防ごう！障害者虐待」
第39号	平成25年3月1日	3,500部	特集「福祉サービス等利用者の日常的な 金銭管理のあり方とは」

(3) 「福祉のしおり」の発行

県内の高齢者、障がい者、児童・母子・父子等に関する福祉の諸制度や各種事業を紹介するとともに、行政機関や各種施設・機関の連絡先及び所在地等について取りまとめ、県民の皆様方の福祉の手引きとして活用できるよう作成した。また、有料頒布としたため、チラシを作成し広く周知した。

頒布数 5,300部

第1 地域福祉活動の推進

8 第61回青森県社会福祉大会の開催

これまでの社会福祉に功績のあった方を表彰し敬意を表するとともに、関係機関や団体・地域住民等との連携・協働を更に強めながら、「地域全体で子どもを見守り、育てる社会を目指して」という児童福祉をテーマに開催した。

(実行委員会・表彰審査委員会)

期 日	会 場	出席者	内 容
実行委員会			
平成24年7月30日(月)	青森市・ウェディングプラザアラスカ	17人	委員長選任 大会役員(案)について 大会要綱(案)について 大会式典次第(案)について 参加者数の目安について 全体スケジュールについて
9月19日(水)	青森市・県民福祉プラザ	15人	大会宣言(案)について 福祉大会の全体の流れ等(大会式典の役割分担)について
表彰審査委員会			
9月19日(水)	青森市・県民福祉プラザ	14人	表彰審査

○第61回青森県社会福祉大会

期 日：平成24年11月12日(月)

会 場：リンクステーションホール青森

参加者：1,000人

内 容：記念講演「見て見ぬふりする社会から、おせっかいな社会へ～社会的親を育てる～」

講師 関西大学人間健康学部 教授 杉本 厚夫 氏

大会式典

併催イベント

福祉機器展～福祉用具の日 in あおもり 2012～

障がい者施設等による展示即売

赤い羽根共同募金ポスター展示

県内各社協活動紹介コーナー

祭りを通じた高齢者・障がい者社会参加活動紹介コーナー

9 当事者活動への支援と連携

社会福祉団体と連携、協働し地域福祉を推進するために、相互理解と啓蒙・啓発を行うとともに、県組織の団体事務を受託し活動を支援した。

(1) 福祉基金等福利厚生事業

①愛の輪基金

地域福祉活動の振興を図るために昭和 57 年に創設した愛の輪基金について、運用から生じる果実を活用し、事業を実施している。

事業内容	金額(円)
(1) 地域福祉活動推進事業	7,450,000
①福祉安心電話サービス事業	6,000,000
②地域福祉活動推進事業	800,000
③安心生活基盤支援事業	650,000
(2) 福祉の心を高める推進事業	300,000
①成年後見制度関連事業	300,000
(3) ボランティア活動育成事業	200,000
①災害ボランティアセンター情報提供事業	200,000
(4) 県民の福祉の増進に関する事業	350,000
①祭りを通じた高齢者・障がい者等の社会参加支援事業	350,000
(5) その他地域福祉に関する事業	1,200,000
①愛の輪レクリエーション事業	1,200,000
合計	9,500,000

②福祉基金

社会福祉施設増改築のための「貸付資金」と施設職員等の福利厚生のための「福利厚生資金」として昭和 48 年から運用してきた福祉基金について、会員施設及び福祉団体に広報し、募集を募った。その結果下記のとおり福利厚生資金の助成を行った。

○福祉厚生資金助成先

事業名称	助成先	金額(円)
市町村身体障害者福祉協会活動の活性化に係る研究事業	青森県身体障害者福祉団体連合会	50,000
職員接遇研修会	社会福祉法人平川市社会福祉協議会	50,000
家族支援プロジェクトワークショップ開催事業	財団法人青森県手をつなぐ育成会	50,000
第 58 回全国里親大会	青森県里親連合会	50,000
第 26 回全国ろうあ者相談員研修会	一般社団法人青森県ろうあ協会	50,000
自閉症啓発講演会	青森県自閉症協会	50,000
合計		300,000

(2) 事務受託

第1 地域福祉活動の推進

①青森県民生委員児童委員協議会

【役員会等】

会議名	開催日	会場	出席者
総会	平成24年5月24日(木)	青森市 浅虫温泉「海扇閣」	122人
役員会	平成24年4月19日(木)	青森市 県民福祉プラザ	21人
	平成24年11月5日(月)	青森市 県民福祉プラザ	21人
	平成25年3月22日(金)	青森市 県民福祉プラザ	23人
監査	平成24年4月13日(金)	青森市 県民福祉プラザ	4人
	平成24年10月12日(金)	青森市 県民福祉プラザ	4人

【研修会】

研修会名	開催日	会場	参加者
単位民児協会長研修会 (県社協と共催)	平成24年5月24日(木) ～25日(金)	青森市 浅虫温泉「海扇閣」	149人
	行政説明Ⅰ「地域福祉に関する最新の動向と民生委員活動について」 青森県健康福祉部 健康福祉政策課 包括ケア推進グループ 総括主幹 玉川 孝一 氏 行政説明Ⅱ「県内の児童問題の実態と児童委員活動について」 東青地域県民局地域健康福祉部 こども相談総室 こども相談課 課長 大山 和也 氏 各部会・委員会からの報告 グループ討議 ①児童問題の支援に向けた取り組みについて ②地域社会における孤立・孤独をなくす取り組みについて ③災害時における民生委員児童委員活動について グループ討議まとめ 講演「地域の見守りと福祉安心電話の活用 ～人と情報のつながりの一体化を目指して～」 講師 県社協 地域福祉課		
児童委員・主任児童委員研修会	平成24年8月31日(金)	青森市 ウェディングプラザアラスカ	179人
	講演「児童委員と主任児童委員の連携」 講師 昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科 教授 高橋 久雄 氏 グループ討議「児童委員と主任児童委員の連携」 グループ討議報告		
中堅民生委員児童委員研修会 (県社協と共催)	平成24年10月26日(金)	青森市 ウェディングプラザアラスカ	191人
	講演「地域からの孤立を防ぐために必要な見守り、支援活動について」 講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 金井 敏 氏 グループ討議 ①課題を抱える子育て家庭への支援について ②高齢者等の孤立・孤独をなくすために ③災害時要援護者支援活動について グループ討議報告		

相談技法研修会 (県社協と共催)	平成24年11月20日(火)	青森市 ウェディングプラザアラスカ	259人
	青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫 氏 事例発表①生計に関すること ②児童に関すること ③高齢者に関すること コーディネーター 青森大学 社会学部 社会学科 教授 船木 昭夫 氏		
新任民生委員児童委員 研修会 (県社協と共催)	平成25年2月15日(金)	青森市 県民福祉プラザ	119人
	説明Ⅰ「民生委員制度に関する事項について」 講師 県健康福祉政策課 包括ケア推進グループ 主査 菊地 香織 氏 説明Ⅱ「児童委員、主任児童委員に関する事項について」 講師 県子どもみらい課 子育て支援グループ 主幹 細越 亜起子 氏 説明Ⅲ「社会福祉協議会と民生委員活動」 県社協 生活支援課 グループワーク「新任民生委員・児童委員の活動について」		
役員・部会等委員合同 研修会	平成25年3月13日(水) ～14日(木)	青森市「青森国際ホテル」	58人
	講話「消費者トラブルについて」 講師 青森県消費生活センター 消費生活専門相談員 川田 美香 氏 講演・演習「地域の“つむぎ役”となろう！ ～民生委員活動とコミュニケーションスキル～」 講師 合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏		

②青森県社会福祉施設経営者協議会の運営

【役員会】

会議名	期日	会場	出席者
総会	平成24年5月8日(火)	青森国際ホテル	103法人
役員会	平成24年4月11日(水)	県民福祉プラザ	15人
	平成24年11月14日(水)	アラスカ	13人
	平成25年3月12日(火)	県民福祉プラザ	13人
監査会	平成24年4月5日(木)	県民福祉プラザ	4人

【研修会等】

研修名	期日	会場	参加者
理事長・ 役員研修会	平成24年5月8日(火)	青森国際ホテル	110人
	講演 「地域福祉の時代における社会福祉法人の経営と使命および地域貢献」 講師 日本社会事業大学大学院特任教授 公益財団法人テクノエイド協会理事長 大橋 謙策 氏 パネルディスカッション		

第1 地域福祉活動の推進

	「社会福祉法人、真の使命と課題とは？」 パネラー 経営協児童福祉委員会委員長 榊 茂信 氏 経営協障害福祉委員会委員長 工藤 伸役 氏 経営協老人福祉委員会委員長 野田 博之 氏 アドバイザー 日本社会事業大学大学院特任教授 公益財団法人テクノエイド協会理事長 大橋 謙策 氏 コーディネーター 経営協総務部会部会長 山口 俊輔 氏	
福祉経営フェロー 部会研修会	平成 24 年 6 月 6 日 (水)、7 日 (木) 浅虫温泉 海扇閣	18 人
	講演 「これからの社会福祉施設の使命と経営」 講師 経営協副会長 分枝 勝則 氏	16 人
コーチング 特別講座	平成 24 年 7 月 12 日 (木) 八戸地域地場産業振興センター ユートリー	32 人
	講演 「コーチング特別講座 初級編・初級応用編」 講師 有限会社アライブ・ワン代表取締役 プロフェッショナルコーチ 後藤 美香 氏	
コーチング 特別講座	平成 24 年 11 月 13 日 (火) アラスカ 4 階 ダイヤモンド	15 人
	講演 「コーチング特別講座 中級編・中級応用編」 講師 有限会社アライブ・ワン代表取締役 プロフェッショナルコーチ 後藤 美香 氏	
TRM(トータルリス クマネジメント) 基礎講座	平成 24 年 10 月 5 日 (金) 平成 24 年 10 月 10 日 (水) ～11 日 (木) アラスカ 4 階 ダイヤモンド アラスカ地下 1 階 サファイア	29 人
	[管理者編] 講演 「アクションプラン 2015 と TRM について」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今村 良司 氏 「福祉施設における虐待防止を考える」 講師 境川法律事務所 弁護士 森本 哲平 氏 「社会福祉法人の管理システムの構築について」 講師 社会福祉法人楽晴会 理事長 齊藤 淳 氏 「障害者制度と経営について」 講師 社会福祉法人七峰会山郷館館長 工藤 伸役 氏 [担当者編] 講演 「アクションプラン 2015 と TRM について」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今村 良司 氏 青森県社会福祉施設経営者協議会 研修部会長 佐々木 浩司 氏 「リスクマネジメントの目的と概念」 講師 社会福祉法人スプリング特別養護老人ホーム	

		<p>福寿草 副施設長 中谷 美由紀 氏</p> <p>「自施設リスクマネジメント成熟度レベルの検証」 講師 社会福祉法人ファミリー特別養護老人ホーム ハピネスながわ 施設長 佐藤 ひとみ 氏</p> <p>「業務手順書の作成について」 「色々な方法でみんなのマニュアルを作ってみよう！」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今村 良司 氏 青森県社会福祉施設経営者協議会 研修部会長</p> <p>「福祉現場における法令遵守と苦情解決について」 講師 青森県運営適正化委員会係長 葛西 裕美</p>	
<p>青森県社会福祉法人経営者研修会 ～社会福祉施設ネットワーク化のために～</p>	<p>平成 25 年 2 月 19 日(火)</p> <p>アラスカ地下 1 階 サファイア</p> <p>経営協各委員会からの報告</p> <p>① 老人福祉委員会 老人福祉委員会 副委員長 成田 和博 氏</p> <p>② 障害福祉委員会 障害福祉委員会 委員長 工藤 伸役 氏</p> <p>③ 児童福祉委員会 児童福祉委員会 委員長 榊 茂信 氏</p> <p>講演</p> <p>「手軽にできる ICT 活用について」 講師 株式会社テクノル執行役員営業企画部次長千葉 修一氏</p> <p>「県経営協の新たなネットワークについて」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今村 良司 氏</p> <p>「第 2 期福祉経営フェロー部会の募集について」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今 勝一志 氏</p> <p>「県青年経営者協議会(仮称)の立ち上げについて」 講師 青森県社会福祉施設経営者協議会 副会長 今 勝一志 氏</p> <p>「トータルリスク認証制度について」 青森県社会福祉施設経営者協議会 研修部会長 佐々木 浩司 氏</p>	<p>35 人</p>	
<p>社会福祉法人制度 学習会</p>	<p>平成 24 年 12 月 4 日(火)</p> <p>平成 24 年 12 月 21 日(金)</p> <p>講演</p> <p>「地域包括における社会福祉法人経営のあり方」 講師 日本社会事業大学専門職大学院 准教授 藤井 賢一郎 氏</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>パネラー 社会福祉法人ファミリー理事長 佐藤 和夫 氏</p> <p>パネラー 社会福祉法人ファミリー 理事 小川 利久 氏</p> <p>パネラー 社会福祉法人同伸会 理事長 岩渕 惣二 氏</p> <p>コーディネーター 青森県社会福祉施設経営者協議会 老人福祉委員会委員長 野田 博之 氏</p>	<p>青森国際ホテル 2 階 春秋の間</p> <p>アラスカ地下 1 階 サファイア</p> <p>57 人</p>	

第1 地域福祉活動の推進

	<p>講義1 「児童福祉施設等における‘気になる子’への対応に関する公的支援の現状」 講師 青森県中央児童相談所 心理判定課長 齊藤 雅一 氏</p> <p>講義2 「児童福祉法改正による障害児支援の強化」 講師 青森県健康福祉部障害福祉課 障害者支援グループ総括主幹 工藤 康成 氏</p> <p>現場報告 報告者 滝内保育園園長 榎 茂信 氏 報告者 山郷館児童・障害者デイサービスセンター くれよん管理者 葛西 伸也 氏</p>	47人
--	---	-----

【ブロック会議等】

研修名	期 日	会 場	参加者
全国経営協ブロック会議 (北海道・東北ブロック会議)	平成24年8月20日(月) ～21日(火)	仙台国際ホテル	36人
平成24年度北海道・東北ブロックセミナー	平成24年11月21日(水) ～22日(木)	盛岡市 ホテルメトロポリタン盛岡本館	15人
第31回全国社会福祉施設経営者大会	平成24年9月24日(月) ～25日(火)	浜松市 アクトシティ浜松	23人

③青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
通常総会	平成24年6月7日(木)	アラスカ会館	47施設
監査会	平成24年4月18日(水)	県民福祉プラザ	1人
正副会長・委員長会議	平成24年4月18日(水)	県民福祉プラザ	4人
	平成24年6月7日(木)	アラスカ会館	4人
	平成24年7月6日(金)	県民福祉プラザ	4人
	平成25年1月18日(金)	県民福祉プラザ	5人
	平成25年3月28日(木)	県民福祉プラザ	5人
役員会	平成24年4月18日(水)	県民福祉プラザ	17人
	平成25年3月28日(木)	県民福祉プラザ	16人
委員会	平成24年7月6日(金)	県民福祉プラザ	10人
	平成24年8月24日(金)	県民福祉プラザ	12人

【研修会】

研 修 名	期 日	会 場	出席者
会員研修会	平成24年6月7日(木)	アラスカ会館	92名
	・行政説明「青森県の高齢者施策について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 高齢者総合グループ 総括主幹 本田 親男 氏		

	<ul style="list-style-type: none"> ・講演 「今後の地域包括・在宅介護支援センターのあり方について」 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 会長 青木 佳之氏 		
高齢者虐待防止研修会 (県との共催事業)	平成24年10月30日(火)	アラスカ会館	61人
	<ul style="list-style-type: none"> ・行政説明「青森県における高齢者虐待の状況と高齢者虐待に関する市町村への支援について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 主 幹 中川 博行 氏 ・講演 「虐待防止法と権利擁護」 沼田法律事務所 弁護士 沼田 徹 氏 ・パネルディスカッション コーディネーター 八戸地域虐待等困難事例ネットワーク研究会 代 表 安田 真 氏 「身体的虐待を含めた多問題ケース」 青森市南地域包括支援センター 乗田 智 氏 「繰り返される虐待と防止へ向けた取り組み」 弘前市北部地域包括支援センター 藤田 博美 氏 「イネイブリングが引き起こす虐待」 八戸市地域包括支援センター 島田 拓巳 氏 		
地域包括支援センター職員研修 (受託事業)	平成24年11月29日(木) ～30日(金)	ホテル青森	65人 61人 (修了者)
	<p>11月29日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①行政説明「介護予防・認知症対策の最新情報」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 主 査 青木 範子 氏 ②講演 「効果的な介護予防の実践」 弘前医療福祉大学保健学部看護学科 講 師 大沼 由香 氏 ③演習 「効果的な介護予防の実践」 弘前医療福祉大学保健学部看護学科 講 師 大沼 由香 氏 ④講演 「孤独死のない地域を目指して」 岩手看護短期大学 教 授 鈴木 るり子 氏 ⑤情報交換「地域の見守り活動の実態」 コーディネーター 青森市中央地域包括支援センター 地域包括支援センター認定指導者 加川 奈津子 氏 話題提供 青森市地域包括支援センターみちのく 齋藤 雄 氏 新郷村役場住民生活課 課長 小笠原 幸子 氏 <p>11月30日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑥情報交換 「医療と介護の連携強化に係わる地域包括支援センターの役割」 コーディネーター 八戸市高齢福祉課 課 長 長谷川 恭子 氏 話題提供 八戸市地域包括支援センター 中坂 和裕 氏 青森市南地域包括支援センター 齋藤 慶吾 氏 		

第1 地域福祉活動の推進

	⑦講演 「困難ケースを解きほぐす」 金沢市地域包括支援センターとびうめ センター長 中 恵美 氏 グループ演習 「やってみよう事例検討 困難ケースの可視化による 問題解決方法」 津幡町地域包括支援センター 係 長 寺本 紀子 氏		
介護予防支援従事者研修 (受託事業)	平成 25 年 2 月 15 日 (金)	ホテル青森	314 人
	・行政説明「青森県の介護保険の現状について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 総括主幹 福田 悟 氏 ①基礎編 【講義】「介護予防支援の視点とプロセスについて」 八戸市高齢福祉課 課 長 長谷川 恭子 氏 【演習】「介護予防サービス・支援計画書作成」 七戸町地域包括支援センター 工藤 晶 氏 八戸市高齢福祉課 長谷川 恭子 氏 八戸医療生活協同組合生協居宅介護支援事業所 獅子内 和子 氏 特別養護老人ホーム見心園 大江 美智子 氏 メディカルコート八戸西病院 櫻橋 和加子 氏 ②応用編 【演習】「介護予防支援の多様な視点とその活用」 ～ネットワークの手法・困難事例の捉え方～ 青森市南地域包括支援センター 齋藤 慶吾 氏 社会福祉法人平元会 三浦 幸子 氏 三沢市地域包括支援センター 遠藤 泰子 氏 青森市中央地域包括支援センター 加川 奈津子 氏		

④青森県ホームヘルパー連絡協議会

【役員会等】

会 議 名	期 日	会 場	出席者
定例総会	平成 24 年 5 月 15 日 (火)	県民福祉プラザ	39 人
正副会長会議	平成 25 年 1 月 23 日 (水)	県民福祉プラザ	3 人
理事会	平成 24 年 4 月 18 日 (水)	県民福祉プラザ	7 人
	平成 24 年 6 月 11 日 (月)	県民福祉プラザ	7 人
	平成 25 年 2 月 21 日 (木)	県民福祉プラザ	8 人
監査会	平成 24 年 5 月 15 日 (火)	県民福祉プラザ	4 人
表彰審査委員会	平成 24 年 5 月 15 日 (火)	県民福祉プラザ	4 人

【研修会】

研 修 名	期 日	会 場	参加者
会員研修会	平成 24 年 5 月 15 日 (火)	県民福祉プラザ	39 人
	講義 「高齢者を狙う悪質商法について ～ヘルパーの対応の仕方～」 講師 青森県消費生活センター 消費生活専門相談員 船木 志津子 氏		
初任者研修会	平成 24 年 7 月 17 日 (火)	県民福祉プラザ	93 人

	講義 「社会福祉の現場で働くということ～新人としての心得～」 グループワーク 「現場で困ったことをみんなで考えよう」 講師 社団法人青森県社会福祉士会理事 三上 富士子 氏		
中級者研修会	平成24年11月16日(金)	アピオあおもり	67人
	講義 「ヒューマンズ・ナチュラル・アクション らくらく動作介助の考え方」 実技 「NHA法 持ち上げない介護技術の実習」 講師 NPO動作介助研究会事務局長 佐藤 幸恵 氏		
上級者研修会	平成24年10月29日(月)	県民福祉プラザ	80人
	演習 「生活支援のスキル ～どうとらえて、どう伝えるか～ ～介護報酬改定がもたらしたもの～」 講師 郡山ソーシャルワーカーズオフィス代表 吉田 光子 氏		
研究協議会	平成25年1月11日(金)	県民福祉プラザ	50人
	講演 「介護従事者が受けるケア・ハラスメントについて」 「あなたが実践する介護行為の付加価値とは-D・R・I・P(ドリッ プ): 静かな実践-」 講師 八戸大学人間健康学部人間健康学科 准教授 篠崎 良勝 氏		

【東北ブロックホームヘルパー協議会研修会】

研修名	期日	会場	出席者
平成24年度東北ブロックホームヘルパー協議会研修会	平成24年 9月10日(月)～11日(火)	ホテル森の風鶯宿	11人

【ホームヘルプの質を高める研修会】

研修名	期日	会場	出席者
平成24年度ホームヘルプの質を高める研修会	平成24年 12月10日(月)～11日(火)	全国社会福祉協議会	2人

⑤青森県ボランティア連絡協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
総会	平成24年5月29日(火)	青森市・県民福祉プラザ	99人
理事会	平成24年4月20日(金)	青森市・県民福祉プラザ	16人
	7月31日(火)	青森市・県民福祉プラザ	11人
監査会	平成24年4月20日(金)	青森市・県民福祉プラザ	7人
正副会長会議	平成24年7月31日(火)	青森市・県民福祉プラザ	5人
	平成25年2月26日(火)		5人

【研修会等】

事業名	期日	会場	参加者
青森県ボランティア講座	平成24年5月29日(火)	青森市・県民福祉プラザ	108人
	講演「感動から生まれた奇跡」		

第1 地域福祉活動の推進

	～鹿児島県鹿屋市柳谷町内会（通称やねだん）の取組みより～ 講師 （株）青森テレビ 報道制作局 今泉 清保氏	
--	--	--

⑥青森県里親連合会

【役員会等】

会議名	期 日	会 場	出席者
総会	平成24年5月13日（日）	青森市・アピオあおもり	25人
正副会長会議	平成24年12月11日（火）	青森市・県民福祉プラザ	3人
	平成25年3月5日（火）	青森市・県民福祉プラザ	4人
役員会	平成24年4月26日（木）	青森市・県民福祉プラザ	13人
	6月14日（木）	青森市・県民福祉プラザ	10人
	平成25年3月5日（火）	青森市・県民福祉プラザ	12人
監査会	平成24年4月26日（木）	青森市・県民福祉プラザ	3人
表彰選考委員会	平成24年4月26日（木）	青森市・県民福祉プラザ	3人
研修・編集委員会	平成24年8月21日（火）	青森市・県民福祉プラザ	5人
	12月11日（火）	青森市・県民福祉プラザ	5人
	平成25年2月19日（火）	青森市・県民福祉プラザ	7人

【研修会】

研修名	期 日	会 場	参加者
会員研修会	平成24年5月13日（日）	青森市・アピオあおもり	28人
	講師 情緒障害児短期治療施設青森おおぞら学園 施設長 鳴海 明敏 氏 講演「青森おおぞら学園の状況について」		
里親親子交流会	平成24年6月17日（日）	青森市・田代高原	40人
	東八甲田つつじ祭りへの参加 里親・児童同士の交流・懇談、昼食「バーベキュー」		
子育て講演会（里親シンポジウム）	平成24年10月21日（日）	青森市・県民福祉プラザ	36人
	講師 三沢地区少年警察ボランティア連絡会 会長 伊藤 恵美子 氏 講演「子どもたちの心の闇を照らして」		

【青森県里親支援機関事業】

事業名「研修名」	期 日	会 場	参加者
里親家庭への訪問支援事業	平成24年4月～ 平成25年2月	青森県内各里親家庭 訪問（94回）	
里親家庭への訪問支援事業 「里親支援員研修会」	平成24年7月22日（日）	青森市・県民福祉プラザ 講義「相談・面接援助技術及び傾聴」 演習「傾聴のロールプレイング」 講師 情緒障害児短期治療施設青森おおぞら学園 施設長 鳴海 明敏 氏	9人
里親による相互交流事業 「青森県里親相互交流会」	平成24年10月21日（日）	青森市・県民福祉プラザ 講師 青森県立保健大学健康科学部看護学科 教授 中村 由美子 氏 講義・意見交換「最近の思春期の子ども心」	29人
里親家庭への訪問支援事業 「里親支援員情報交換会」	平成24年12月18日（火）	青森市・県民福祉プラザ 【午前の部】意見・情報交換 これまでの訪問で悩んだこと、県等への要望について 【午後の部】意見・情報交換 訪問支援活動の周知の仕方や情報共有について	18人

⑦青森県地域活動連絡協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
総会	平成24年5月28日(月)	県民福祉プラザ	21単位母親クラブ
役員会	平成24年4月24日(火)	県民福祉プラザ	11人
	平成25年1月30日(水)		8人
	3月6日(水)		6人
監査会	平成24年4月24日(火)	県民福祉プラザ	4人
正副会長会議	平成24年7月30日(月)	県庁北棟	4人
	平成25年2月28日(木)	県民福祉プラザ	4人

【研修会】

研修名	期日	会場	出席者
児童福祉週間会員研修会	平成24年5月28日(月)	県民福祉プラザ	46人
	講演 「見守りは目配り手配り範となれ」 講師 財団法人児童健全育成推進財団 理事長 鈴木一光氏		
平成24年度青森県地域活動連絡協議会会員研修会	平成24年11月20日(火)	グランドサンピア八戸 是川縄文館	106人
	講演 「90年目を迎える森のおとぎ会」 講師 八戸市公民館長 梶谷伸夫氏 是川縄文館見学/ワークショップ「琥珀の勾玉作り」		
北海道・東北ブロック/関東甲信越ブロック全国地域活動連絡協議会指導者研修会	平成24年9月13日(木) ～14日(金)	茨城県つくば市 「つくばインフォメーションセンター」「オークラフロンティアホテルつくば」	3人
	1日目:行政説明、グループディスカッション「母親クラブ活動のあり方」、意見交換会 2日目:寸劇「いきいき私らしく～あき子さんの場合～」パネルディスカッション、全体講評		

【その他】

ア) 平成24年度遊び場点検ならびに子どもを犯罪から守る公園の安全点検

期日:平成24年7月8日(日)

会場:弘前市「三岳公園」

参加者数:28人

イ) 青森県市長会・青森県町村会へ提言書の提出

期日:平成24年8月23日(木)

会場:青森県市長会/青森県町村会

出席者数:3人

⑧青森県児童館連絡協議会

【役員会等】

会議名	期日	会場	出席者
総会	平成24年5月11日(金)	県民福祉プラザ	47児童館
理事会	平成24年4月19日(木)	県民福祉プラザ	10人
	平成25年3月12日(火)		10人

第1 地域福祉活動の推進

監査会	平成24年4月19日(木)	県民福祉プラザ	3人
児童厚生員部会	平成24年4月25日(水)	県民福祉プラザ	13人
正副会長会議	平成24年7月3日(火)	県民福祉プラザ	2人
	平成25年2月8日(金)		2人

【研修会】

会議名	期日	会場	出席者
児童館館長・職員研修会	平成24年5月11日(金)	県民福祉プラザ	53人
	講演「これからの児童館が目指すものとは 一児童館の役割と将来を考える」 講師 弘前大学生涯学習教育研究センター講師 深作拓郎氏		
第1回児童厚生2級指導員資格研修会	平成24年9月26日(水)	アスパム	66人
	「健全育成論」 弘前大学生涯学習教育研究センター 講師 深作拓郎氏		
	「ゲーム・運動遊び」 青森中央短期大学幼児保育学科教授 大沢陽子氏		
	「集団援助活動」 青森中央短期大学幼児保育学科准教授 時本英知氏		
第2回児童厚生2級指導員資格研修会	平成24年10月4日(木)	アスパム	66人
	「地域福祉活動」 弘前学院大学大学院社会福祉研究科教授 野口伐人氏		
	「放課後児童クラブ論」 青森短期大学地域創造学科准教授 今村百合子氏		
	「児童館論」 財団法人児童健全育成推進財団事務局長 依田秀任氏		
	「表現活動」 青森明の星短期大学子ども学科教授 木村博子氏		
児童館職員研修会	平成24年11月30日(金)	アピオあおもり	30人
	講演・グループワーク 「子どもとのかかわりを深めるコミュニケーションスキル」 講師 青森県総合学校教育センター 教育相談課指導主事 島浦靖氏		

【東北7県児童館連絡協議会】

会議人	期日	会場	参加者
平成24年度東北7県児童館連絡協議会総会・連絡会議	平成24年5月17日(木)	ホテルフロラシオン青山(東京都)	14人
	東北7県児童館連絡協議会総会 東北7県児童館連絡会議(情報交換・協議)		

【児童館連絡協議会事務担当者会議・全国会議】

事業人	期日	会場	参加者
平成24年度児童館連絡協議会事務担当者会議	平成24年5月17日(木)	ホテルフロラシオン青山(東京都)	59人
平成24年度児童館連絡協議会全国会議	平成24年5月17日(木)	ホテルフロラシオン青山(東京都)	71人

【その他の事業】

事業人	期日	会場
児童劇巡回事業	平成24年8月2日(木)	弘前市北児童センター
	8月3日(金)	三沢市三沢児童館
	8月4日(土)	おいらせ町南部児童センター

10 東日本大震災に係る県外避難者への支援（新）

東日本大震災の発生に伴い、県外から本県に避難している世帯からの困りごと、相談に対し、関係機関との連携した相談対応を実施した。

(1) 被災者支援体制強化事業の実施

①常勤相談員による電話相談対応

【相談件数】

月	件数	相談内容 内訳						
		1	2	3	4	5	6	7
4月	10	1	3	0	4	0	0	2
5月	3	0	1	0	1	0	0	1
6月	2	0	2	0	0	0	0	0
7月	4	0	0	4	0	0	0	0
8月	4	1	0	1	2	0	0	0
9月	3	0	1	0	1	0	0	1
10月	1	0	1	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	4	0	0	3	0	0	0	1
2月	1	0	0	1	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0
計	32	2	8	9	8	0	0	5

【相談内容】

1. お金のこと
2. 住まいのこと
3. 仕事のこと
4. 医療・福祉のこと
5. 子育て・教育のこと
6. 東電のこと
7. その他

第2 利用者の利益を守る事業の推進

1 日常生活自立支援事業の充実

認知症や知的、精神障がい等により判断能力が不十分である方が、日常生活を営む上で必要な福祉サービスを利用し、地域で安心した生活が送れるよう、基幹的社会福祉協議会との連携、協働により、福祉サービスの利用支援と、それに関わる日常的金銭管理、書類の預かり等の支援を行った。

(1) 青森県地域福祉権利擁護センター(あっぷるハート)の運営

①基幹的社協への業務委託

青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市、つがる市、平川市の各社協と業務委託契約を締結し事業を実施した。

○日常生活自立支援事業の契約件数及び相談件数等

ア) 契約件数

	青森市	弘前市	八戸市	五所川原市	十和田市	むつ市	三沢市	つがる市	平川市	合計
認知症高齢者	115	68	72	233	247	46	74	35	39	929
知的障害者	19	16	29	33	28	11	8	8	10	162
精神障害者	15	49	17	45	35	5	7	1	14	188
その他	11	7	18	15	32	4	4	2	9	102
合計	160	140	136	326	342	66	93	46	72	1,381
11年度	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
12年度	6	6	3	6	13	3	0	0	0	37
13年度	4	11	9	16	15	7	0	0	0	62
14年度	14	13	8	34	32	7	0	0	0	108
15年度	8	9	7	37	38	6	0	0	0	105
16年度	12	11	6	21	36	4	0	0	0	90
17年度	20	15	11	34	37	3	0	0	0	120
18年度	14	29	10	40	32	8	0	0	0	133
19年度	14	19	19	33	27	5	54	0	0	171
20年度	15	8	18	28	23	4	10	0	0	106
21年度	13	5	20	24	23	8	13	44	0	150
22年度	17	9	11	14	31	6	0	1	38	127
23年度	15	4	8	26	22	1	7	0	19	102
24年度	8	1	6	13	10	4	9	1	15	67

イ) 相談経路別契約数

() 内は、平成11年10月からの累計

相談経路	契約件数		相談経路	契約件数	
社会福祉協議会	3	(157)	知的障害者福祉施設	1	(28)
福祉事務所	6	(209)	精神障害者福祉施設	2	(26)
その他の行政機関	1	(51)	身体障害者福祉施設	5	(11)
民生委員児童委員	0	(19)	病院・医療関係	7	(107)
介護支援専門員	21	(217)	在宅介護支援センター	6	(87)
本人	0	(21)	ヘルパー	0	(26)
親	0	(4)	グループホーム	0	(42)
子	0	(37)	生活支援員	1	(3)
配偶者	1	(1)	地域包括支援センター	8	(60)
兄弟姉妹	0	(17)	基幹的社協移管	0	(116)
親類	3	(39)	地域定着生活支援センター	0	(0)
隣人・知人	0	(7)	その他	0	(5)
高齢者福祉施設	1	(91)	合計	67	(1,381)

ウ) 相談件数

() 内は、平成11年10月からの累計

	認知症高齢者		知的障害者		精神障害者		その他		合計	
青森市	54	(1,065)	8	(753)	40	(560)	2	(262)	104	(2,640)
弘前市	175	(2,515)	94	(1,322)	454	(2,974)	33	(509)	756	(7,320)
八戸市	256	(2,647)	251	(1,367)	251	(1,100)	56	(497)	814	(5,611)
五所川原市	235	(2,342)	62	(552)	123	(803)	40	(304)	460	(4,001)
十和田市	147	(2,890)	65	(743)	61	(727)	22	(530)	295	(4,890)
むつ市	156	(1,340)	13	(286)	90	(208)	31	(65)	290	(1,899)
三沢市	369	(1,452)	26	(333)	88	(327)	117	(635)	600	(2,747)
つがる市	309	(1,348)	189	(811)	35	(56)	14	(23)	547	(2,238)
平川市	193	(494)	38	(169)	162	(290)	48	(118)	441	(1,071)
合計	1,894	(16,093)	746	(6,336)	1,304	(7,045)	363	(2,943)	4,307	(32,417)

エ) 実利用者数

基幹的社協	契約	解約	実利用
青森市	160	89	71
弘前市	140	94	46
八戸市	136	68	68
五所川原市	326	224	102
十和田市	342	247	95
むつ市	66	49	17
三沢市	93	52	41
つがる市	46	13	33
平川市	72	21	51
合計	1,381	857	524

第2 利用者の利益を守る事業の推進

オ) 利用回数別契約数

	1回/月	2回/月	3回/月	4回/月	5回以上/月	合計
有料世帯	523	93	4	25	2	647
無料世帯	520	142	6	63	3	734
合計	1,043	235	10	88	5	1,381

②契約締結審査会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 6 月 25 日 (月)	青森市・県民 福祉プラザ	9 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査案件 「利用者との契約について (ガイドラインの聴取不可能者)」 ・ 報告 「地域生活定着支援センターから本事業へつないだケースについて」 ・ 説明 「平成 23 年度事業実績報告及び平成 24 年度事業計画について」
平成 24 年 7 月 23 日 (月)	青森市・県民 福祉プラザ	10 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査案件 「判断能力のない利用者との契約締結について」 ・ 報告 「利用者との契約について (ガイドラインの聴取不可能者)」 ・ 説明 「高額預貯金所持者との契約締結について」
平成 24 年 8 月 27 日 (月)	青森市・県民 福祉プラザ	8 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査案件 「高額預貯金所持者との契約締結について」 ・ 報告 「利用者との契約について (ガイドラインの聴取不可能者)」

③預かり書類等現物検査の実施

調査年月日	調査対象
平成 24 年 7 月 2 日 (月)	佐井村社協
平成 24 年 7 月 4 日 (水)	黒石市社協
平成 24 年 7 月 6 日 (金)	外ヶ浜町社協蟹田支所、平舘支所
平成 24 年 7 月 10 日 (火)	横浜町社協、六ヶ所村社協
平成 24 年 7 月 13 日 (金)	板柳町社協、弘前市社協岩木支部
平成 24 年 7 月 18 日 (水)	東北町社協本部、上北支所
平成 24 年 7 月 24 日 (火)	南部町社協本部、福地支部、南部支部
平成 24 年 7 月 25 日 (水)	深浦町社協
平成 24 年 7 月 31 日 (火)	鶴田町社協、五所川原市社協金木支所
平成 24 年 10 月 5 日 (金)	青森市社協
平成 24 年 10 月 11 日 (木)	八戸市社協
平成 24 年 10 月 17 日 (水)	弘前市社協
平成 24 年 10 月 23 日 (火)	平川市社協
平成 24 年 10 月 31 日 (水)	むつ市社協
平成 24 年 11 月 8 日 (木)	三沢市社協

平成24年11月13日(火)	十和田市社協
平成24年11月22日(木)	五所川原市社協
平成24年11月28日(水)	つがる市社協

④事業実施検査の実施

日常生活自立支援事業の適切な運営を推進するため、県内19ヶ所の市町村社協に対して、内部牽制体制や検認等の実施状況について事業実施検査を実施した。

- ・実施日：書類等預かりサービス現物検査と併せて実施した。
- ・指摘事項：預かり書類の記載内容に変更漏れが認められたため、文書により改善指導を行った。

⑤基幹的社会福祉協議会との連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年 5月18日(金)	青森市・県民 福祉プラザ	15人	<基幹的社協連絡会議> 協議 ・平成24年度事業計画について ・平成24年度預かり書類等現物検査の実施について ・日常生活自立支援事業の運営に係る調査報告について ・日常生活自立支援事業に関する連絡調整並びに情報交換
平成24年 12月10日(月)	青森市・県民 福祉プラザ	19人	<基幹的社協事務局長会議> 報告 ・平成24年度日常生活自立支援事業の実施状況について 協議 ・専門員の増員について ・生活支援員の処遇について ・書類等預かり物の返却について
平成25年 3月6日(水)	青森市・県民 福祉プラザ	15人	<基幹的社協連絡会議> 協議 ・書類等預かり物の返還について ・基幹的社協における生活支援員の保険加入状況について ・日常生活自立支援事業の運営に係る課題・問題等について ・日常生活自立支援事業に係る事務処理について

第2 利用者の利益を守る事業の推進

⑥関係機関連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 25 年 2 月 26 日 (火)	青森市・県民 福祉プラザ	10 人	関係機関名：青森県社会福祉施設経営者協議会 説明 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業の役割について 日常生活自立支援事業の利用状況について 協議 <ul style="list-style-type: none"> 施設における入所者の金銭管理について 施設における金銭管理の取り組み状況に係るアンケート調査（案）について

⑦運営適正化委員会運営監視部会への出席

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 9 月 3 日 (月)	青森市・県民 福祉プラザ	13 人	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業の書類等預かり状況について 弘前市社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の実施状況について 八戸市社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の実施状況について
平成 25 年 3 月 27 日 (水)	青森市・県民 福祉プラザ	15 人	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度の運営監視事業について 平成 24 年度日常生活自立支援事業の実施状況について 平川市社会福祉協議会における日常生活自立支援事業の実施状況について

(2) 従事者等の資質向上のための取り組み

①専門員・生活支援員研修会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 10 月 24 日 (水)	青森市・青森 市文化観光 交流施設ね ぶたの家 ワ・ラッセ	61 人	講義 「日常生活自立支援事業における相談援助活動 ～判断能力が低下した方々との関わり～」 講師 青森県立保健大学 教授 大和田猛氏 講義/演習 「その人らしさを支援するための相談記録の手法 ～インテークにおける相談記録、支援員記録～」 講師 弘前医療福祉大学短期大学部 准教授 寺田富二子氏 事務局説明「金銭取扱書の書き方等説明について」

(3) 事業の普及・啓発活動への取り組み

①権利擁護・成年後見セミナーの開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 12 月 4 日 (火)	青森市・県民 福祉プラザ	139 人	講演 「判断能力が低下した身寄りのない高齢者の権利や財産を守るために」 講師 特定非営利活動法人あだち高齢者支援・伴走舎 理事長 柴田壽氏 パネルディスカッション コーディネーター 弁護士 沼田徹氏

			事例発表① 「施設における入所者の金銭管理について」 社会福祉法人叶福社会 大東ヶ丘サントピアホーム生活支援課 課長 平田真由美氏 事例発表② 「病院における入所者の金銭管理について」 社団法人慈恵会 青い森病院医療相談 総括係長 太田恭輔氏 事例発表③ 「グループホームにおける入所者の金銭管理について」 有限会社ケアサービス十和田イースト グループホームたかしずの森 管理者 水尻美樹氏
--	--	--	---

(4) 成年後見制度への取り組み

青森県内における成年後見制度のより一層の普及を目的として、成年後見監督人、保佐監督人として受任している3件について、成年後見人等の活動状況の監督や関係機関との連絡調整等、後見等監督業務を実施した。

また、平成21年度に開催した市民後見人養成講座の修了者のうち、市民後見人候補者として県社協に登録している24名を対象に、成年後見制度の概要や後見業務の理解を深めることを目的とした研修会を開催した。

①市民後見人登録者のためのフォローアップ

- ・市民後見人登録者研修会の開催

開催日	開催場所	受講者	内容（講師）
平成24年7月30日（月）	青森市・ 県民福祉 プラザ	16人	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の概要と成年後見人の役割 -青森県における成年後見制度の活用状況- (青森家庭裁判所主席書記官 照井正夫氏) ・成年後見人の職務① -法人後見受任を通じた活動の実際- (鱒ヶ沢町社会福祉協議会 事務局次長 井上雅哉氏)
平成24年10月29日（月）	青森市・ 県民福祉 プラザ	15人	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人の職務② -福祉専門職と成年後見人等との連携- (よねや後見事務所/公益社団法人社会福祉士 会 事務局長 米谷洋一氏) ・成年後見人の職務③ -成年後見人の権限と行う法律行為- (あおぞら法務ネット/司法書士法人わかば法 律事務所 所長 久保隆明氏)

②市民後見人の後見監督業務の実施

- ・実施件数 2件（成年後見2件）
- ・業務内容 後見人からの相談対応・助言、関係機関との連絡調整、後見活動の定期報告の確認等

第2 利用者の利益を守る事業の推進

③町村社協が行う法人後見業務に関する監督業務の実施

- ・実施件数 1件
- ・業務内容 後見人からの相談対応・助言、関係機関との連絡調整、後見活動の定期報告の確認等
- ・後見等監督業務審査会の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 12 月 26 日 (水)	青森市・県民 福祉プラザ	6 人	保佐人選任申立事件についての保佐監督人の法人受任の可否について

④法人後見に向けた支援

- ・法人後見実施社協連絡会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 12 月 14 日 (金)	青森市・県民 福祉プラザ	12 人	説明 ・県内の社協における成年後見制度の取り組み状況について ・情報、意見交換「法人後見等への取り組み」について

- ・法人後見事業推進会議の開催

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 12 月 14 日 (金)	青森市・県民 福祉プラザ	17 人	内容 ・講演「地域における成年後見 その人らしさを支える 仕組みとして」 講師 公益社団法人あい権利擁護支援ネット 代表理事 池田恵利子氏 ・事例報告「法人後見事業実施社協における取り組み状 況について」 事例発表者 十和田市社会福祉協議会 主任主査 中野渡信也氏 鱒ヶ沢町社会福祉協議会 事務局次長 井上雅哉氏

⑤成年後見サポート研修会の開催 (新)

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 12 月 15 日 (土)	青森市・ウエ ディングプ ラザアラス カ	128 人	説明 「青森県における成年後見制度の概要と活用状況」 講師 青森家庭裁判所 主席書記官 照井正夫氏 講義 「成年後見制度の理解-法定後見制度と任意後見制度-」 講師 天野法律事務所 弁護士 天野高志氏 講演 「今、なぜ成年後見制度が必要なのか-市民後見人活動 を考える-」 講師 公益社団法人 あい権利擁護支援ネット 代表理事 池田恵利子氏 事例発表「市民後見人の活動報告」 発表者 青森市/浅野文夫氏、松木裕子氏 個別専門相談 相談員 弁護士 天野高志氏

2 苦情解決事業の推進

青森県運営適正化委員会は、福祉サービスの利用者の利益を保護するため、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決する中立公平な機関として次の事業を実施した。

(1) 運営適正化委員会の運営

①運営適正化委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 10 月 22 日 (月)	青森市 県民福祉プラザ	委員 12 人 事務局等 9 人	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長・副委員長の選任について ・部会委員の指名、部会長・副部会長の選任について ・平成 24 年度上半期事業実施状況について
平成 25 年 3 月 27 日 (水)	青森市 県民福祉プラザ	委員 11 人 事務局 4 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度事業実施状況について ・平成 25 年事業計画（案）について

②運営監視部会（運営監視事業）

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 9 月 3 日(月)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 6 人 事務局 3 人 県社協 2 人 市社協 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活自立支援事業の書類等預かり状況について ・弘前市・八戸市社協における日常生活自立支援事業の実施状況について ・平成 24 年度の運営監視事業について
平成 25 年 3 月 27 日 (水)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 8 人 事務局 4 人 県社協 2 人 市社協 1 人	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度の運営監視事業について ・平成 24 年度日常生活自立支援事業の実施状況について ・平川市社協における日常生活自立支援事業の実施状況について

ア) 基幹的社協からの実施状況の聞取り

基幹的社協	期 日	内 容 等
弘前市社協	平成 24 年 9 月 3 日 (月)	実施状況等を運営監視部会で聞取り
八戸市社協	平成 24 年 9 月 3 日 (月)	実施状況等を運営監視部会で聞取り
平川市社協	平成 25 年 3 月 27 日 (水)	実施状況等を運営監視部会で聞取り

イ) 地域福祉権利擁護センターの現物検査への同行

期 日	基幹的社協	訪問者	内 容 要 旨
平成 24 年 10 月 17 日 (水)	弘前市社協	委員 1 人 事務局 1 人	現物検査の確認のほか、貸金庫での預かり状況を確認
平成 24 年 10 月 23 日 (火)	平川市社協	委員 1 人 事務局 1 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
平成 24 年 11 月 13 日 (火)	十和田市社協	委員 1 人 事務局 1 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認
平成 24 年 11 月 22 日 (木)	五所川原市社協	委員 1 人 事務局 1 人	現物検査の確認のほか、利用者宅を訪問して、実施状況を確認

第2 利用者の利益を守る事業の推進

③苦情解決部会（苦情解決事業）

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 5 月 30 日 (水)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（12 件） ・苦情解決連絡会議について ・有料老人ホームのための研修会について
平成 24 年 7 月 27 日 (金)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（10 件） ・巡回訪問に係る計画について
平成 24 年 9 月 20 日 (木)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（13 件） ・事業所のための研修会について
平成 24 年 11 月 22 日 (木)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 4 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（16 件） ・運適への苦情について ・事業所のための研修会について
平成 25 年 1 月 25 日 (金)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 4 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（11 件） ・運適への苦情について
平成 25 年 3 月 25 日 (月)	青森市 県民福祉プラザ	委 員 5 人 事務局 4 人	・個別苦情ケース検討（15 件） ・平成 24 年度巡回訪問について

○苦情相談件数（種類、属性別）

属性 種別	利用者本人		家 族		職 員		その他		合 計	
	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談	苦情	相談
高齢者	2	8	21	12	0	6	2	6	25	32
障害者	10	171	8	0	1	3	3	1	22	175
児 童	0	0	7	1	1	0	1	0	9	1
その他	0	157	2	1	0	6	0	8	2	172
合 計	12	336	38	14	2	15	6	15	58	380

・苦情のサービス種類別（全 58 件）

高齢者福祉サービス（全 25 件）

サービス種別	件数
有料老人ホーム/旧高専賃	9
特別養護老人ホーム	5
認知症グループホーム	3
通所介護/通所リハ	3
その他	5

児童福祉サービス（全 9 件）

サービス種別	件数
保育所	7
その他	2

障害者福祉サービス（全 22 件）

サービス種別	件数
就労継続支援	11
施設入所支援	4
共同生活介護/援助	2
居宅介護	2
相談支援	2
その他	1

その他のサービス（全 2 件）

サービス種別	件数
生活福祉資金貸付事業	1
日常生活自立支援事業	1

④運営適正化委員会委員選考委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 9 月 10 日 (月)	青森市 県民福祉プラザ	委員 12 人 事務局等 4 人	青森県運営適正化委員会委員の選任について

(2) 各種事業の実施

①広報・啓発

ア) 苦情解決体制整備のための事業所巡回訪問及び状況調査

- ・ 42 事業所を訪問した（過去に苦情相談が寄せられた事業所 17、有料老人ホーム 25）。
- ・ 苦情解決体制等の状況調査

調査期間：平成 24 年 12 月～25 年 1 月、調査基準日：平成 24 年 12 月 1 日

調査対象数：764 法人（社会福祉法人 507、NPO・株式会社・医療法人等 257）

回答法人数：230 法人（社会福祉法人 159、NPO・株式会社・医療法人等 71）

調査結果（有効回答 230 法人）

	運営事業所数	苦情解決責任者 設置済事業所数	苦情受付担当者 設置済事業所数	第三者委員 設置済事業所数	オンブズマン 設置済事業所数
全体	1,301 ヶ所	1,237 ヶ所 95.1%	1,230 ヶ所 94.5%	365 ヶ所 28.1%	70 ヶ所 5.4%
社会福祉法人	537 ヶ所	499 ヶ所 92.9%	495 ヶ所 92.2%	331 ヶ所 61.6%	57 ヶ所 10.6%
その他	764 ヶ所	738 ヶ所 96.6%	735 ヶ所 96.2%	34 ヶ所 4.5%	13 ヶ所 1.7%

イ) 苦情対応マニュアル、広報用カード、ポスターを配布したほか、他機関発行の各種相談窓口一覧表への掲載

ウ) 事業所等における研修会への派遣（社協 1 ヶ所、経営協、有料老人ホーム 1 ヶ所、特養等法人 2 ヶ所、地域密着型サービス事業者連絡会 1 ヶ所、障害事業所等 6 ヶ所）

②相談機能の強化

ア) 相談員研修会への派遣：平成 24 年 10 月 2 日(火)・3 日(水)、東京都千代田区（全社協）

イ) 苦情対応マニュアル・ガイドブックの改訂：平成 25 年 1 月

③苦情解決関係者・第三者委員等研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 8 月 23 日 (木)	青森市 県民福祉プラザ	141 人	行政説明「有料老人ホームの運営について」 青森県高齢福祉保険課 総括主幹 三村光司 氏 説明「有料老人ホームの苦情の傾向について」

第2 利用者の利益を守る事業の推進

			<p>運営適正化委員会事務局 講演「苦情事例から考える有料老人ホームのあり方について」 運営適正化委員会苦情解決部会 部会長 木村隆次 氏</p>
平成 25 年 1 月 22 日 (火)	青森市 青森市民ホール	369 人	<p>行政説明「苦情解決体制の必要性について」 青森県健康福祉政策課主査 菊地香織 氏 基調講演「お客様の声にどのように向き合うのか」 イオンテール株式会社東北カンパニー 前沢恒 氏 シンポジウム「福祉サービスへのクレーム等にどのように向き合うのか」 シンポジスト 青森市地域包括支援センターおきだて 風晴賢治 氏 大野保育園 渡辺かおる 氏 地域活動支援センターびあす 津川恵子 氏 助言者 青森大学教授 藤林正雄 氏 コーディネーター 運営適正化委員会委員長 沼田徹 氏</p>

④関係機関との連携強化

ア) 青森県福祉サービス苦情解決関係機関連絡会議

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 7 月 23 日 (月)	青森市 青森県共同ビル	県健康福祉部 3 人 県国保連 8 人 適正化委員 1 人 事務局 2 人	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情解決の取組状況等について ・苦情解決体制等の広報啓発について ・その他、苦情解決機能の円満な実施のための意見交換

イ) 各種会議等への出席

- ・運営適正化委員会事業研究協議会：平成 24 年 7 月 6 日（金）、東京都千代田区（全社協）
- ・市町村苦情担当者研修会（国保連主催）：平成 24 年 7 月 17 日（火）
- ・青森県消費者トラブル防止ネットワーク会議（年 4 回）：平成 24 年 6 月 12 日（火）、9 月 4 日（火）、12 月 21 日（金）、平成 25 年 3 月 12 日（火）
- ・消費生活大学院（消費者協会主催）：平成 24 年 8 月 31 日（金）
- ・北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議：平成 24 年 10 月 25 日（木）～26 日（金）、岩手県盛岡市
- ・委員としての参画

名 称	委員構成（参集範囲）	出席者	出席回数
県福祉オンブズマン県民フォーラム 2012 実行委員会	NPO 法人役員、福祉事業所役職員	事務局 1 人	3 回

3 福祉サービス第三者評価の推進

福祉サービスの質の向上と福祉サービス利用者への情報提供を目的とした福祉サービス第三者評価事業を推進するため、県内唯一の推進組織「青森県福祉サービス第三者評価推進委員会」を設置運営し、第三者評価事業の普及等を図るための事業を実施した。

(1) 第三者評価推進委員会の運営

①第三者評価推進委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 6 月 1 日 (金)	青森市 県民福祉プラザ	委員 12 人 事務局 4 人	<ul style="list-style-type: none"> 社会的養護関係施設の評価基準等の変更及び策定について 社会的養護関係施設の評価機関について 評価調査者の取り扱いについて 平成 24 年度事業計画の変更について
平成 24 年 11 月 26 日 (月)	青森市 県民福祉プラザ	委員 10 人 事務局 4 人	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価機関の認証について 第三者評価調査者継続研修について 組織体制整備講座について 保育所向け評価項目活用講座について
平成 25 年 3 月 26 日 (火)	青森市 県民福祉プラザ	委員 9 人 事務局 4 人	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度事業実施状況について 高齢者版評価基準の策定及び手法の変更について 評価調査者に係る関係様式の変更について 平成 25 年度事業計画（案）について

②認証等委員会（評価機関の認証等）

ア) 評価機関の募集期間 平成 24 年 9 月 10 日（月）から平成 24 年 10 月 10 日（水）まで

イ) 評価機関の認証申請 更新申請 5 件（内 4 件が社会的養護関係施設評価機関を申請）

ウ) 評価機関の認証 申請のとおり 5 件を認証

エ) 認証期間 平成 25 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

オ) 評価機関 ①社会福祉法人桜川会（福祉サポートサービス）

②社会福祉法人青森県社会福祉協議会

③社会福祉法人弘前市社会福祉協議会

④社会福祉法人八戸市社会福祉協議会

⑤公益社団法人青森県社会福祉士会

※上記①②④⑤は、社会的養護関係施設評価機関となる。

③基準等委員会（評価手法等の検証、評価結果の公表等）

ア) 評価基準の策定

サービス種類	第三者評価基準	サービス内容評価基準
乳児院	乳児院版	
児童養護施設	児童養護施設版	
情緒障害児短期治療施設	情緒障害児短期治療施設版	
児童自立支援施設	児童自立支援施設版	
母子生活支援施設	母子生活支援施設版	

第2 利用者の利益を守る事業の推進

自立援助ホーム (児童自立生活援助事業)	自立援助ホーム版	自立援助ホーム版
里親ファミリーホーム (小規模住居型児童養育事業)	ファミリーホーム版	ファミリーホーム版
特別養護老人ホーム	特別養護老人ホーム版	特別養護老人ホーム版
通所介護	通所介護版	通所介護版
訪問介護	訪問介護版	訪問介護版
その他の 高齢者福祉サービス	共通版	なし

イ) 評価結果の公表 (平成 25 年 3 月 31 日現在で 134 事業所が公表済み)

市町村	事業所名	施設種別	経営主体	評価機関
八戸市	小菊荘	母子生活支援施設	社会福祉法人八戸市社会福祉事業団	八戸市社会福祉協議会
青森市	浦町保育園	保育所	社会福祉法人中央福祉会	青森県社会福祉協議会
青森市	本郷保育園	保育所	社会福祉法人清明福祉会	青森県社会福祉協議会
青森市	泉川保育園	保育所	社会福祉法人鳳会	平川市社会福祉協議会
弘前市	藤代保育園	保育所	社会福祉法人弘前草右会	弘前市社会福祉協議会
弘前市	隆親保育園	保育所	社会福祉法人弘前草右会	弘前市社会福祉協議会
弘前市	サムエル保育園	保育所	社会福祉法人高智会	弘前市社会福祉協議会
平川市	大坊保育園	保育所	社会福祉法人和洋会	福祉サポートサービス
八戸市	明星保育園	保育所	社会福祉法人みろく会	青森県社会福祉協議会
青森市	青森県立子ども自立センターみらい	児童自立支援施設	青森県	青森県社会福祉協議会

(2) 第三者評価の質の確保と普及・啓発

①社会的養護関係施設評価調査者養成研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 24 年 7 月 29 日 (日)	青森市 県民福祉プラザ	31 人	説明 社会的養護関係施設の第三者評価 講義 社会的養護関係施設の第三者評価 県立保健大学教授 大和田猛 氏 児童養護施設の現状 美光園施設長 後藤辰也 氏 乳児院の現状 ひまわり乳児院院長 苫米地守 氏 母子生活支援施設の現状 小菊荘施設長 榊富正 氏 情緒障害児短期治療施設の現状 青森おおぞら学園 佐々木秀人 氏 児童自立支援施設の現状 青森県立子ども自立センターみらい 藤木勝司氏 社会的養護の現状と課題 県こどもみらい課 最上和幸 氏

平成24年 8月18日(土)	青森市 県民福祉プラザ	31人	講義 社会的養護関係施設の第三者評価の実際 県立保健大学教授 大和田猛氏 演習 社会的養護関係施設の第三者評価 (書面審査と事前分析) 社会的養護関係施設の第三者評価の実際 (訪問調査) 社会的養護関係施設の第三者評価演習 (訪問調査) 社会的養護関係施設の第三者評価の実際 (報告書の作成) 県立保健大学教授 大和田猛氏
平成24年 8月19日(日)	青森市 県民福祉プラザ	31人	演習 社会的養護関係施設の第三者評価 (報告書の作成) 社会的養護関係施設の第三者評価(まとめ) 県立保健大学教授 大和田猛氏

②評価調査者の継続研修

期 日	会 場	参加者	内 容
平成25年 2月3日(日)	青森市 県民福祉プラザ	37人	内容については、下記のとおり

内容

訪問調査経験者	訪問調査未経験者
講義 利用者への聞き取りについて 青森大学教授 藤林正雄氏 説明 ①第三者評価の実施状況と課題 ②利用者調査項目について 講義・演習 「訪問調査の留意点とその方法」 県立保健大学教授 大和田猛氏	説明 ①第三者評価の実施状況と課題 ②利用者調査項目について 講義・演習「第三者評価の理念と訪問調査の留意点」 県立保健大学教授 大和田猛氏 講義「第三者評価項目の理解①から③」 評価調査者指導者 渡邊建道氏 葛西勇樹氏 工藤浩二氏

③評価調査者指導者研修等への派遣

期 日	会 場	出席者	内 容
平成24年 5月23日(水) ～26日(土)	東京都千代 田区(全社 協)	委員1人 事務局1人	講義・演習「社会的養護施策の動向、社会的養護施設の現状と第三者評価について等」
平成24年 11月13日(火)～ 16日(金)	東京都千代 田区(全社 協)	委員1人	講義・演習「福祉サービス第三者評価基準ガイドライン、福祉サービス第三者評価基準ガイドラインにおける各評価項目の判断基準等について」
平成25年 3月6日(水) ～7日(木)	東京都千代 田区(全社 協)	委員1人 事務局1人	講義「第三者評価事業の実施状況と課題～各福祉制度改革の動向も踏まえて」 講義・演習「社会的養護関係施設第三者評価の実際」 講義・演習「新たに作成された高齢者版ガイドラインのポイントと活用の留意点」

第2 利用者の利益を守る事業の推進

④評価調査者連絡会議

期 日	会 場	出席者	内 容
平成 24 年 12 月 25 日 (火)	青森市 県民福祉プ ラザ	調査者指導 者 7 人 事務局 3 人	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発事業・評価調査者研修について 社会的養護関係施設第三者評価事業について 評価調査者指導者研修会について

⑤事業所のための体制整備講座

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 25 年 2 月 21 日 (木)	青森市 県民福祉プ ラザ	14 事業所 (22 人)	報告 「事業所における理念基本方針の実際」 講義 「法人・事業所に求められる理念・基本方針 とは」 評価調査者指導者 永井明夫 氏 講義・演習「法人・事業所の理念や基本方針の策定」 評価調査者指導者 渡邊建道 氏 永井明夫 氏
平成 25 年 2 月 22 日 (金)	青森市 県民福祉プ ラザ	15 事業所 (20 人)	報告 「事業所における計画の実際」 講義 「事業所に求められる計画とは」 評価調査者指導者 渡邊建道 氏 講義・演習「中長期計画の策定」 評価調査者指導者 渡邊建道 氏 工藤浩二 氏
平成 25 年 2 月 28 日 (木)	青森市 県民福祉プ ラザ	19 事業所 (29 人)	報告 「事業所における人事管理の実際」 講義 「事業所の人事管理・人材育成とは」 評価調査者指導者 本間昭夫 氏 講義・演習「人材育成プランの策定」 評価調査者指導者 野沢春男 本間昭夫 氏
平成 25 年 3 月 1 日 (金)	青森市 県民福祉プ ラザ	19 事業所 (29 人)	報告 「事業所における規程・マニュアル等の実際」 講義 「事業所に求められる規程・マニュアル、様 式とは」 評価調査者指導者 渡邊建道 氏 講義・演習「各種マニュアルの作成方法」 評価調査者指導者 渡邊建道 氏 工藤浩二 氏

⑥保育所の第三者評価活用研修会

期 日	会 場	参加者	内 容
平成 25 年 2 月 26 日 (火)	青森市 県民福祉プ ラザ	75 事業所 (98 人)	行政説明「保育所保育指針の改正と自己評価ガイ ドラインについて」 県こどもみらい課児童施設支援グループ 最上和幸 氏 講義「自己評価・第三者評価で保育園を変える 7 つの視点」 広田保育園園長 渡邊建道 氏 講義・演習「第三者評価項目を活用した自己評価 方法と活用」 青森県社協 鳴海孝彦 広田保育園園長 渡邊建道 氏

⑦受審済証の発行

発行件数 8件

(3) 各関係機関との協議・連携

①評価機関連絡会議

期 日	会 場	出席者	内 容
平成24年 4月23日(月)	青森市 県民福祉プ ラザ	6人	・社会的養護関係施設の第三者評価について ・評価調査者名簿登録証等の変更について ・評価調査者の研修体系について

②各種会議等への出席

- ・平成24年度評価事業普及協議会：平成24年5月23日(水)、東京千代田区(全社協)
- ・事業所等における研修会(児童養護施設協会1か所)

4 障害者権利擁護事業の実施（新）

障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その他適切な支援を行政及び関係機関と連携して推進するための体制を整備し、事業を開始した。

（1）障害者権利擁護センターの運営

①相談等の受付及び対応

専用の電話回線及びメールアドレスを用意し、障害者、その養護者及び関係者等からの障害者虐待の届出、通報及び相談等に対応した。

○相談等の件数（種類、属性別）

	養護者による虐待	障害者福祉施設従事者等による虐待	障害者を雇用する事業所の使用者等による虐待	合計
相談	1	1	0	2
届出	1	2	0	3
通報	0	1	0	1
合計	2	4	0	6

*上記の内、届出及び通報のケース（4件）については、当該市町村へ通知し、対応を依頼した。

②情報の収集及び提供

青森県障害者権利擁護センター並びに市町村が設置する障害者虐待防止センターと連携し、障害者虐待の防止及び対応について、情報収集及び情報提供を行った。

- ・各市町村の障害者虐待防止センターの基本情報を調査のうえ一覧を作成し、市町村、障害福祉サービス事業者、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・市町村担当職員向けの情報交換会を開催
平成24年9月5日（水）、青森市・リンクステーションホール、37市町村・58人が出席
- ・青森県障害者権利擁護センター並びに市町村障害者虐待防止センターからの問合せ件数：13件
- ・その他の関係機関等からの問合せ件数：3件
- ・事業所等における研修会への職員派遣：8ヶ所

③広報啓発

- ・障害者虐待防止パンフレットを作成（30,000部）し、市町村、障害福祉サービス事業者、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・障害者権利擁護カードを作成（30,000部）し、市町村、障害福祉サービス事業者、医療機関、関係機関・団体等に配布した。
- ・ホームページでは、センターの設置運営並びに権利擁護大会や研修会の開催等について、情報提供を行っている。

(2) 障害者権利擁護大会の実施

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年12月5日(水)	青森市 青森市民 ホール	829人	行政説明「障害者の権利と障害者虐待防止 法」 内閣府政策統括官付参事官(障害者 施策担当) 難波吉雄 氏 書道パフォーマンス「夢と希望の書」 書家 金澤翔子 氏 講演「ダウン症の子と共に生きて」 書家 金澤泰子 氏

(3) 障害者虐待防止権利擁護研修の実施

①共通研修

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年8月28日(火)	青森市 青森市民 ホール	525人	行政説明「障害者虐待防止の体制整備の推進 等について」 県障害福祉課 齋藤忠光 氏 講義「障害者虐待防止法の理解」 弁護士 沼田徹 氏 説明「障害者虐待対応マニュアルの理解」 事務局 説明「障害者の雇用状況と支援方策について」 青森労働局職業安定部職業対策課 山田義夫 氏 県労政能力開発課 間山智幸 氏

②障害福祉サービス事業所等従事者・管理者対象研修

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年9月11日(火)	青森市 リンクステーション ホール	206人	講義・演習 「障害者虐待防止及び対応と管理者の役割」 障害者虐待防止権利擁護指導者 井上雅哉 氏
平成24年9月12日(水)	青森市 リンクステーション ホール	228人	講義・演習 「障害者虐待防止と私たちの仕事、障害者虐待 防止への私たちの取り組み」 障害者虐待防止権利擁護指導者 田中宏幸 氏/津川清一 氏

③市町村、相談窓口等職員研修

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年9月5日(水)	青森市 リンクステーション ホール	102人	講義・演習 「障害者虐待対応における相談窓口職員の 役割、障害者虐待防止のためのネットワー クづくり、障害者虐待防止の体制整備状況 について」 障害者虐待防止権利擁護指導者 長岡恵美子 氏

第2 利用者の利益を守る事業の推進

5 地域生活定着支援事業の推進

高齢または障がい有し、矯正施設から退所した後に、自立した生活を営むことが困難と認められる者に対して、保護観察所と協働して、事業の実施体制の整備を図るとともに、退所後、福祉サービス等を利用できるよう、相談・調整等を行い、利用者が地域で自立した日常生活を送れるよう支援した。

(1) 地域生活定着支援センターの運営

① コーディネート業務

23年度からの継続	開始件数 (A)			終了件数 (B)			支援継続 (A) - (B)
	新規		合計	矯正施設退所後受入先に帰住	その他	合計	
	保護観察所からの依頼	他県のセンターからの依頼					
5	10	6	21	13	2	15	6

【更生保護施設等利用者】

更生保護施設	1	自立準備ホーム	5
--------	---	---------	---

【受入先内訳】

宿泊型自立訓練施設	0	障害者 GH	1
無料定額宿泊所	1	サービス付き高齢者住宅	2
養護老人ホーム	1	病院	1
有料老人ホーム	2	下宿	0
生活支援ハウス	1	アパート	1

【コーディネート支援概況】

No.	方法			内容				相手先						
	本人面接	訪問	電話	連絡・調整	行政手続等の斡旋補助	打合せ	その他	刑務所	保護観察所	他県センター	行政	施設・病院等	家族	その他
011-010	3	0	4	6	0	0	0	5	1	4	1	0	0	0
011-012	4	0	4	7	0	3	0	6	0	2	0	0	0	0
011-013	2	0	3	4	1	2	0	2	0	3	0	0	0	0
011-014	1	0	1	2	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0
012-001	6	10	7	10	4	1	1	7	2	1	5	4	1	5
012-002	4	0	3	2	2	0	1	5	1	0	3	0	0	0
012-003	3	1	4	4	0	1	0	3	1	3	0	0	0	0
012-004	3	1	7	6	1	0	0	3	3	2	5	2	0	0
012-005	3	3	7	10	0	1	1	3	1	2	4	4	2	5
012-006	1	1	7	8	0	2	0	1	4	8	1	2	0	0
012-007	0	1	8	8	0	4	0	2	0	6	4	1	0	3
012-008	6	6	32	25	5	3	2	12	2	14	6	8	0	4
012-009	4	0	3	7	1	5	0	4	1	4	1	0	0	0

012-010	1	1	7	7	1	0	0	2	1	8	3	0	0	0
012-011	2	2	3	6	0	1	0	2	1	5	4	0	0	0
012-012	2	1	12	11	0	2	3	3	2	0	5	7	2	2
012-013	2	1	10	11	0	3	0	10	1	8	1	0	0	1
012-014	4	5	3	10	1	2	0	5	2	0	1	3	0	5
012-015	2	1	3	1	0	0	0	2	2	1	0	3	0	0
012-016	1	2	2	5	0	3	0	1	0	3	0	3	0	0
合計	54	36	130	150	16	34	8	80	27	74	44	37	5	25

②フォローアップ業務

開始件数 (A)			終了件数 (B)	支援継続 (A) - (B)
23年度 からの継 続	新規	合計		
7	9	16	9	7

【フォローアップ支援概況】

No.	方法				内容				相手先					
	訪問	同行	電話	本人面接	連絡・調整	行政手続等の 斡旋補助	打合せ	その他	保護観察所	行政	施設・病院等	他県センター	家族	その他
011-001	2	0	7	3	6	0	1	0	0	6	6	0	0	0
011-003	11	3	11	9	6	2	6	5	1	8	8	1	1	2
011-004	3	2	10	2	10	0	3	5	0	1	5	0	10	7
011-005	2	0	6	2	4	0	0	3	0	0	4	0	1	3
011-006	15	5	5	10	4	6	4	1	1	6	7	0	0	5
011-007	8	0	5	4	5	0	4	2	0	1	10	0	0	6
011-009	5	2	14	3	15	0	4	4	2	3	17	0	2	5
011-013	14	12	25	14	25	10	8	7	0	16	27	0	0	12
012-001	7	3	6	5	6	1	2	5	1	2	6	0	5	0
012-002	9	4	10	7	11	8	1	1	0	11	3	0	5	0
012-004	3	1	4	3	6	2	1	0	1	3	7	0	0	0
012-005	6	3	5	3	7	2	1	1	0	3	5	1	5	0
012-006	2	2	0	1	2	1	0	0	1	1	1	0	1	0
012-008	3	2	2	2	4	1	0	1	0	2	3	0	2	0
012-011	3	1	2	3	5	0	0	0	1	0	4	0	0	0
012-015	4	1	2	0	4	1	0	0	0	1	2	0	3	0
合計	97	41	114	71	120	34	35	35	8	64	115	2	35	40

第2 利用者の利益を守る事業の推進

③相談支援業務

開始件数 (A)				終了件数 (B)	支援継続 (A) - (B)
23年度 からの継続	新規		合計		
	コーディネーター からの継続	その他			
0	1	24	25	24	1

④研修会等センター職員の資質向上

ア) 全国地域生活定着支援センター協議会関係

会議・研修名	期日	場所
定期総会	平成24年 6月22日(金)	航空会館(東京都)
北海道・東北ブロックセンター 長会議	平成24年 7月11日(水)	仙台保護観察所(宮城県)
北海道・東北ブロック研修	平成24年 11月21日(水)	TKP ガーデンシティ仙台(宮城県)
第3回現任者スキルアップ研修	平成25年1月16日 (水)～17日(木)	大阪ガーデンパレス(大阪府)
北海道・東北ブロックセンター 長会議	平成25年 2月4日(月)	仙台保護観察所(宮城県)

イ) 県内研修等

会議・研修名	期日	場所	主催
カウンセリング研修	平成24年 11月26日(月)	青森県立保健大学 (青森市)	青森県立保健大学
平成24年度「福祉に関する 公開講座」	平成24年 12月2日(日)	ホテルグランヒル つたや(三沢市)	青森県社会福祉士会
発達障害者社会生活力ア ップセミナー公開講座	平成24年 12月14日(金)	アスパム(青森市)	青森県発達障害者支 援センター
医療観察制度普及啓発研修 会	平成25年 3月7日(木)	アピオあおもり (青森市)	青森保護観察所

ウ) 県外研修等

会議・研修名	期日	場所	主催
第43回東北地区救護施設研 究協議大会	平成24年 6月20日(水)	ホテル鹿角 (秋田県)	東北地区救護施設協 議会
「共生社会を創る愛の基金」 設立記念シンポジウム	平成24年 7月8日(日)	銀座ブロッサム (東京都)	共生社会を創る愛の 基金
「更生保護・福祉連携シンポ ジウム」	平成24年 9月1日(土)	文京学院大学 (東京都)	第62回“社会を明る くする運動”中央推 進委員会

平成24年度岩手県地域生活定着支援セミナー	平成24年9月7日(金)	岩手県盛岡地区合同庁舎(岩手県)	岩手県地域生活定着支援センター
社協関係者連絡会議	平成24年9月20日(木)～21日(金)	北海道立道民活動センター(北海道)	北海道地域生活定着支援センター
「生活支援と在宅医療・介護の連携が可能にする地域包括支援」	平成24年12月2日(日)	東医健保会館(東京都)	NPO 自立支援センターふるさとの会
日本更生保護学会設立記念大会	平成24年12月8日(土)～9日(日)	立教大学(東京都)	日本更生保護学会
第7回司法書士人権フォーラム	平成25年2月2日(土)	司法書士会館(東京都)	日本司法書士会連合会
平成24年度北海道・東北管内刑務所出所者等に対する福祉支援に係る事例研究会	平成25年2月5日(火)	仙台保護観察所(宮城県)	東北地方更生保護委員会
国立のぞみの園福祉セミナー2013	平成25年2月21日(木)～22日(金)	高崎シティーギャラリーコアホール(群馬県)	独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

⑤事業の普及・啓発活動への取り組み

ア) 青森県地域生活定着支援推進セミナー(青森会場)

期 日:平成24年8月31日(金)

会 場:県民福祉プラザ 県民ホール(青森市)

参加者数:115名

概 要:基調報告「保護観察所の概要並びに特別調整について」

青森保護観察所 統括保護観察官 佐々木俊樹氏

事業説明「地域生活定着支援センター実践報告」

青森県地域生活定着支援センター 副所長 今 伸子

講 演「日本の犯罪実態と刑事司法と福祉の連携について」

龍谷大学大学院法務研究科 教授 浜井浩一氏

イ) 青森県地域生活定着支援推進セミナー(八戸会場)

期 日:平成24年9月5日(水)

会 場:八戸市総合福祉会館 多目的ホール(八戸市)

参加者数:93名

概 要:講演「触法障がい者におけるSSTの実際」

青森大学社会学部社会学科 教授 船木昭夫氏

シンポジウム

「罪を犯した高齢者や障がい者を地域で受け入れるために」

コーディネーター:青森大学社会学部社会学科 教授 船木昭夫氏

報告者:「刑務所における現状と特別調整について」

青森刑務所 社会福祉士 小山裕美氏

「地域生活支援定着支援センター実践報告」

青森県地域生活定着支援センター 副所長 今 伸子
 「矯正施設退所後の支援と連携」
 医療法人清照会湊病院 精神保健福祉士 曲澤憲薫氏

(2) 関係機関との連携

①総合調整会議

期 日：平成24年6月14日(木)
 会 場：青森刑務所
 参加者：福祉関係者、更生保護関係者、社協関係者、行政関係者等 20名
 内 容：刑務所見学
 地域生活定着支援センター実績報告
 情報交換

②個別支援検討会議

No.	期日	会場	出席者	内容
1	平成24年5月18日(金)	八戸市	16人	・本人の状況について ・これまでの支援経過について ・これからの生活について
2	平成24年6月8日(金)	平川市	8人	・これまでの支援経過について ・支援終了に向けての確認
3	平成24年6月25日(月)	五所川原市	6人	・センター支援終了の確認 ・今後の支援について
4	平成24年8月3日(金)	三沢市	6人	・これまでの支援経過について ・個別支援計画について
5	平成24年10月3日(水)	青森市	5人	・これまでの支援経過について ・本人概況について ・今後の支援方針について
6	平成24年10月9日(火)	青森市	7人	・これまでの支援経過について ・今後の支援方針について
7	平成25年3月28日(木)	八戸市	11人	・今後の支援について

③その他

ア) 特別調整等に係る関係機関担当者会議

特別調整等に係る業務の運用について青森刑務所、青森保護観察所、青森県地域生活定着支援センターの担当者が確認し、情報交換等を行った。

No.	期 日	会場	出席者
1	平成24年6月1日(金)	青森刑務所	7人
2	平成24年8月10日(金)	県民福祉プラザ	7人
3	平成24年10月5日(金)	青森保護観察所	7人
4	平成24年12月7日(金)	青森刑務所	8人
5	平成25年3月8日(金)	県民福祉プラザ	8人

イ) 講師等派遣

No.	研修会等名	期 日	会場	出席者
1	平成 24 年度障害者ケアマネジメント実践研修会	平成 24 年 7 月 7 日(土)	しあわせプラザ (青森市)	61 人
2	平成 24 年度大間町社協役員 職員及び民生委員児童委員 合同研修会	平成 24 年 11 月 13 日 (火)	県民福祉プラザ (青森市)	12 人
3	平成 24 年度単位民生委員 児童委員協議会会長連絡会 議	平成 24 年 12 月 11 日 (火)	県民福祉プラザ (青森市)	157 人
4	平成 24 年度つがる西北五 広域連合地域自立支援協議 会	平成 25 年 3 月 11 日(月)	つがる市生涯学習 センター(つがる 市)	40 人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

1 介護サービス事業所の情報の公表

介護サービス事業所の情報の公表は、介護保険制度の基本理念である「利用者本位」「高齢者の尊厳の保持と自立支援」「利用者による選択（自己決定）」を支援するとともに、各事業所における介護サービス全体の質や事業の効率性を高めるための仕組みとして、介護保険法に基づき平成18年度より実施され、制度に係る事務として、「介護サービス情報公表センター」事業を実施した。

また、制度の見直しに伴い、本県においても平成24年度から「自ら調査を希望する事業者」を調査対象とし、公表方法についても、「見やすい」「使いやすい」「わかりやすい」システムへ見直しが行なわれた。

(1) 青森県介護サービス情報公表センターの運営

「介護サービス情報の公表」制度に関し、青森県から指定を受けて「青森県介護サービス情報公表センター」を設置し、介護サービス情報公表計画に基づき、事業所からの情報の受理及び公表等の事務を実施した。

① 介護サービス情報報告の受理、公表及び調査

平成24年10月から、県が策定した公表計画（2,263件）に基づき、介護サービス事業所から提出された情報の受理及び公表を行った。また、新たに介護サービス事業所の指定を受けた旨、県及び市から報告を受けた事業所（152件）へ対し、報告依頼を行った。また、指定調査機関として、希望する事業所（59件）に対し、介護保険法に基づく調査を実施した。

② 介護サービス情報公表推進委員会

期 日	会 場	参加者	内 容
平成25年3月8日(金)	青森市	9人	平成24年度事業報告 平成25年度からの事業内容

③ 介護サービス情報公表制度の普及啓発

介護サービス情報の公表制度に係るパンフレットを5,000部作成し、県内の介護事業所等へ配布した。

④ 事業者向け説明会

平成24年度介護サービス情報の公表を行う事業所を対象に、制度改正のポイントや新システムの操作等についての説明会を実施した。

期 日	会 場	参加者
平成24年9月21日(金)	青森市	420人
平成24年9月27日(木)	弘前市	432人
平成24年9月28日(金)	八戸市	424人

2 社会福祉施設経営支援事業の推進

社会福祉施設・団体の適正かつ安定した経営を図り、利用者への質の高い福祉サービスを提供することを目的に基金による貸付のほか、経営に関する各種相談に対して経営相談員が助言、指導を行った。

(1) 基金貸付事業

社会福祉施設増改築のための貸付資金を会員施設及び福祉団体に広報し募集した結果、新規1件5,000,000円の貸付を行った。

平成25年3月現在貸付実績

貸付件数 3件

元金合計 12,000,000円

(2) 市町村社協及び社会福祉施設等に対する相談支援

・相談件数(件)

区分	施設経営一般	会計税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	預り金	地域交流	その他	合計
来所相談	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
電話文書	6	12	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19
合計	7	14	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	23

(3) 専門相談員(税務・法律・労務)及び常勤相談員による助言・指導

福祉施設等からの経営相談に対応するため、常勤相談員1名、専門相談員3名を配置して、電話・来所・訪問・FAX等で相談に対応した。

・相談日・相談時間及び相談員

区分	相談日	相談時間	相談員
一般相談	月～金	8:30～17:00	常勤相談員1名
労務管理相談	第1火曜日	10:00～12:00	専門相談員(社会保険労務士)
会計・経理相談	第2火曜日	10:00～12:00	専門相談員(公認会計士)
法律相談	第3火曜日	10:00～12:00	専門相談員(弁護士)

・相談件数(件)

区分	施設経営一般	会計税務	入所者処遇	職員待遇	安全防災	衛生管理	施設整備	人材確保対策	労使問題	預り金	地域交流	その他	合計
専門相談	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

・施設種別毎相談実績（件）※（2）及び（3）の相談件数合計

区分	社協	身障施設	知的施設	児童施設	老人施設	その他	法人本部	合計
来所相談	6	0	0	1	1	0	0	7
電話相談	21	1	1	0	1	0	0	24
合計	27	1	1	1	2	0	0	31

（4）経営改善支援事業

①経営改善アドバイザーの設置（新）

社会福祉施設等を対象とした災害時における地域支援のあり方や役割等に係る研修会の企画・運営や相談対応を行うことを目的として、経営改善アドバイザーを設置した。

②災害時の地域支援研修会（新）

期 日	平成 24 年 10 月 17 日（木）～18 日（金）
会 場	ウェディングプラザアラスカ 地下 1 階「サファイア」
参加者	41 人
内 容	（1 日目） 講義「災害時の社会福祉施設の役割」 ～利用者や要援護者支援、地域との連携・支援のあり方～ 演習 1「所属施設の現状チェック」 演習 2-1「有機的な地域との相互連携・支援ネットワークの構築」 （2 日目） 演習 2-2「地域との相互連携・支援ネットワークプログラムの作成」 J P C o m 代表 桑原秀文 氏 同 理 事 篠原辰二 氏

③福祉職場内風土診断事業

実績件数 0 件

（5）職場内研修への講師派遣事業の実施

派遣回数 18 回

期 日	会 場	内 容	派遣依頼事業所
平成 24 年 5 月 30 日（水）	大間町	職員マナーアップ	特別養護老人ホームくろまつ
5 月 31 日（木）	弘前市	職員マナーアップ	社会福祉法人弘前草右会
6 月 17 日（日）	青森市	ボランティア活動の意義と現状	特定非営利活動法人日本 Y O G A 連盟
6 月 19 日（火）	鶴田町	広報誌の作成	社会福祉法人鶴田町社会福祉協議会
6 月 29 日（金）	外ヶ浜町	施設利用者のためのマナー講座	社会福祉法人平館福祉会
7 月 24 日（火）	六戸町	職員マナーアップ	特別養護老人ホームメープル
7 月 25 日（水）	七戸町	職員マナーアップ	社会福祉法人七戸町社会福祉協議会
8 月 7 日（火）	七戸町	説明：生活福祉資金貸付事業	七戸町民生委員児童委員協議会
9 月 12 日（水）	藤崎町	職員マナーアップ	社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

9月27日(木)	大間町	災害時における要援護者とのかわりについて	下北地方福祉事務所
9月30日(日)	外ヶ浜町	施設利用者のためのマナー講座	社会福祉法人平舘福祉会
10月17日(水)	平川市	説明：日常生活自立支援事業	社会福祉法人平川市社会福祉協議会
10月19日(金)	むつ市	職場内研修の体系づくり	介護老人保健施設やげん
11月6日(火)	つがる市	災害ボランティア	青森県立木造高等学校
11月16日(金)	青森市	職員マナーアップ	児童養護施設藤聖母園
平成25年 1月23日(水)	藤崎町	介護福祉分野に求められる人材	社会福祉法人藤崎町社会福祉協議会
2月23日(土)	六戸町	災害時のネットワーク等について	社会福祉法人六戸町社会福祉協議会
3月4日(月)	階上町	災害ボランティア	社会福祉法人階上町社会福祉協議会

(6) 経営力向上研修会の開催

①会計基準実務・労務管理に関する研修(新)

研修名	期日	会場	参加者
社会福祉法人新会計基準移行支援実践セミナー	平成24年6月29日(金)	ウェディングプラザアラスカ	128人
	講演 「社会福祉法人の新会計基準の概要と移行のポイント」 講師 小野寺高事務所 公認会計士 小野寺 高 氏 デモンストレーション「新会計基準への移行対策」 NDソフトウェア株式会社、株式会社サクセス エプソン販売株式会社、応研株式会社 株式会社東経システム、ピーシーエー株式会社 満喜株式会社、株式会社チャイルド社 株式会社ケーエスビー		

②会計実務・労務管理研修会

研修名	期日	会場	参加者
社会福祉法人会計・労務管理研修会	平成25年1月25日(金)	ウェディングプラザアラスカ	92人
	講演Ⅰ 「新会計基準への具体的な移行処理について」 講師 小野寺高事務所 公認会計士 小野寺 高 氏 講演Ⅱ 「個別労働紛争解決制度の運用状況について」 講師 青森労働局総務部企画室 労働紛争調整官 加藤 秀樹 氏		
	講演Ⅲ 「労働関係法令の動向のポイントについて」 「職場における労使間のトラブルについて」 講師 サカキ経営労務センター 社会保険労務士 榎 清蔵 氏		

(7) 効率的な施設経営のための情報提供

全国社会福祉協議会、全国社会福祉施設経営者協議会等から提供のあった経営に資する資料等について、適宜、情報提供を行った。

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

(8) 介護サービス情報の公表制度「10の研修テーマ」に係る研修会

介護保険事業所及び福祉サービス事業所等を対象に、制度の普及・啓発及び資質向上に資するとともに、事業所支援を目的として開催した。

【Aコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	平成24年9月5日(水)	
内容	講義Ⅰ「認知症の理解とケアのあり方について」 講義Ⅱ「身体拘束の理解と排除に向けた取り組みについて」 講師 介護老人保健施設 サンライフ豊寿苑 看護師長 清水 養子 氏 講義Ⅲ「介護現場におけるプライバシー保護」 講義Ⅳ「福祉現場における倫理及び法令遵守」 講師 沼田法律事務所 弁護士 沼田 徹 氏 講義Ⅴ「ターミナルケアへの取り組みと精神的ケアについて」 講師 訪問介護ステーションあおい森 所長 泉 美紀子 氏	207人

【Bコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	平成24年9月26日(水)	
内容	講義・演習Ⅰ「高齢者虐待防止の理解と職員の役割」 講義・演習Ⅱ「高齢者虐待防止の理解と職員の役割」 講師 青森県立保健大学 教授 大和田 猛 氏 説明「日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)と成年後見制度について」 青森県社協 生活支援課	161人

【Cコース】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	平成24年10月3日(水)	
内容	講義・演習Ⅰ「リスクマネジメントの考え方について」 講義・演習Ⅱ「リスクマネジメントの考え方について」 講師 介護支援専門員 指導者 工藤英明 氏 講義Ⅲ「感染症及び食中毒の予防及び蔓延の防止について」 講師 東地方保健所 指導予防課 主査 笹けい子 氏 生活衛生課 主幹 中村 徹 氏	171人

【Dコース1】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	平成24年10月23日(火)	
内容	講義・演習Ⅰ・Ⅱ「介護サービスにおける接遇とコミュニケーションの基本」 講師 青森県立保健大学 教授 大和田 猛 氏	139人

【Dコース2】

会場	ウェディングプラザアラスカ	参加者
期日	平成24年11月6日(火)	
内容	講義・演習Ⅰ・Ⅱ「介護サービスにおける接遇とコミュニケーションの基本」 講師 青森県立保健大学 教授 大和田 猛 氏	99人

(9) 青森県社会福祉施設経営者協議会との連携及び協働

青森県社会福祉施設経営者協議会の団体事務を受託し、連携・協働のもと事業を実施した。事業内容等は P37 参照。

3 福利厚生事業の推進

(1) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業の運営

県内の民間社会福祉施設あるいは福祉団体の業務に従事している職員の相互扶助を基調として、昭和 62 年 10 月 1 日に創設した「青森県民間社会福祉事業職員共済事業」の第 1 種共済は、加入施設・団体数 474 ヶ所、加入者は 9,663 人となっている。

独立行政法人福祉医療機構が実施する退職手当共済制度の代替制度として、平成 21 年 4 月から開始した第 2 種共済の加入者は 887 人となっており、福祉事業従事職員のより一層の福利厚生の充実と身分保障の確立を図った。

①退会給付事業及び福利厚生事業（慶弔見舞金給付・貸付事業）

ア) 第 1 種共済加入状況

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
施設・団体	409	409	410	432	474
会 員	8,319	8,863	9,195	9,423	9,663

イ) 第 2 種共済加入状況

	第 2 種共済			
	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
施設・団体	42	46	46	65
会 員	468	682	792	887

ウ) 共済事業実施状況（平成 25 年 3 月末時点）

種 類	件 数	金額（千円）
退会給付事業	986	484,307
第 1 種共済	986	472,326
第 2 種共済	119	11,981
福利厚生事業	549	3,989
結婚祝金	219	2,190
出産祝金	262	1,310
入院見舞金	15	51
災害見舞金	1	20
死亡弔慰金	4	80
貸付事業	40	47,520

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

エ) 共済事業資産状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資産総額(千円)	4,930,442	5,321,046	5,662,867	6,013,905	6,755,420
給付準備金(千円)	6,452,768	6,929,452	7,406,769	7,691,104	7,964,313
給付準備率(%)	76.4	76.7	76.4	78.2	84.8

オ) 青森県民間社会福祉事業職員共済事業運営委員会の開催

開催日	開催場所	内 容	出席数
平成24年 7月24日(火)	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	①平成23年度事業実施状況 ②外部信託運用状況について	委員 8人 事務局 5人 オブザーバー 1人
平成24年 11月20日(火)	県民福祉プラザ2階 「県社協会議室」	①平成24年度第2四半期運用報告及び今後の運用方針について ②三菱UFJ信託銀行運用状況の評価について ③青森県民間社会福祉事業職員共済事業運用受託機関の複数化の検討	委員 7人 事務局 6人 オブザーバー 2人
平成24年 12月18日(火)	ウエディングプラザ アラスカ 2階「ガーネット」	①外部信託運用受託機関候補からの説明 ②平成25年度以降の外部信託運用体制について ③貸付事業の一部改正について	委員 7人 事務局 6人 オブザーバー 8人

②第1種・第2種共済事業の加入促進

- ・福利厚生だより「ほほえみ」の発行(年1回)

③外部信託による運用

三菱UFJ信託銀行株式会社と信託契約を締結し、資産運用を行った。

- ・平成25年3月28日までの運用実績(単位:円)

信託元本	5,052,949,320
当期利益	409,524,138
資産合計	5,462,473,458
年 利	8.35%

※日本マスタートラスト信託銀行株式会社決算報告書より抜粋

- ・外部信託運用の状況について、共済事業運営委員会において評価・見直しを行い、信託先を三菱UFJ信託銀行株式会社から株式会社りそな銀行に変更し、平成25年3月29日付で資産の移管を行い、平成25年度以降の運用体制を整備した。

④加入促進及び加入者等への情報提供

・ 共済制度等事務説明会

講師 全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会 常務理事兼事務局長 塚口研一 氏
小野寺高事務所 公認会計士・税理士 小野寺高 氏

開催日	開催場所	内 容	出席数
平成 25 年 3 月 1 日 (金)	県民福祉プラザ 4 階 「県民ホール」 (青森市)	①青森県民間社会福祉事業職員共済事業の実施状況 ②青森県民間社会福祉事業職員共済に係る資産運用状況について ③退職共済の会計処理について ④退職手当共済制度の概要について ⑤社会福祉従事者を取り巻く社会情勢と退職共済制度の必要性および課題について ⑥福利厚生センターのご案内	137 人

(2) 社会福祉施設職員等退職手当共済の業務協力

独立行政法人福祉医療機構からの受託により、県内の福祉施設・団体職員共済制度の円滑な事務処理を行った。

加入施設と職員数 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

加入法人数 448 法人 (1, 141 施設・団体)

加入職員数 14, 619 人

(3) 福利厚生センター事業の業務協力

福利厚生センターは、民間の社会福祉に従事する方々の福利厚生の充実を図ることを目的に平成 6 年 7 月 1 日に設立し、様々なサービスを展開してきた。

同センター地方事務局として業務を受託している県社協は、会員のニーズに即した福利厚生を推進するため企画懇談会を開催し、下記の交流事業など会員が参加しやすい企画を実施した。また、会員の増加を図るため加入勧奨を行ったほか、地域開発メニュー充実事業として青森県内 4 社と契約締結を行い、更なるサービス強化に努めた。

その他、職員並びに家族の健康管理の一助として家庭用常備薬の斡旋についての案内を行った。

ア) 平成 24 年度加入状況 (平成 25 年 3 月 31 日現在)

加入法人 74 法人

加入事業所 176 事業所

加入者数 3, 179 人

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

①会員交流事業

期 日	事 業 名	会 場	参加者
平成 24 年 6 月 7 日 (木)	観劇鑑賞 (劇団四季) 「赤毛のアン」	八戸市公会堂	111 人
平成 24 年 7 月 21 日 (土) ～9 月 30 日 (日)	旅行～夏秋お楽しみプラン～ ① “あっ” とうほく～東北の宿 91 軒～ ②JAL パック 関西南紀山陰山陽四国 ③まるごと関東の旅 ④エース JTB 北海道	東北各地の宿泊地 関西の宿泊地 関東圏 北海道全域	43 人 3 人 28 人 30 人
平成 24 年 9 月 14 日 (金)、 21 日 (金)、28 日 (金)	御食事会	青 森：ポミエ 弘 前：シェモア 八 戸：金剛園 三 沢：宝寿司 黒 石：食道園 十和田：ひびき むつ市：王将	41 人 155 人 138 人 91 人 103 人 55 人 30 人
平成 24 年 12 月 22 日 (土) ～平成 25 年 2 月 28 日 (木)	旅行～冬季お楽しみプラン～ ①仙台ビジネス&カジュアル ②東京ディズニーリゾートへの旅 ③ “あっ” とうほく	仙台市 東京ディズニーリゾート 東北各地の宿泊地	10 人 49 人 38 人
計			925 人

②東北ブロック会員研修会

・東北ブロック広報講習会

開催日	開催場所	内 容	参加人数
平成 24 年 12 月 17 日 (月)	青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ	企画、レイアウト、配色等、読者に伝わる広報誌作成のポイントを学び、事例や演習を通して、広報に関する知識と技術の向上を図る。	25 人

③企画に係る懇談会

・福利厚生企画懇談会

期 日	会 場	内 容	出席数
平成 24 年 6 月 13 日 (水)	県社協会議室	①平成 23 年度事業報告 ②平成 24 年度会員交流事業実施計画 (案) について ③情報交換	委 員 7 人 事務局 7 人
平成 25 年 3 月 7 日 (木)	県社協会議室	①平成 24 年度福利厚生センター事業報告について ②平成 25 年度会員交流事業実施計画 (案) について ③情報交換	委 員 5 人 事務局 2 人

④独自事業の開発及び加入勧奨の実施

・地域開発メニュー充実事業

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

契約企業名・所在地	利用条件・サービス内容
青森市文化観光交流施設 ねぶたの家ワ・ラッセ (青森市)	ソウエルカード提示でねぶたミュージアム入館料団体割引適用(会員と同行者)
一步庵 (青森市)	ソウエルカード提示で食事代10%割引(会員と同行者)
エイチピースタイリング (鶴田町)	ソウエルカード提示でiPad講習会(タブレット、スマートフォン等)受講料を通常料金より20%割引(会員)
社団法人弘前市物産協会 (弘前市)	下記店舗において、ソウエルカード提示で現金でのお買い物5%割引(会員のみ) ・弘前市立観光館内「さくらはうす」 ・弘前公園内「武徳殿物産販売所」 ただし、一部除外品あり 祭り期間(弘前桜まつり、弘前ねぶたまつり、弘前城菊と紅葉まつり、弘前城雪灯籠まつり)を除く
株式会社国際ホテル (青森市)	青森国際ホテルにおいてソウエルカード提示で ①1泊朝食付きシングル宿泊料金8,500円(通常料金9,300円) ②チェックイン時ホテル内レストラン食事料金10%割引券進呈(会員のみ)

・加入勧奨の実施

事業名	期日	内容
福利厚生啓発・認知度向上事業	通年	①大会、研修会等におけるパンフレットの配布 ②事業所来所時における資料配布及び説明 ③事務局来所者への対応 ④既加入法人に対する個別訪問による事業利用説明 ⑤福利厚生センターに関する説明会の開催 ⑥広報誌等への広告等の掲載 ⑦独自の情報誌(かわら版等)の作成配布
重点法人選定管理事業	通年	福利厚生の見直し、充実に関心を持つ法人を20法人選定し、パンフレット、情報誌等のPR資料を送付するなどしながらソウエルクラブへの加入促進を行った。
個別訪問事業	6月～1月	加入勧奨の必要が生じた法人への個別訪問を実施

・家庭用常備薬の斡旋

期 日	件 数	金 額
6月1日(金)～ 6月29日(金)	申込事業所数 116 事業所 内訳 ソウエル 40 事業所 共済 18 事業所 県社協会員 58 事業所	1,133,430 円
10月11日(木)～ 11月20日(火)	申込事業所数 309 事業所 内訳 ソウエル 102 事業所 共済 65 事業所 県社協会員 142 事業所 申込県社協賛助会員 4 人	1,033,110 円

第3 福祉サービスの質の向上とサービス提供者を支援する事業の推進

4 福祉サービス第三者評価事業の実施

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会へ評価機関の認証を申請し、受審事業者の募集、評価業務等を行った。また、受審啓発を目的にチラシを作成し配布した。

○認証第三者評価機関

認証機関名：青森県社会福祉協議会

認証期間：平成25年4月1日～平成28年3月31日

評価実施種別：福祉サービス全般

(1) 第三者評価の実施

①実績

契約事業所数：5事業所

訪問調査実施事業所数：6事業所（うち前年度契約事業所1件を含む）

評価結果公開事業所数：4事業所（うち前年度訪問調査実施分2件を含む）

②評価調査者の確保

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会が実施した評価調査者養成研修を修了し、登録した者の中から評価調査者を委嘱した。

評価調査者数：28人（内訳：団体職員18人、施設職員7人、大学教員1人、その他2人）

(2) 本会所属の評価調査者研修会の開催

下記団体が実施した社会的養護関係施設福祉サービス第三者評価調査者養成研修へ、登録している評価調査者を派遣した。（全13人修了）

青森県福祉サービス第三者評価推進委員会 10人修了

平成24年7月29日（日）、8月18日（土）～19日（日）の3日間

社会福祉法人全国社会福祉協議会 3人修了

平成24年9月3日（月）～4日（火）の2日間

その他、青森県福祉サービス第三者評価推進委員会が実施した評価調査者継続研修へ、登録している評価調査者を派遣した。

評価調査者継続研修参加者8人（評価調査者総数28人）

5 地域密着型サービスの外部評価事業の実施

指定認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）のサービスの質の向上を図る取り組みの一環として、平成14年10月から認知症高齢者グループホーム外部評価事業の実施が義務付けられてきたが、介護保険制度の改正により、平成19年度からは認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所を対象にした地域密着型サービスの外部評価事業となった。

（1）外部評価の実施

ア) 実績

契約締結事業所数：122事業所

訪問調査実施事業所数：122事業所

評価結果公開済事業所数：99事業所

イ) 外部評価調査員：65人

ウ) 評価等審査委員会

地域密着型サービスの外部評価事業の信頼性・公平性の確保と適正な実施を目的として、評価委員会を設置し、公正な評価事業の推進について協議を行った。

期 日	会 場	参加者	内 容
平成25年3月7日(木)	青森市	4人	平成24年度事業報告 平成25年度からの事業内容

（2）事業所向け説明会の実施

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年5月25日(金)	青森市	38人	外部評価について 外部評価の流れ・事務手続き等について 外部評価のポイント等について

（3）評価調査員の継続研修の実施

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年6月25日(月)	青森市	37人	介護保険法の改定に伴う調査の留意点 今年度の予定・事務手続き等 昨年度の訪問調査の振り返り等

第4 福祉を担う人材の確保・養成

1 福祉人材センター事業の推進

有料老人ホーム等の福祉サービス利用者の増加が顕著である中、介護従事者を中心とした人材の確保・養成は大きな課題となっている。このことから福祉人材の確保に向けて潜在的有資格者や他分野から福祉職に転職を望む求職者への情報提供の機会を確保すると共に、福祉分野を選択している高校生等に対する講座を各地域で実施した。

また、現任者の専門性を高めるため生涯研修、資格取得のための試験対策講座、法人等事業主に対する職場内環境を整備するための研修を実施した。

無料職業紹介事業においてはセンターを中心に、支所である2ヶ所の弘前・八戸福祉人材バンクと連携を図りながら、窓口での個別対応、インターネットでの職業紹介システム（新COOLシステム）を活用した情報提供を行った他、事業所側の求人情報が迅速に求職者に提供できるよう携帯情報配信システムを稼働しシステムの普及を図った。

求人・求職登録者の開拓については、福祉施設・学校等への巡回訪問を積極的に行うと共に、ハローワークに出向き一日移動相談窓口の開設やガイドセミナー、福祉系大学等での就職説明会、関係機関・団体が実施するヘルパー2級等養成事業所で、福祉の仕事についての説明や相談に応じながら新規登録者の獲得に努めた。

また、平成21年度から実施している一般労働者派遣事業については、現況の派遣対象施設に離職者等を派遣するとともに、被災者の求職支援としても雇用機会の拡大に務めた。

(1) 福祉人材無料職業紹介事業の実施

①求人・求職の相談登録

区分	有効求職 申込者数	有効求人 申込件数	紹介件数 (応募件数)	就職人数	求人 相談件数	求職 相談件数
県福祉人材センター	3,020	1,248	256(167)	175	1,146	1,658
弘前バンク	1,398	316	27(19)	9	73	322
八戸バンク	899	388	24(62)	14	69	176
合計	5,317	1,952	307(248)	198	1,288	2,156

- ア) 福祉人材センター掲示板での求人票閲覧（土日祝日閲覧可）
- イ) 福祉人材センターパソコンでの求人情報等閲覧（COOLシステム閲覧くん）
- ウ) 求人情報携帯配信システム「福祉のお仕事ネット」・郵送による情報提供（随時）
- エ) 県社協ホームページへ求職登録者掲載による情報提供（毎月更新）
- オ) 各種福祉職紹介冊子の配布
- カ) 福祉の仕事一日移動相談の実施（年2回：8ヶ所のハローワークと共催）

実施地区名	会場（公共職業安定所）	期 日	件数
三沢市	三沢公共職業安定所	平成24年 6月 18日（月）	2件
		平成24年 11月 5日（月）	5件
十和田市	三沢公共職業安定所 十和田出張所	平成24年 7月 2日（月）	2件
		平成24年 10月 29日（月）	2件

野辺地	野辺地公共職業安定所	平成24年 7月 4日(水) 平成24年 10月 24日(水)	3件 4件
五所川原市	五所川原公共職業安定所	平成24年 7月 5日(木) 平成24年 11月 8日(木)	11件 1件
むつ市	むつ公共職業安定所	平成24年 7月 6日(金) 平成24年 11月 2日(金)	3件 1件
黒石市	黒石公共職業安定所	平成24年 7月 10日(火) 平成24年 10月 30日(火)	6件 0件
八戸市	八戸公共職業安定所	平成24年 7月 13日(金) 平成24年 10月 19日(金)	19件 4件
弘前市	弘前公共職業安定所	平成24年 7月 30日(月)	6件

キ) 福祉人材養成校・訪問介護員養成事業所に対する求職者開拓

ク) 求人者開拓(施設及び事業所等) ※福祉・介護マッチング支援事業訪問含む

担当センター・バンク名	訪問施設数
青森県福祉人材センター	63 施設
弘前福祉人材バンク	14 施設
八戸福祉人材バンク	18 施設

ケ) 民間人材育成事業所との連携

コ) 「福祉のお仕事」ネット紹介システム求人申請操作方法指導事業

サ) 公共職業安定所、ナースバンク等関係機関との情報交換及び連携

- ・福祉の仕事を紹介したガイドブック(福祉の仕事ガイドブック)を5,000部作成し、県内のハローワーク及び福祉施設へ配布した。

②福祉の職場相談フェア

ア) 福祉の仕事相談フェアの開催

- ・学生対象(青森市:年1回)
- ・一般対象(青森市・弘前市・八戸市:年1回)

期 日	会 場	参加者	うち学生	うち一般	事業所
【青森会場】 県民福祉プラザ	平成24年 10月8日(月)	65人	65人	/	20団体
	平成25年 2月16日(土)	67人	5人	62人	24団体
【弘前会場】 弘前市社会福祉センター	平成25年 2月23日(土)	25人	10人	15人	16団体
【八戸会場】 八戸市総合福祉会館	平成25年 2月2日(土)	40人	6人	34人	26団体

第4 福祉を担う人材の確保・養成

イ) 求職者への就職ガイダンスの実施

期 日	参加者	会 場	内 容
平成 24 年 10 月 8 日 (月)	47 人 (学生対象)	県民福祉 プラザ	講義 「福祉マンパワーに求められる資質とは」 ～これからの福祉現場を担う人たちに～ 「福祉の就活」先輩に聞いてみよう
平成 25 年 2 月 16 日 (土)	56 人		講義 「福祉マンパワーに求められる資質とは」 ～これからの福祉現場を担う人たちに～

③福祉人材バンク事業の委託

ア) 委託先

(ア) 社会福祉法人弘前市社会福祉協議会 (弘前福祉人材バンク)

対象範囲：弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、中津軽郡、南津軽郡、
西津軽郡、北津軽郡

(イ) 社会福祉法人八戸市社会福祉協議会 (八戸福祉人材バンク)

対象範囲：八戸市、十和田市、三沢市、上北郡、三戸郡

イ) 業務内容 福祉人材無料職業紹介事業

- ・ 個別就労支援相談及び斡旋
- ・ 求人求職状況の報告
- ・ COOL システム (コンピューター等情報機器の積極的な活用) による情報提供等
- ・ 福祉従事者養成施設、公共職業安定所等との連携
- ・ 福祉サービスに関する啓発
- ・ 福祉従事者等の確保に資する研修事業等

ウ) 福祉人材バンク会議

期 日	会 場	出席者	内 容
第 1 回 平成 24 年 4 月 25 日 (水)	県民福祉プラザ 県社協会議室	9 人	(1) 平成 24 年度福祉人材センター・バンク 年間事業計画について (2) 情報交換について
第 2 回 平成 25 年 3 月 22 日 (金)	県民福祉プラザ 県社協会議室	7 人	(1) 平成 24 年度福祉人材センター・バンク 年間事業実施状況について (2) 平成 25 年度福祉人材センター・バンク 年間事業計画及び予算(案)について (3) 意見交換

④福祉人材センター運営委員会

期 日	会 場	出席者	内 容
第1回 平成24年7月31日(火)	県民福祉 プラザ	11人	(1)平成23年度事業の実施状況について (2)平成24年度事業の計画について (3)青森県福祉人材センター・バンク アクションプランについて (4)意見交換「将来の福祉従事者を育むた めに必要な活動」
第2回 平成25年3月6日(水)	県民福祉 プラザ	9人	(1)平成24年度事業の実施状況について (2)平成25年度事業の計画について (3)意見交換「福祉・介護人材の確保に係 る各団体の取り組みについて」

⑤福祉マンパワーの確保と人材育成

ア) 高校生対象福祉現場体験講習会

期 日	平成24年7月23日(月)～7月26日(木)4日間
会 場	県民福祉プラザ、各福祉施設
参加者	30人
内 容	講義Ⅰ「福祉ってなに？」 —社会福祉の基礎知識・福祉専門職としての心構えと必要な資格— 実技演習「車いすの操作方法」「ベット上の介護」 講義Ⅱ「障がいってなに？」—障がいのある方への理解— 弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄 氏 《福祉施設体験学習 7月24日～25日の2日間》 講義Ⅲ「福祉の職場で働く方からのメッセージ」—福祉の仕事の魅力ややりがい— 福祉相談会 進路相談、就職相談、資格取得方法
期 日	平成24年7月24日(火)～7月27日(金)の4日間
会 場	弘前市社会福祉センター、各福祉施設
参加者	8人
内 容	講義Ⅰ「社会福祉の基礎知識」 ①社会福祉とは ②専門員としての心構えと必要な資格 実技演習「高齢者疑似体験」「車いすの操作方法」 弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄 氏 《福祉施設体験学習 7月25日～26日の2日間》 講義Ⅱ「現場の声」—福祉の職場で働くこと 福祉相談会 進路相談 就職相談 資格取得方法
期 日	平成24年7月7日(火)～7月10日(金)の4日間
会 場	八戸市総合福祉会館、各福祉施設
参加者	12人
内 容	講義Ⅰ 「社会福祉の基礎知識」 講義Ⅱ 「福祉専門職になるためには—専門職としての心構えと必要な資格—」 八戸大学准教授 篠崎 良勝 氏 実技演習 車いすの操作方法 《福祉施設体験学習 8月8日～9日の2日間》 講義Ⅲ 「点字を体験してみよう」 福祉相談会 進路相談 就職相談 資格取得方法

第4 福祉を担う人材の確保・養成

イ) 福祉施設就労体験講習会 (2センター・バンクで実施)

期 日	【青森会場】平成24年12月4日(火)
会 場	県民福祉プラザ3階 共用研修室1
参加者	6人
内 容	<p>講義Ⅰ「福祉職場の基礎知識」 ～福祉職場の現状を理解し就職への一歩を踏み出すために～ 弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄氏</p> <p>講義Ⅱ－福祉の仕事の「やりがい」について－ 講話「福祉の仕事の魅力について」 介護実技講習会・介護の基本技術・コミュニケーションの取り方 弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄氏 助教 工藤雄行氏</p> <p>職場体験 平成24年12月5日(水)～平成25年2月25日(火)</p>
期 日	【八戸会場】平成24年12月7日(金)
会 場	八戸市総合福祉会館
参加者	5人
内 容	<p>講義Ⅰ「社会福祉の概論」 ～現代における福祉の環境と福祉の仕事に求められる技術・知識・資格などについて～ 八戸大学 人間健康学部 准教授 篠崎良勝氏</p> <p>実技演習会・介護の基本技術・コミュニケーションの取り方 青森県介護実習・普及センター所長 青田俊枝氏</p> <p>福祉施設体験学習 平成24年12月8日(土)～9日(日)</p>

ウ) 福祉初級講座(中高校生等向け講座) (3センター・バンクで実施)

期 日	会 場	参加者数
【三沢会場】 平成24年11月17日(土)	三沢市総合社会福祉センター	8人
講義「福祉ってなに？」	特別養護老人ホーム瑞光園 チーフマネージャー 沢田章氏	
講義「福祉の仕事現場から」	特別養護老人ホーム楽晴会 介護福祉士 平沢亜希子氏 社会福祉法人鳳鳴会 チャリティー第二保育園 保育士 松岡咲紀氏	
実技体験「車椅子の操作方法・高齢者疑似体験」	八戸市社協 福祉支援課長 間山路代氏	
希望者による専門相談(職場体験受付、就職希望者相談)		
【つがる会場】 平成24年11月17日(土)	つがる市木造福祉交流センター	6人
講義「福祉ってなに？」	弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄氏	
講義「福祉の仕事現場から」	菰槌保育園 保育士 會津可南子氏 つがる市社協 デイサービスセンターかっこの館 介護職員 尾野陽子氏	
実技体験「車椅子への移乗、移動演習」「視覚障がい者移動介護演習」	弘前医療福祉大学短期大学部 生活福祉科 介護福祉専攻長 准教授 戸来睦雄氏 助教 福士尚葵氏 助教 工藤雄行氏	
希望者による専門相談(職場体験受付、就職希望者相談)		
【むつ会場】 平成24年11月24日(土)	下北文化会館	40人

講義「福祉ってなに？」	八戸大学 人間健康学部 准教授 篠崎良勝 氏
講義「福祉の仕事現場から」	小川町第二百合保育園 保育士 中野美幸 氏
実技体験「車椅子の操作方法・高齢者疑似体験」	特別養護老人ホームみちのく荘 介護職員 佐賀宗敬 氏
	青森県ホームヘルパー連絡協議会 理事 横山一枝 氏
	むつ市社協ヘルパーステーション 赤井一美 氏
希望者による専門相談(職場体験受付、就職希望者相談)	坂本由美子 氏

(2) 潜在的有資格者等再就業促進事業

①福祉施設就労支援講座

期 日	会 場	参加者	内 容
平成24年4月21日(土)	県民福祉 プラザ	7人	福祉職場の基礎知識 ー今、介護現場に求められるものー
平成24年5月19日(土)		7人	どう変わった?介護保健 ー介護保険制度の概要ー
平成24年6月16日(土)		7人	介護福祉士 ヘルパーの仕事 ー福祉の仕事の魅力についてー
平成24年7月21日(土)		7人	介護用品のいろいろ ー介護支援グッズを試してみようー
平成24年8月18日(土)		5人	福祉職場の基礎知識 ー今、介護現場に求められるものー
平成24年9月15日(土)		10人	どう変わった?介護保険 ー介護保険制度の概要ー
平成24年10月20日(土)		3人	介護福祉士 ヘルパーの仕事 ー福祉の仕事の魅力についてー
平成24年11月17日(土)		6人	介護用品のいろいろ ー介護支援グッズを試してみようー
平成24年12月15日(土)		7人	福祉職場の基礎知識 ー今、介護現場に求められるものー
平成25年1月19日(土)		5人	どう変わった?介護保健 ー介護保険制度の概要ー
平成25年2月16日(土)		2人	介護福祉士 ヘルパーの仕事 ー福祉の仕事の魅力についてー
平成25年3月16日(土)		2人	介護用品のいろいろ ー介護支援グッズを試してみようー

②職場体験事業の実施 (施設実習1日~10日程度)

申込者105人、 受入施設79ヶ所(高校生含む)

(3) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業

ア) 福祉の仕事ガイドセミナー(ハローワークの福祉人材確保重点対策事業への協力)

会 場	期 日	参加者数	派遣職員数
青森公共職業安定所	平成24年 4月23日(月)	28人	4人
	平成24年 5月29日(火)	34人	3人
	平成24年 6月25日(月)	24人	2人
	平成24年 7月24日(火)	13人	2人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

	平成24年 8月 28日 (火)	38人	2人
	平成24年 9月 25日 (火)	29人	2人
	平成24年 10月 23日 (火)	18人	2人
	平成24年 11月 20日 (火)	10人	2人
	平成24年 12月 17日 (月)	20人	2人
	平成25年 1月 29日 (火)	16人	3人
	平成25年 2月 26日 (火)	13人	2人
	平成25年 3月 26日 (火)	9人	2人
三沢公共職業安定所十和田出張所	平成24年 10月 29日 (月)	1人	3人
黒石公共職業安定所	平成24年 10月 30日 (火)	11人	3人
五所川原公共職業安定所	平成24年 11月 8日 (木)	9人	3人
三沢公共職業安定所	平成24年 12月 12日 (水)	11人	2人
野辺地公共職業安定所	平成25年 3月 4日 (月)	8人	2人

(4) 福祉・介護人材キャリアパス支援事業

5つ以上の施設・事業所が実施する研修について、施設等に働きかけ、施設等間のマッチング、効果的な実施のためのアドバイス等を行い、円滑な事業所間連携が図られるよう支援する。

ア) 【複数事業所の連携による研修会】

研修主催者：代表 有限会社リブライズ

期 日	平成24年 12月 18日 (火) ～19日 (水)
会 場	八戸市総合福祉会館 多目的ホール
参加者	129人
内 容	(一日目) 「介護の仕事の苦勞と魅力と楽しさ」 ～介護のプロフェッショナルを目指して～ (二日目) 「介護職の定着率アップと職場環境」 ～職員に選ばれる職場とは？あなたが選ぶ職場とは？～ 講師 ケアタウン総合研究所 代表 高室成幸 氏

イ) 【介護福祉士国家試験対策講習会】

介護福祉士の資格取得を目指す福祉施設等職員を対象に、介護福祉士国家試験の全体像を把握し、効果的な学習方法を身につけることができるよう、受講者の資格取得を支援することを目的に開催した。

	日 時	場 所	参加者
八戸会場	平成24年7月14日(土) 10:00～16:00	財団法人八戸地域地場産業振興センター (ユートリー) 8階中ホール	89人
弘前会場	平成24年7月15日(日) 10:00～16:00	社団法人弘前観光コンベンション協会 「弘前市立観光館」多目的ホール	76人
青森会場	平成24年7月16日(月) 10:00～16:00	ウェディングプラザ アラスカ 地下1階「サファイア」	73人

(5) 福祉・介護人材確保対策連携強化事業

ア) 福祉人材センター・バンクのフリーペーパーを利用した広報活動(平成24年8月から平成25年2月まで)

- イ) 福祉人材センター・バンクの青森市営バスでの広報活動（平成24年10月15日から3月31日まで）
- ウ) 学生対象福祉の仕事相談フェアのラジオでの広報活動（平成25年9月11日から9月30日まで）
- エ) 福祉人材センター・バンクの県内主要駅での広報活動（平成25年3月1日から3月21日まで）
- オ) 社会福祉従事者の確保に関する調査研究事業

① 福祉人材センター・バンク アクションプランの進行管理

② 潜在的有資格者を対象とした意識調査の実施

・県内の介護福祉士1,584人を対象に、就労意向に関する調査を実施した。また集計結果は、回答を希望した協力者へ送付した。

対象者数：1,584人

回答者数：566人（回答率36%）

③ 平成24年度民間社会福祉事業所の人材確保・育成に関する調査の実施

・県内福祉事業所（経営主体）を対象に、人材確保・職員育成に関する調査を実施した。また、集計結果は、回答を希望した事業所へ送付した。

対象事業所数：941ヶ所

回答数事業所数：240ヶ所（回答率26%）

(6) 福祉人材の確保対策

① 介護福祉士等修学資金貸付事業の実施

年度/計	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	合計
介護福祉士養成課程	58人	69人	63人	39人	229人
社会福祉士養成課程	4人	3人	1人	1人	9人
合計	62人	72人	64人	40人	238人

平成21年度からの継続貸付対象者65名へ送金を行うと共に、償還猶予及び免除に関する事務を実施した他、資金の返還債務の管理を行った。

② パンフレット・ポスター・ホームページ等による広報啓発

(7) 養護老人ホーム等施設入所者処遇向上支援事業の実施

22福祉施設へ24人を派遣

特別養護老人ホーム	6施設	6人
養護老人ホーム	1施設	1人
ケアハウス	1施設	1人
デイサービスセンター	12施設	14人
就労継続支援B型事業所	2施設	2人

上記のうち、被災関係者は11人で、派遣先施設で派遣終了後に継続雇用された職員は1人。

2 介護知識や技術、並びに介護機器の普及

本格的な高齢社会を迎え、高齢者等への介護の対応は国民的な課題となっており、介護知識・技術の普及及び福祉用具・住宅改修について適正な知識を広く啓発することは在宅福祉の推進に不可欠となっている。このため介護実習・普及センターには介護知識・技術及び福祉用具普及のための地域の支援・指導施設としての役割が求められている。

このことから介護実習・普及センターでは、「高齢社会は県民全体で支えるもの」という考え方を推進していくため、介護知識・技術の普及を図るとともに、福祉用具・住宅改修の適正な活用について啓発した。

(1) 介護実習等事業

①目からウロコ！知って得する介護講座

高齢者等が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、高齢者介護及び自立支援に関する家庭介護の知識と技術を普及した。

期 日	申込団体等	内 容	講 師	参加者
平成24年 5月15日(火)	県内のホームヘルパー	モデルルーム見学体験	介護実習・普及センター 職員	5人
5月22日(火)	青森市内一般	正常な排泄と失禁予防、排泄ケアについて	介護実習・普及センター 職員	10人
5月29日(木)	青森市立高等看護学院3年生(在宅介護論実習)	高齢者疑似体験 モデルルーム・展示場見学体験	介護実習・普及センター 職員 センター登録講師 山田 真智子 氏 工藤 高尾 氏	36人
5月30日(水)		講話：「普通の生活を支える福祉用具と住環境」 実技：各種福祉用具の選び方、使い方	介護実習・普及センター 職員	36人
6月20日(水)	青森市内一般	講話：介護予防について 実技：介護のコツと福祉用具	同上	11人
6月28日(木)	青森市内一般	正常な排泄と失禁予防、排泄ケアについて	同上	13人
7月6日(金)	青森県立七戸高等学校(福祉人材センター共催)	講話「福祉の仕事について」 モデルルーム・展示場見学体験	福祉人材センター 職員 介護実習・普及センター 職員	30人
7月18日(水)	消費生活大学院	車いすの基本的知識と介助の仕方について	介護実習・普及センター 職員	24人
7月21日(土)	一般(福祉人材センター共催)	介護用品いろいろを試してみよう	同上	5人

7月23日(月)	東青地区の高校生(福祉人材センター共催)	講義:福祉って何? 実技:「車いす」 「ベッド上での介護」	弘前医療福祉大学 短期大学部 准教授 戸来 睦雄氏 助教 工藤 雄行氏	31人
7月26日(木) 7月30日(月) 8月23日(木) 8月27日(月) 8月30日(木) 9月6日(木)	青森中央短期大学看護学科3年生(在宅介護論実習)	講話:「普通の生活を支える福祉用具と住環境」 実技:各種福祉用具の選び方、使い方 モデルルーム・展示場 見学体験	介護実習・普及センター 職員	92人
9月9日(日)	すこやか福祉事業団 あおもりシニアフェスティバル参加者	抱き上げない介助動作と関連用具について	介護実習・普及センター職員	21人
9月11日(火)	ゆうき青森農協女性部 「えがおの会」	介護予防教室 ～ゆたかな生活・あじわい深い生活は健康から～	青森県作業療法士会 弘前大学大学院講師 平川 裕一氏	18人
10月18日(木)	青森市内一般	講話:「介護予防と介護について」 実技:体位変換等の介護技術と福祉用具	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 田辺 典子氏	14人
10月23日(火)	青森市内一般	講話:「排泄のケアと失禁予防」 実技:失禁予防体操と排泄ケア、関連用具	介護実習・普及センター 職員	11人
11月7日(水)	青森歯科衛生士専門学校3年生	・起居・移乗の介助とコミュニケーション ・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター 職員 センター登録講師 山田 真智子氏 田辺 典子氏	35人
11月17日(土)	福祉施設就労体験講習会参加者(福祉人材センター共催)	・介護用品のいろいろ ～介護支援グッズを試してみよう～	介護実習・普及センター 職員	6人
12月4日(火)	福祉施設就労体験講習会参加者(福祉人材センター共催)	・福祉職場の基礎知識及び介護実技	弘前医療福祉大学 短期大学部 准教授 戸来 睦雄氏 助教 福士 尚葵氏 工藤 雄行氏	6人
12月5日(水)	一般及び県消費者協会会員	・誤嚥防止の調理の工夫と食事介助について ・介護についてフリートーク	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 言語聴覚士 三浦 順子氏	29人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

平成25年 2月28日(木)	黒石市立迫子野木小学校5年生	・車いすの知識と介助体験 ・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子氏	31人
3月16日(土)	福祉施設就労体験講習会参加者(福祉人材センター共催)	・介護用品のいろいろ ～介護支援グッズを試してみよう～	介護実習・普及センター職員	2人
合計				466人

②高齢者疑似体験講座と支援事業

高齢者疑似体験などの実習をとおして、高齢者の理解や福祉用具に関する基礎知識の啓発を図った。

ア) 高齢者疑似体験講座

期 日	対 象	内 容	講 師	参加者
平成24年 4月6日(金)	みちのく銀行新入行員	・高齢者疑似体験 ・車いす介助体験	介護実習・普及センター職員 身体障害者更生施設津麦園 理学療法士 小村 博氏 センター登録講師 山田 真智子氏 田辺 典子氏	36人
5月18日(金)	一般	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム見学 ・福祉用具紹介	介護実習・普及センター職員	6人
5月29日(火)	青森市立高等看護学院3年生 (在宅介護論実習) (再掲)	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム・展示場見学体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子氏 工藤 高尾氏	36人
7月17日(火)	黒石市立牡丹平小学校 われら福祉探検隊 4年生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム・展示場見学体験	介護実習・普及センター職員	18人
7月25日(水)	黒石市社協 夏休みふくし体験フェア 小学校4・5年生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム・展示場見学体験	介護実習・普及センター職員	8人
7月27日(金)	黒石市立黒石東小学校 ボランティア委員会 5・6年生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム・展示場見学体験 ・演習:「高齢者理解と福祉用具について」	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 田辺 典子氏	13人
8月9日(木)	黒石市社協 夏休みふくし体験フェア 小中学生	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム見学	介護実習・普及センター職員	9人
9月19日(水)	生活協同組合コープ あおもり組合員	・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子氏	19人

9月27日(木)	五所川原市立第2中学校 中学3年生	・高齢者疑似体験 ・車いす体験 ・ベッド上での介護技術体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 田辺 典子 氏	28人
11月7日(水)	青森歯科衛生士専門学校 3年生 (再掲)	・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子 氏 田辺 典子 氏	35人
12月10日(月)	東北町東北地区連合婦人会	・高齢者疑似体験 ・モデルルーム・展示場見学	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 田辺 典子 氏	11人
平成25年 1月28日(月)	六郷地区社会福祉協議会 (黒石市)	・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子 氏	15人
2月28日(木)	黒石市立追子野木小学校 5年生 (再掲)	・高齢者疑似体験	介護実習・普及センター職員 センター登録講師 山田 真智子 氏	31人
合計				265人

イ) 体験講座支援事業

高齢者疑似体験セットの貸出、講座開催方法への助言及びインストラクターの紹介等を行った。

＜貸出回数及び体験者数＞

①介護実習・普及センター	63回	2,891人
②八戸市社会福祉協議会	31回	1,796人
③五所川原市社会福祉協議会	7回	148人
貸出回数及び体験者数	101回	4,835人

③出張家庭介護講座

介護を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域や家庭で、家族や地域の人々とともに安心して暮らしていけるよう、高齢者等の介護に関する知識と技術を普及するとともに、自立支援と介護負担を軽減する福祉用具の活用を普及した。

期 日	会場、対象等	内 容	講 師	参加者
平成24年 6月15日(金)	弘前市立第三大成小学校	・講話：介護予防と介護のコツ ・実技：身体の動かし方と福祉用具試用体験 ・地域包括と介護保険について	介護実習・普及センター職員 弘前第三地域包括支援センター職員	48人
	弘前市富田第1町会 富寿会			
7月4日(水)	青い森鉄道青森駅 青い森鉄道駅員、アテンダント	・車いす操作とお客様とのコミュニケーション	身体障害者更生施設津麦園 理学療法士 小村 博 氏	11人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

7月5日(木)	八戸市公民館 八戸婦人ボランティアの会「いちいの会」	・講話：介護予防と認知症について ・実技：更衣の援助	介護実習・普及センター職員	50人
7月28日(土)	弘前市総合学習センター 弘前市内の小学5・6年生(県作業療法士会共催)	・ビーズブレスレット等作成 ・高齢者疑似体験 ・車いす体験	青森県作業療法士会	15人
8月1日(水)	鶴田町地域包括支援センター 一般	・講話：介護予防と介護のコツ ・実技：身体の動かし方と福祉用具オムツのあて方	介護実習・普及センター職員	30人
8月8日(水)	J A津軽みらい常磐支店 J A津軽みらい女性部	・講話：失禁予防とケア用品	介護実習・普及センター職員	30人
8月21日(火)	東目屋公民館 女性教室、保健衛生委員等	・講話：介護予防と介護のコツ ・実技：身体の動かし方と福祉用具	介護実習・普及センター職員	20人
8月30日(木)	平川市社会福祉協議会碓ヶ関事業所 一般	・認知症について	青森県作業療法士会会員 弘前医療福祉大学准教授 葛西 真理 氏	12人
9月18日(火)	西部地区センター(黒石市) 黒石市シルバー人材センター会員	・車いすの介助 ・様々な福祉用具の試用体験	介護実習・普及センター職員	12人
9月28日(金)	日沼地区コミュニティ施設(平川市) 一般	嚥下機能が低下した方の食事・とろみのつけ方	青森県栄養士会 栄養士 葛西 ちか子 氏	10人
10月5日(金)	三沢市シルバー人材センター(三沢市) 三沢市シルバー人材センター会員	・介護予防について ・体位変換、移乗介助と福祉用具	介護実習・普及センター職員	8人
11月20日(火)	勤労青少年ホーム(黒石市) 黒石市シルバー人材センター会員	・講話：介護予防について ・実技：体位変換、移乗の介助と福祉用具	介護実習・普及センター職員	10人
11月21日(水)	平川市社会福祉協議会尾上事業所(平川市) 一般	・介護技術について(寝返りや起き上がり、オムツ交換)	介護実習・普及センター職員	8人
11月27日(火)	平川市社会福祉協議会碓ヶ関事業所(平川市) 一般	・介護技術について(寝返りや起き上がり、オムツ交換)	介護実習・普及センター職員	8人

11月30日(金)	平川市社会福祉協議会 尾上事業所(平川市) 一般	・認知症について	青森県作業療法士 会会員 弘前医療福祉大学 准教授 葛西 真理 氏	14人
12月7日(金)	八戸市総合福祉会館(八 戸市) 福祉施設就労体験講習会 参加者	介護の基本技術とコミュニ ケーションについて	介護実習・普及セン ター職員	5人
12月12日(水)	階上町社会福祉協議会 (階上町) 一般	・口腔ケアについて	青森県歯科衛生士 会三八支部 会員 小村 真妃 氏	9人
12月13日(木)	鶴田町保健福祉センター 鶴遊館(鶴田町) 一般	腰痛予防を考えた介護技術 について	弘前大学大学院保 健学研究科 講師 平川 裕一 氏	14人
平成25年 3月1日(金)	平川市社会福祉協議会 尾上事業所 (平川市) 一般	介護保険制度について	尾上在宅介護支援 センター 看護師 加藤 ひとみ 氏	14人
3月4日(月)	六戸町社会福祉協議会 一般	高齢者の栄養と調理の工夫	青森県栄養士会 栄養士 岩見 美恵子 氏	19人
3月4日(月)	六戸町社会福祉協議会 一般	基本的な介護技術について	介護実習・普及セン ター登録講師 鈴木 裕子 氏	20人
3月15日(金)	平川市社会福祉協議会 碓ヶ関事業所 (平川市) 一般	介護保険制度について	碓ヶ関在宅介護支 援センター看護師 野呂 真奈美 氏	12人
3月23日(土)	イオンモールつがる柏 (つがる市社会福祉協議会 共催) 一般	介護「たいけん」教室 in イ オンモールつがる柏 「介護の楽ワザ・コツ デモ ンストレーション」	介護実習・普及セン ター職員	20人
3月24日(日)	イオンモールつがる柏 (つがる市社会福祉協議会 共催) 一般	介護「たいけん」教室 in イ オンモールつがる柏 「介護の楽ワザ・コツ デモ ンストレーション」	介護実習・普及セン ター職員	20人
合 計				419人

第4 福祉を担う人材の確保・養成

④介護の日フェア

介護を必要とする高齢者等が、住み慣れた地域や家庭で、家族や地域の人々とともに安心して暮らしていけるよう、介護の日関連事業として介護及び福祉用具を普及するとともに、各種の介護相談に応じる等して介護者を支援した。

開催日	場 所	内 容	参加者
平成24年 10月12日(金)	ハートフルプラザ・はしかみ	①地域公開講座 「認知症と向き合って ～家族として、介護者として～」 講師 社会福祉法人楽晴会 ソーシャルワークセンター スーパーバイザー 中川 れい子 氏 ②福祉用具展示・体験 ③各種相談コーナー	130人

⑤地域・家族介護講座

家庭や地域で介護する人々が、適切な介護知識や技術を習得できるよう、家庭介護講座等で指導できる人材を育成した。

期 日	場 所	テーマ	講 師	参加者
平成24年 8月7日(火)	県民福祉プラザ	身体の動きと福祉用具 ～失禁ケアと基本的な介護～	弘前大学大学院保健学研究科 助手、理学療法士 赤池 あらた 氏	36人
10月2日(火)	県民福祉プラザ	認知症ケアと地域づくり	青森中央短期大学看護学科 教授 栗野 ヤエ子 氏	39人
合 計				75人

⑥介護スキルアップ研修

介護支援専門員等を対象に、利用者の自立と尊厳を基本にした専門性の高い介護知識と技術及び福祉用具の適正な活用について普及した。

居宅介護支援編

○基礎コース

期日・場所	場 所	テーマ	講 師	参加者
平成24年 7月2日(月)	県民福祉プラザ	「入浴の支援と福祉用具」	弘前大学大学院保健学研究科助手 理学療法士 赤池 あらた 氏	43人
9月24日(月)	県民福祉プラザ	「車いすと座位姿勢」	青森県立保健大学 健康科学部理学療法学科 助教 長門 五城 氏	43人
11月15日(木)	県民福祉プラザ	「起居・移乗」 ～人の自然な動きを知る～	特定非営利活動法人動作 介助研究会 事務局 佐藤 幸恵 氏	43人

○ステップアップコース

期日・場所	場 所	テ ー マ	講 師	参加者
平成24年 7月11日(水)	県民福祉プラザ	「排泄ケア」 ～排泄が不都合になった とき～	株式会社クラケア・サ ポート 代表取締役 オムツフ イッター 館 亜美 氏	44人
9月14日(金)	県民福祉プラザ	「褥瘡ケア」	青森中央短期大学看護 学科 教授 村山 志津子 氏	43人
平成25年 1月17日(木)	県民福祉プラザ	「起居・移乗」 ・起居・移乗に関連した福 祉用具 の使い方と特性 ・福祉用具を活用し、本人 の動きを支援する移乗	福祉技術研究所株式会 社 代表取締役 市川 冽 氏	30人
2月13日(水)	県民福祉プラザ	「拘縮ケア」 ・拘縮の発症要因とケアに ついて ・拘縮の予防と改善のため のケア	弘前大学大学院保健学 研究科 助教 理学療法士 赤池 あらた 氏	37人

○グループホーム編

期日・場所	場 所	テ ー マ	講 師	参加者
平成25年 1月23日(水)	県民福祉プラザ	「起居・移乗」 ・基本的な起居・移乗動作	介護老人保健施設カトレア 作業療法士 工藤 桃代 氏	22人
2月1日(金)	県民福祉プラザ	「口腔ケア」 ・口腔ケアの役割と意義	青森県歯科衛生士会 松井 美保子 氏 演習補助 同会 齋藤 満里子 氏	17人
	県民福祉プラザ	「食事介助と誤嚥防止」 ・嚥下の仕組み ・障害にあわせた食事介助	財団法人黎明郷弘前脳卒 中・リハビリテーションセン ター 言語聴覚士 三浦 順子 氏	17人

スキルアップ研修合計	339人
------------	------

第4 福祉を担う人材の確保・養成

⑦介護者向けフォーカスセミナー（新）

介護専門職員を対象に介護を巡る諸情勢の変化に対応し、高齢者の「尊厳保持」を基本としたケアを実践できる介護職員を育成するため、「介護職員の医療行為」と「看取りケア」に焦点を当て、セミナーを開催した。

期 日	場 所	テ ー マ	講 師	参加者
第1回 平成24年 7月23日(月)	県民福祉プラザ	第1部 介護職員の医療行為 ～介護と医療行為を巡る現状 と課題～	青森中央短期大学看護 学科専任講師 中川 孝子 氏	148人
第2回 12月19日(水) 県民ホール		第2部 看取りケア ～本人と家族の 意思に沿った「看取り」への 支援について～	(株)あんさん訪問看護ス テーション 代表取締役所長 緩和ケア認定看護師 沼倉 昌洋 氏	144人
合計				292人

(2) 福祉用具・住宅改修普及等事業

①福祉用具・住宅改修研修会

高齢者のQOL向上の重要な役割を担う福祉用具や住宅改修についてより専門的な知識と技術を普及した。

期日・場所	場 所	テ ー マ	講 師	参加者
平成24年 12月3日(月)	県民福祉プラザ	「福祉用具サービス計画 ～ケアマネジメントの視点 から～」	国際医療福祉大学 大学院 講師 東島 弘子氏	47人
12月11日(火)	県民福祉プラザ	福祉用具を用いた生活支援 の考え方 ・福祉用具総論 ・移乗用具の選択と使い方	神戸学院大学 教授 作業療法士 古田 恒輔 氏	41人
12月12日(水)	県民福祉プラザ	福祉用具を活用した住宅改 修 ・生活支援技術～住宅改修 の意義を考える～ ・事例を用いた住宅改修の 検討	神戸学院大学 教授 作業療法士 古田 恒輔 氏	42人
合計				130人

②福祉機器展及び相談会

ア) 高齢者や障がい者を県民全体で支える社会づくりを目指し、優れた福祉用具や最新機器に触れ、体験し、福祉用具と介護のこころを育むことを目的に開催した。

期 日：平成24年11月12日(月)

場 所：青森市文化会館

参加者：377人(うちデモンストレーション参加者 36人)

内 容：展示テーマ「リハビリテーション・介護予防関連」

歩行器、リハビリシューズ、杖を中心に多数展示
 デモンストレーション「介護予防のための運動ワンポイント講座」
 講師 弘前大学大学院
 講師 作業療法士 平川 裕一 氏

○福祉用具・住宅改修及び介護相談

	来所	電話	介護講座終了後など
福祉用具に関する相談	20件	4件	50件
介護技術等に関する相談	1件	0件	19件
住宅改修に関する相談	1件	0件	0件
その他	0件	1件	3件
合計	99件		

イ) 福祉機器展示イベント 「介護たいけん教室 in イオンモールつがる」

高齢者や障がい者を県民全体で支える社会づくりを目指し、優れた福祉用具や最新機器に触れ、体験し、福祉用具と介護のこころを育むことを目的に開催した。

期 日：平成25年3月23日(土)、3月24日(日)

場 所：イオンモールつがる柏

参加者：300人(うち介護教室参加者 40人)

内 容：展示内容

ベッド、エアマット、リフト、歩行器、リハビリシューズ、車いす等多数展示

(3) 委員会の開催

・青森県介護実・習普及センター介護機器普及事業運営協議会

期 日	会 場	出席委員	内 容
平成24年9月21日(金)	県民福祉プラザ	6人	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度事業実施状況 平成24年度福祉機器展示について

・青森県介護実習・普及センター活動事業運営委員会

期 日	会 場	出席委員	内 容
平成25年2月26日(火)	県民福祉プラザ	10人	<ul style="list-style-type: none"> 組織会 平成24年度事業実績報告 平成25年度事業計画案について

3 社会福祉従事者及び経営者に対する研修の推進

(1) 介護支援専門員の養成に係る研修会等の実施

①介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験期日 平成24年10月28日(日) 午前10時開始

試験会場、受験申込者、受験者数は下記表のとおり

会場名	受験申込者数	受験者数
青森会場 青森山田高等学校	962人	898人
弘前会場 県立弘前工業高校	935人	875人
八戸会場 八戸工業高等専門学校	926人	865人
計	2,823人	2,638人

(参考) これまでの実施状況 (単位：受験者数、合格者数、研修修了者数は[人]、合格率は[%])

年度	県内				全国		
	受験者数	合格者	合格率	研修修了者	受験者	合格者	合格率
10	2,607	995	38.2	971	207,080	91,269	44.1
11	2,281	709	31.1	724	165,117	68,090	41.2
12	2,284	644	28.2	646	128,153	43,854	34.2
13	1,563	381	24.4	388	92,735	32,560	35.1
14	1,585	360	22.7	357	96,207	29,508	30.7
15	1,862	416	22.3	413	112,961	34,634	30.7
16	2,119	466	22.0	466	124,791	37,781	30.3
17	2,189	392	17.9	393	136,030	34,813	25.6
18	2,407	336	14.0	337	138,262	28,391	20.5
19	2,407	384	16.0	386	139,006	31,758	22.8
20	2,468	354	14.3	354	133,072	28,992	21.8
21	2,575	450	17.5	448	140,277	33,119	23.6
22	2,490	341	13.7	339	139,959	28,703	20.5
23	2,539	242	9.5	245	145,529	22,332	15.3
24	2,638	366	13.9	366	146,586	27,905	19.0
計	34,014	6,836	—	6,467	2,045,765	573,709	—

②介護支援専門員実務研修

研修修了者：366人(平成24年度合格者363人、平成23年度合格者2人、受講地変更者1人)

研修内容：44時間(全7日間)

会場	前期1日目日程
県民福祉プラザ	平成25年1月11日(金)もしくは15日(火)

会場	前期2～5日目	後期2日間
八戸市総合福祉会館	平成25年1月24日(木)～27日(日)	平成25年2月27日(水)、28日(木)
つがる弘前農業協同組合	平成25年1月29日(火)～2月1日(金)	平成25年3月12日(火)13日(水)
青森県水産ビル	平成25年2月5日(火)～8日(金)	平成25年3月8日(金)、9日(土)

③介護支援専門員更新研修

研修修了者：207人（平成25年3月6日から平成25年9月18日までに有効期間が満了する者）

研修内容：44時間（全7日間）

会場	前期日程	後期日程	修了者人数
青森県水産ビル	平成24年7月19日（木） ～21日（土）	平成24年 8月22日（水）、23日（木） 9月6日（木）、7日（金）	207人

他に、上記②介護支援専門員実務研修での履修繰越による修了者：32人

④介護支援専門員再研修（更新研修と合同開催）

研修修了者：32人

研修内容：44時間（全7日間）

会場	前期日程	後期日程	修了者人数
青森県水産ビル	平成24年7月19日（木） ～21日（土）	平成24年 8月22日（水）、23日（木） 9月6日（木）、7日（金）	32人

⑤介護支援専門員実務研修受講試験模擬試験・受験対策講座

期日	平成24年8月18日（土）～19日（日）・9月8日（土）の3日間		
会場	青森県総合社会教育センター		
参加者	235人（講義Ⅰ：77人、講義Ⅱ：66人、講義Ⅲ：10人、模擬試験：82人）		
内容	介護支援分野編 講義Ⅰ-1 「介護保険制度と介護支援」 講義Ⅰ-2 「介護支援サービスと介護サービス」 福祉サービス分野／保健医療分野 講義Ⅱ 「保健医療の基礎知識」 講義Ⅲ 「高齢者福祉の基礎知識」 ケアスタディ研究所 代表 井坂 光毅 氏 模擬試験（2012年介護支援専門員実務研修受講試験全国統一模擬試験（直前編））		

- ・平成24年度青森県介護支援専門員更新研修及び再研修に係る講師意見交換会

期日	会場	出席講師	内容
平成24年5月15日（火）	県民福祉プラザ2階 県社協会議室	8人	平成24年度青森県介護支援専門員更新・再研修の持ち方について

- ・青森県介護支援専門員更新研修、再研修及び実務研修に係る検討会

期日	会場	出席講師	内容
平成24年6月19日（火）	県民福祉プラザ2階 県社協会議室他	18人	・科目単位検討会
平成24年11月26日（月）	県民福祉プラザ2階 及びミーティングルーム	12人	・科目単位検討会
平成24年12月11日（火）	県民福祉プラザ4階 中研修室	7人	・科目単位検討会

第4 福祉を担う人材の確保・養成

(2) 経営支援セミナー

【コース1】「リテンションマネージメント講習会」

期 日	平成25年1月16日(水)～17日(木)
会 場	ウェディングプラザアラスカ 4階「ダイヤモンド」
参加者	62人
内 容	講義・演習 「福祉分野における現在の経営環境と考え方」 講義・演習 「具体的な経営改善①雇用形態別の処遇の考え方」 講義・演習 「具体的な経営改善方法②組織の人材育成とキャリアパス」 講義・演習 「ワーキング:キャリアパスを含めた育成ステップの構築について」 株式会社日本経営戦略人事コンサルティング 課長 松浦総太郎 氏

【コース2】「経営者・管理者・人事担当者のためのメンタルヘルス」

期 日	平成25年2月1日(金)
会 場	ウェディングプラザアラスカ 4階「ダイヤモンド」
参加者	37人
内 容	講義・演習 「基礎編 ストレスマネジメントについて」 講義・演習 「応用編 職場のメンタルヘルス不全について」 株式会社保健同人社 顧問 安藤 亘 氏

(3) 福祉職従事者研修会の開催

①新任職員及び中堅職員、管理職員研修

ア) 新任職員研修編：業務3年未満を対象

期日	平成24年5月29日(火)～30日(水)
会場	リンクステーションホール青森(青森市文化会館)4階 中会議室
参加者	115人
内容	研修科目Ⅰ 「福祉の理念と動向」 研修科目Ⅱ 「福祉サービスの実践」 青森県立保健大学 教授 大和田 猛 氏 研修科目Ⅲ 「組織活動、チームアプローチ」 社会福祉法人青森和幸会 理事長 今村 良司 氏 研修科目Ⅳ 「職場の問題解決、課題形成」 特別養護老人ホーム瑞光園 チーフマネージャー 沢田 章 氏 研修科目Ⅴ 「コミュニケーション、報告・連絡・相談」 身体障害者授産施設旭光園 副園長 木立 寿文 氏 研修科目Ⅵ 「チームワークとリーダーシップ」 特別養護老人ホームみちのく 理事人事部長 益城 妃富 氏 研修科目Ⅶ 「能力開発」 社会福祉法人楽晴会 理事長 齋藤 淳 氏

イ) 中堅職員研修編：業務3年以上を対象

期日	平成24年6月26日(火)～27日(水)
会場	リンクステーションホール青森(青森市文化会館)4階 中会議室
参加者	87人
内容	講義・演習 「中堅職員の役割と行動」 講義 「組織活動と職場の問題解決」 演習 「職場の問題発見と整理・解決」 講義・演習 「業務の見直しと改善提案」 (株)エイデル研究所主任研究員 演習・講義 「職場のコミュニケーション」 主任研究員 鈴木 政彦 氏 演習・講義 「チームワークとリーダーシップ」 演習・講義 「パーソナリティの自己認知と人間関係能力向上」 講義 「部下後輩の指導・育成(OJTの進め方)」

ウ) 指導的職員研修編：主任、係長以上を対象

期日	平成24年7月24日(火)～25日(水)		
会場	水産ビル 7階 大研修室		
参加者	81人		
内容	講義	「指導職員としてのマネジメント」	
	演習	「指導的職員の役割行動」(個人ワーク)	
	演習	「指導的職員の役割行動」(グループワーク) 組織文化工学研究所代表	
	講義・解説	「職場運営の実践」 代表 朝川 哲一氏	
	演習・講義	「職員指導・育成の展開とリーダーシップ行動」	
	講義	「職場の問題解決・課題形成」	
	演習	「指導的職員としてのマネジメント課題の明確化」	

②福祉職場内環境整備研修(職場内研修担当者向け研修)

期日	平成24年10月1日(月)～2日(火)		
会場	ウェディングプラザアラスカ 地下1階「サファイア」		
参加者	63人		
内容	講義	「福祉人材育成と職場内研修の必要性」	
	講義・演習	「職場研修の考え方と推進方法」	
	演習・講義	「研修ニーズ分析と年度研修計画の策定」	
	講義	「職場研修担当者の役割と課題」	
		K T福祉研究所 代表 松藤和生氏	

③介護福祉士国家試験模擬試験講座(新)

期日	平成24年11月3日(土)		
会場	県民福祉プラザ4階「大研修室」		
参加者	37人		
内容	模擬試験	「介護福祉士国家試験模擬試験 午前編」	
	模擬試験	「介護福祉士国家試験模擬試験 午後編」	
	講義	「解説講座」	
		解説講座講師 工藤英明氏	
	※模擬試験は、2012年介護福祉士全国統一模擬試験(実力編)を使用。		

④介護職員向け課題別研修(新)

高齢者介護に携わる専門職員を対象に、高齢者が尊厳のある生活を維持できるよう介護の質を高めるための認知症ケアの研修会を開催した。

期日：平成25年2月22日(金)

場所：県民福祉プラザ

参加者：65人

内容：講義「認知症の理解とケア」 演習「認知症の人の心に寄り添うケア」

講師：公益社団法人認知症の人と家族の会青森県支部

認知症ケア専門士 秋田谷 一氏

(4) 青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会との連携及び協働

青森県地域包括・在宅介護支援センター協議会の団体事務を受託し、連携・協働のもと事業を実施した。事業内容等はP40参照。

第4 福祉を担う人材の確保・養成

(5) 青森県ホームヘルパー連絡協議会との連携及び協働

青森県ホームヘルパー連絡協議会の団体事務を受託し、連携・協働のもと事業を実施した。事業内容等はP42 参照。

第5 組織・経営基盤の強化

1 適正な事務執行とけん制体制の確立

(1) 適正な事務執行とけん制体制の確立

①内部監査及び受託団体会計点検の実施

監事監査を2回実施したほか、一般会計及び特別会計の会計伝票及び通帳の確認を中心とした職員による内部監査を4回実施した。また、本会が事務受託している9団体の会計検査を4回実施した。

- ・監事監査：第1回 平成24年5月9日（水）
第2回 平成24年11月14日（水）
- ・内部監査：第1回 平成24年4月17日（火）
第2回 平成24年8月20日（月）・22日（水）
第3回 平成24年11月7日（水）・8日（木）
第4回 平成25年3月21日（木）・22日（金）
- ・団体会計検査：第1回 平成24年4月11日（水）
第2回 平成24年7月20日（金）
第3回 平成24年10月24日（火）
第4回 平成25年1月31日（木）

②顧問税理士制の実施

公認会計士との顧問契約に基づき、毎月1回の訪問による会計伝票等財務諸表の確認及び助言指導を受けた。

③事務取扱要領の作成と周知

収入支出行為、旅費、契約等職員が日常的に行う事務処理について、適正な執行を目的に事務取扱要領（マニュアル）を作成した。

(2) 組織体制の整備・強化に向けた取り組みの継続

従来からの4課制の継続及び事務局次長2名の設置、次長による担当課の掌握、毎月の経営会議・課長会議・課内会議の実施による連絡体制の強化を継続した。

2 総合的な人事管理システムの確立

(1) 人事評価制度の実施

職員の意欲・能力等を把握し、職員の育成と適正な人事配置を行うことを目的に、従来の人事評価要綱を整理し、職員に周知するとともに評価シートを作成し、目標の設定や上司との面談等を実施するとともに、結果を職員にフィードバックした。

(2) 給与体系の見直しに係る検討

本会職員の給与及び職制等について長期的な視野で、職制と給与との整合、昇給・昇格の在り方の整理等を目的に給与体系の見直しを行い、職員の給与に関わる規程等の改正を行った。

(3) 資質向上に向けた職員研修の進行管理

職員の意識改革、事務執行に係る技術向上を目的に特別研修を実施した他、従来の職員研修要綱を整理し、各職員において研修計画を作成・実施し、評価した。

また、随時、研修担当職員から事務局内外の研修開催の情報を職員に提供した。

○職員特別研修

第1回

期 日：平成24年5月25日（金）

内 容：「リスクマネジメント」

講 師：県行政経営推進室 副参事 坂本敏昭 氏

第2回

期 日：平成24年6月5日（火）

内 容：「財務事務の適正執行について」

講 師：県出納局 副参事 奈良岡達也 氏

第3回

期 日：平成24年7月27日（金）

内 容：「責任と倫理～県社協職員の使命」

講 師：県行政相談室 中野利正 氏

3 役員体制の強化

(1) 理事による各委員会担当制の実施

本会が所管する委員会の担当理事を選任し、委員会への出席や開催状況について理事会で報告を行うことで理事が主体的に法人運営に参画している。

(2) 事務局だよりの発行等による情報提供の実施

理事・監事・評議員に本会事業の実施状況等の情報提供を目的に、事務局だよりを4回作成し、配布した。

4 会員制度の管理と必要な見直し

(1) 正会員及び賛助会員の拡大及び普及の強化

本会主催の会議や研修会に会員募集チラシを同封し加入促進を図るとともに、関係する業者・団体等へ賛助会員の継続及び新規加入に向けた周知を行っている。

平成24年度新規加入会員：一般会員27施設・団体、賛助会員13企業・団体

(2) 研修会割引制度等の会員特典の整理と充実による加入促進

会員に対して本会主催の研修会参加費や第三者評価受審料・講師派遣事業料金の割引特典を実施中。また、会員に限定した福祉基金貸付事業を実施するなど会員加入の拡大に努めた。

5 事務事業の進行管理と自己評価

(1) 活動指針及び事業計画の進行管理

活動指針に基づく平成24年度事業について各課・センター及び事務局において進行管理し事業の停滞が発生しないよう努めた。

(2) 事務事業評価の実施

平成25年度事業計画・当初予算作成時に、当年度事業の執行状況を確認・評価し、次年度計画・予算作成に反映させた。

6 自主財源の強化と公的財源の確保

(1) 幅広いスポンサー制度の活用

本会発行の広報誌「福祉のひろば」及び県社会福祉大会資料への企業広告の掲載について県内企業・団体への呼びかけを実施している。

①福祉のひろば 3社

②県社会福祉大会 51企業・団体

その他、出版社との契約による図書の斡旋を継続している他、福利厚生センター事業における家庭常備薬の斡旋対象を本会会員にも拡充し自主財源の獲得に努めている。

(2) 愛の輪基金の運営

愛の輪基金の運用による果実(利息)を活用し、地域福祉推進に関わる各事業を実施した。(詳細は事業報告書P35に掲載)

(3) 公的財源の確保に向けた関係行政機関との協議

青森県からの補助・委託事業を23事業・380,692千円で事業を実施した。

25年度事業の執行に向けて県関係課へ補助事業・委託事業の継続に向け情報収集・協議を行った。

(4) 共同募金配分金の活用

県共同募金会からの配分金を受け、地域福祉推進に関わる各事業を実施した(4,840千円:9事業)。

なお、25年度使用分として5,540千円:8事業が計画されている。

(5) 民間助成事業等の活用

青森県における災害時の福祉支援ネットワーク構築に関する事業

(財源：独立行政法人福祉医療機構助成金)

- ・災害時に要援護者への福祉的支援を行うため、県単位で福祉支援ネットワーク本部（協議会形式）を設置し、平時より県内の関係団体等と連携を図りながら、災害福祉支援ネットワークの構築を図ることを目的として、今年度は準備会を開催した。

期 日	平成 25 年 3 月 28 日（木）
会 場	青森グランドホテル2階「春日の間」
参加者	16 人（関係団体及び県行政）
内 容	青森県における災害時の福祉支援ネットワーク構築に関する準備会 ・本事業の概要について ・岩手県の取り組みについて 社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 福祉人材研修部長 畠山泰彦 氏 ・意見交換 ・今後のスケジュールについて

7 経費の縮減と事務処理の効率化

(1) 通信運搬費の削減に向けた実践

電子メールやファクシミリの活用による通信運搬費の削減や郵便料金の後納による事務処理の削減に努めている。

(2) 光熱水費の削減に向けた実践

事務局内の照明数の削減や休憩時間における消灯の励行、空調の温度調節等による光熱水費の削減に努めている。

(3) 事務処理の効率化

電子メールによる郵送発送に係る労力削減や印刷用紙の再利用、コピーによる大量印刷の制限等により係る経費の削減に努めている。

役職員が参画している関係機関・団体等が主催する会議・委員会等【順不同】

No.	名 称	委員構成（参集範囲）	参加者職名	出席回数
1	青森県医療審議会	医師、歯科医師、薬剤師、医療を受ける立場にある者、学識経験者	会長	3
2	青森県自殺対策連絡協議会	学識経験者、医療関係、職域関係、産業団体、地域団体、教育関係団体、警察、行政	会長	-
3	公益社団法人あおもり被害者支援センター	知事、県議会、市長会、町村会、大学、教育委員会、医療関係団体、福祉関係団体、経済関係団体、警察本部（理事会推薦者）	会長	-
4	青森県交通対策協議会委員会	県等行政、自動車関係団体、福祉団体、報道関係	会長	1
5	青森県食育推進会議	教育関係団体、消費関係団体、生産・流通関係団体、医療関係者、福祉関係団体、学識経験者、情報関係者、行政	会長	1
6	「社会を明るくする運動」青森県推進委員会	県、市町村、政治団体、福祉関係団体、教育関係団体、金融関係、商工・観光関係、報道関係、更生団体	会長	1
7	青森地域雇用機会増大促進協議会	商工・観光関係、青森市、大学、福祉関係団体	会長	1
8	青森県後期高齢者医療広域連合運営懇談会	学識経験者・公益代表、保健医療機関等、保険者代表、被保険者等	会長	-
9	青森県次世代育成支援対策地域協議会	福祉団体、保健・医療団体、教育団体、経済団体、NPO等、学識経験者、報道関係、国、県議会、地方公共団体	会長	1
10	第20回青森県障害者スポーツ大会実行委員会	福祉団体、スポーツ関係団体、県	会長	3
11	第20回青森県障害者スポーツ大会	福祉団体、スポーツ関係団体、県、教育庁、各市福祉事務所、盲学校、聾学校、養護学校、その他	会長	1
12	社団法人青森県防犯協会連合会	地区防犯協会、学識経験者等、本会の目的に賛同して事業を援助する個人・団体	会長	1
13	青森県住宅政策検討委員会	建築関係団体、福祉関係団体、消費関係団体	会長	-
14	全国社会福祉協議会	各都道府県社会福祉協議会	会長	6
15	第17回日本看護サミット青森'12	医療関係団体、福祉関係団体、病院、教育団体	会長	1
16	命を大切に作る心を育む県民運動推進会議	運動の趣旨に賛同した教育・福祉・医療や青少年健全育成などの民間団体や関係機関	会長	-
17	青森県精神保健福祉審議会	医療従事者、社会参加支援者、学識経験者	会長	1

No.	名 称	委員構成 (参集範囲)	参加者職名	出席回数
18	青森県人づくり戦略推進会議	商工・観光関係、農林水産関係、医療・福祉関係、建設関係、金融関係、教育関係、文化・スポーツ関係、地域活動関係、市町村関係、県	会長	1
19	青森県北方領土返還促進協議会	北方領土返還要求運動の趣旨に賛同する団体	会長	1
20	青森県観光国際戦略会議	行政関係、経済関係、観光関係、県産品・農林水産関係、交通・物流関係、地域取組組織、地域活動組織、マスコミ関係	会長	1
21	青森県保健・医療・福祉包括ケアシステム推進協議会	保健・医療団体、福祉関係団体	専務理事	1
22	青森県国民健康保険団体連合会介護給付費審査委員会	公益代表、市町村代表、介護給付等対象サービス提供事業者代表	専務理事	12
23	青森県老人クラブ連合会	各市町村老人クラブ代表、県老連女性部、学識経験者	専務理事	1
24	あおもり高齢者すこやか自立プラン推進協議会	保健医療団体、福祉団体、学識経験者、その他関係団体	専務理事	-
25	青森県国民健康保険団体連合会介護サービス苦情処理委員会	社協関係者、医療関係者、青森県	専務理事	5
26	障害者地域リハビリテーション推進連絡会議	保健・医療団体、職業関係団体、社会福祉団体、教育関係団体	専務理事	1
27	第20回青森県障害者スポーツ大会	福祉団体、スポーツ関係団体、県、教育庁、各市福祉事務所、盲学校、聾学校、養護学校、その他	専務理事	1
28	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	各都道府県社会福祉協議会代表者	事務局長	2
29	全国社会福祉協議会 政策委員会	都道府県社協事務局長、指定都市社協事務局長、市区町村社協事務局長、全国民生委員児童委員連合会副会長、社会福祉施設・在宅事業等組織、全国社会福祉施設経営者協議会、団体連絡協議会、関係団体、全社協	事務局長	1
30	青少年育成青森県民会議	この会議の目的に賛同して入会した個人、団体	事務局長	2
31	公益補助要望事業等推薦委員会	県、県社協、県共募、民生委員代表	事務局長	1
32	障害者110番運営委員会	行政機関、その他関係機関	事務局長	1
33	青森県障害者社会参加推進協議会	行政機関、その他関係機関	事務局長	1
34	青森県身体障害者スポーツ振興基金運営委員会	県、スポーツ関係団体、共同募金会、県社協	事務局長	1
35	「愛のこだま基金」運営委員会	寄付者代表、学識経験者、県職員	事務局長	1

役職員が参画する会議・委員会等

No.	名 称	委員構成 (参集範囲)	参加者職名	出席回数
36	あおもり新しい公共支援事業運営委員会	学識経験者、中間支援組織、NPO等、企業、経済団体、金融機関等、会計専門家、市町村行政	事務局次長	2
37	黒石市旧農林総合研究センター等利用検討委員会	農林業団体、商工業・観光業団体、教育・文化団体、福祉団体、その他	事務局次長	7
38	福祉人材確保推進協議会	県行政、無料職業紹介事業者、介護福祉士養成施設、福祉団体	福祉人材センター所長	1
39	青森県認知症対策検討委員会	医療関係、学識経験者、福祉団体、行政、その他(家族会)	介護実習・普及センター所長	2
40	青森県介護予防市町村支援委員会等	医療関係、学識経験者、福祉団体、行政等	介護実習・普及センター所長	-
41	青森県介護支援専門員協会	福祉団体、医療関係、介護関係、各地区介護支援専門員連絡協議会等	介護実習・普及センター所長	-
42	青森県ナースセンター事業運営委員会	医療機関団体及び関係団体	介護実習・普及センター所長	1
43	集合住宅高齢者生活支援システム検討委員会	学識経験者、福祉団体、行政等	地域福祉課課長代理	1
44	青森県道徳教育推進協議会	教育関係者、福祉団体等	地域福祉課課長代理	1
45	青森県地域防災連絡会議	行政、自治会、福祉団体等	地域福祉課課長代理	2
46	県福祉オンブズマン県民フォーラム2012実行委員会	NPO 法人役員、福祉事業所役職員	運営適正化委員会事務局係長	3
47	青森県多重債務者対策協議会	弁護士、司法書士、県行政、県警、関係団体	生活支援課福祉資金係長	1
48	青森県生活福祉・就労支援協議会	県・市町村行政、公共職業安定所、労働局	生活支援課福祉資金係長	1
49	権利擁護センターごしよがわら運営委員会	学識経験者、市町村行政、福祉団体	生活支援課相談支援係 係長心得	1
50	障害者地域リハビリテーション推進連絡会議	医療関係、介護関係、建築関係、障害福祉関係等	介護実習・普及センター主事	1

全国及び北海道・東北ブロック会議（県社協出席分）

〔全国関係〕

都道府県・指定都市社会福祉協議会 新会計基準の導入に伴う社協モデル経理規程の改正に関する説明会	4月5日	東京都
福祉人材情報システム研修会	4月18日～20日	東京都
平成24年度都道府県・指定都市社会福祉協議会 部・課・所長会議	4月25日～26日	東京都
全社協第189回理事会	5月17日	東京都
全社協第167回評議員会	5月18日	東京都
平成24年度全国社会福祉協議会政策委員会総会	5月18日	東京都
無料職業紹介責任者講習	5月22日	東京都
第三者評価事業普及協議会	5月23日	東京都
第三者評価指導者研修会	5月23日～26日	東京都
平成24年度 都道府県・指定都市社会福祉協議会日常生活自立支援事業所長会議	5月30日	東京都
平成24年度都道府県福祉人材センター全国連絡会議	6月4日～5日	東京都
平成24年度都道府県・指定都市民生委員児童委員協議会事務局会議	6月13日～14日	東京都
福祉人材センター職員研修会（業務・法令理解編）	7月2日～3日	東京都
運営適正化委員会事業研究協議会	7月6日	東京都
平成24年度全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	7月9日～10日	東京都
障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修会	7月9日～11日	東京都
平成24年度広報力強化セミナー	7月11日～12日	東京都
平成24年度都道府県・指定都市社会福祉協議会管理職員研修会	7月24日～26日	神奈川県
平成24年度都道府県・指定都市社会福祉協議会常務理事・事務局長セミナー	7月26日～27日	神奈川県
全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	7月27日	神奈川県
平成24年度全国福祉教育セミナー	8月8日～9日	東京都
平成24年度「介護サービス情報の公表」制度担当者会議	8月31日	東京都
平成24年度社会福祉トップセミナー	9月10日～11日	東京都
平成24年度全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会	9月12日～14日	宮城県
運営適正化委員会相談員研修会	10月2日～3日	東京都
第17回日本看護サミット'12	10月18日	青森県
平成24年度全国介護実習・普及センター等関係連絡会議	11月8日～9日	愛知県
第190回全社協理事会	11月15日	東京都
平成24年度全国社会福祉大会	11月16日	東京都
平成24年度社協ボランティア・市民活動センター担当職員研究セミナー	12月4日～5日	東京都
新会計基準対応 社協モデル経理規程研修会	12月26日	東京都
平成24年度都道府県・指定都市社協常務理事・事務局長会議	1月25日	東京都
全国社会福祉団体職員退職手当積立基金運営委員会	1月25日	東京都
平成24年度福祉教育実践研究会	2月11日	東京都

平成 24 年度福祉人材情報システム改修に係る新機能説明会	2 月 27 日	東京都
平成 24 年度地域密着型サービス サービス評価報告会・評価機関報告会	3 月 16 日～17 日	東京都
全社協第 191 回理事会	3 月 6 日	東京都
全社協第 169 回評議員会	3 月 7 日	東京都
第三者評価指導者研修会	3 月 6 日～7 日	東京都
平成 24 年度都道府県・指定都市社会福祉協議会地域福祉担当部課長会議	3 月 15 日	東京都

〔北海道・東北ブロック関係〕

平成 24 年度東北地区社会就労センター協議会総会	6 月 7 日	青森市
平成 24 年度北海道・東北ブロック道県・指定都市市民児協会長等会議	6 月 21 日～22 日	北海道
平成 24 年度全国民間社会福祉従事者共済連絡協議会	7 月 12 日～13 日	岩手県
北海道・東北ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議	10 月 26～26 日	盛岡市
平成 24 年度北海道・東北ブロック道県・指定都市社会福祉協議会総務部課長会議	11 月 27～28 日	福島市
平成 24 年度北海道・東北ブロック道県・政令指定都市社会福祉協議会地域福祉担当部課長会議	11 月 27 日～ 28 日	福島市

本 会 の 組 織

平成 25 年 3 月 15 日現在

会長・副会長・理事 (14 人) ※欠員 1 人

会 長	前 田	保												
副会長	田 口	豊 實												
”	石 澤	善 成												
”	三 浦	昭 子												
理 事	三 上	弘 文	船 水	松 春	岩 渕	惣 二	坂 本	美 洋						
	工 藤	光 則	藤 岡	正 昭	高 樋	忍	船 木	昭 夫						
	高 杉	金之助												

監 事 (3 人)

長谷川 有 実 白 取 肇 三 浦 裕

評議員 (32 人) ※1 人欠員

第 1 号評議員 (郡・市社会福祉協議会 7 人)

川 村 恒 儀 江 渡 恵 美 平川 満 昭 外 川 三千雄
後 藤 秀次郎 山 口 成 明

第 2 号評議員 (民生委員・児童委員 3 人)

津 島 壽 一 古 館 義 美 新 保 なり子

第 3 号評議員 (関係社会福祉団体 13 人)

渡 邊 建 道 中野渡 勇 治 棟 方 光 秀 分 枝 勝 則
幾 田 せい子 今 本 芳 穂 鶴 賀 晃 前 田 洋 子
三 上 一 夫 神 和 子 奈 良 秀 夫 風 晴 賢 治
齋 藤 文 子

第 4 号評議員 (関係行政機関 2 人)

石 田 一 成 菊 地 公 英

第 5 号評議員 (学識経験者 4 人)

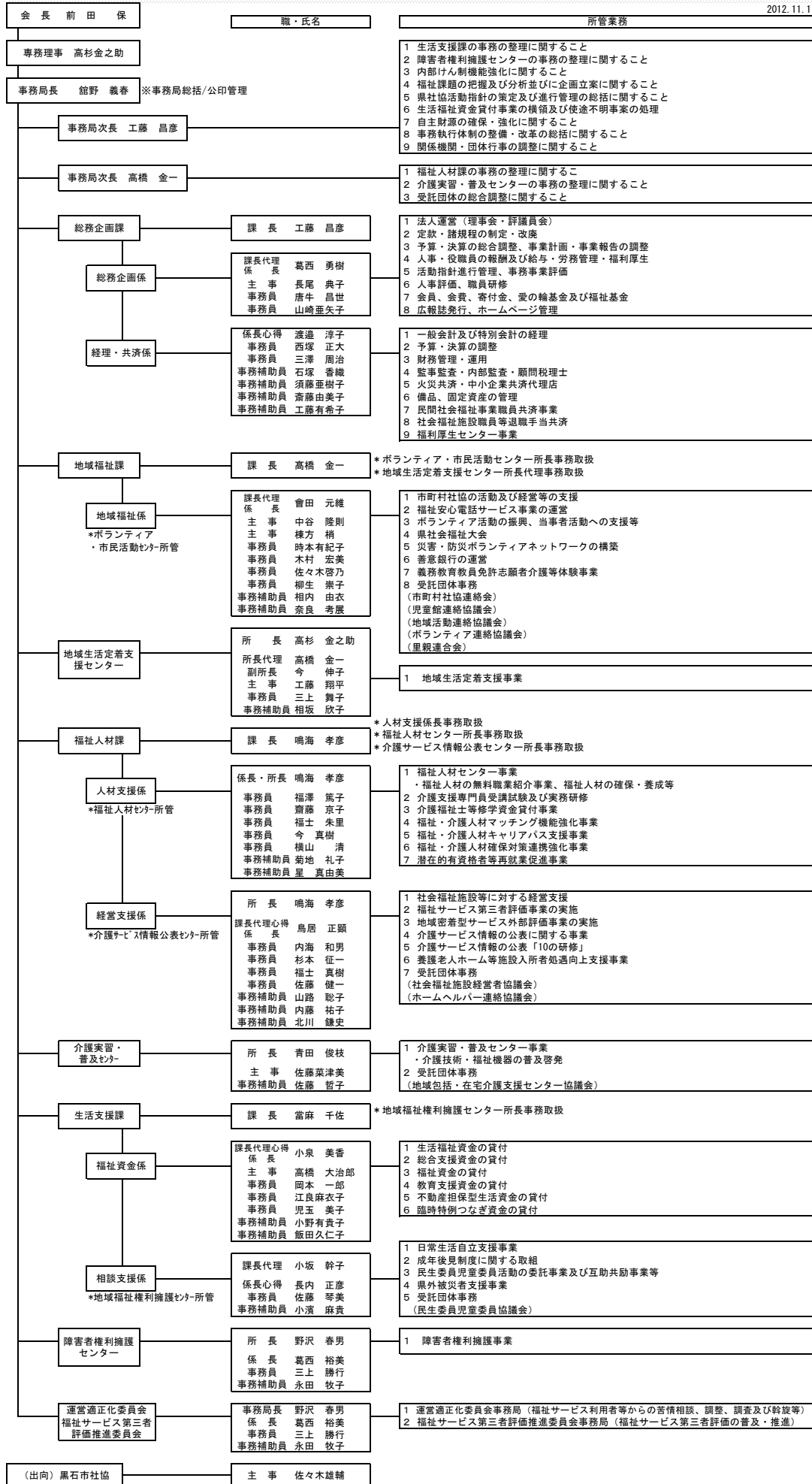
上 野 正 蔵 寺 田 義 秋 高 谷 修 吉 川 源 悟

第 6 号評議員 (賛助会員 3 人)

阿 部 征 裕 福 田 常 世 藤 田 久 治

青森県社会福祉協議会・平成24年度事務局組織図

2012.11.1



会 務 の 運 営

1 理事会

期 日	会 場	出席者	案 件
第1回 平成24年 5月23日(水)	県民福祉プラザ 4階	理事 12人 監事 3人	【 議 案 】 1 平成23年度事業報告について 2 平成23年度一般会計及び特別会計収入支出決算について 3 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について 4 社会福祉法人青森県社会福祉協議会青森県地域生活定着支援センター運営規程の一部改正について 5 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について 6 社会福祉法人青森県社会福祉協議会育児休業及び育児短時間勤務等に関する規程の一部改正について 7 社会福祉法人青森県社会福祉協議会嘱託職員等育児休業及び育児短時間勤務等に関する規程の一部改正について 8 社会福祉法人青森県社会福祉協議会嘱託職員等介護休業及び介護短時間勤務等に関する規程の一部改正について 9 社会福祉法人青森県社会福祉協議会評議員の選任について 【 報 告 】 1 委員会担当理事からの報告について
第2回 平成24年 10月4日(木)	青森グランドホテル2階	理事 13人 監事 2人	【 議 案 】 1 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について 2 社会福祉法人青森県社会福祉協議会常勤役員の給与等に関する規程の一部改正について 3 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について 4 社会福祉法人青森県社会福祉協議会嘱託職員等就業規程の一部改正について 5 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について 6 社会福祉法人青森県社会福祉協議会評議員の選任について 7 使途不明金に係る請求について 【 報 告 】 1 県指導監査の結果について 2 委員会担当理事からの報告について
第3回 平成24年 12月20日(木)	青森国際ホテル 5階	理事 14人 監事 2人	【 議 案 】 1 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について 2 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員の給与

			<p>規程の一部改正について</p> <p>3 社会福祉法人青森県社会福祉協議会常勤役員の給与等に関する規程の一部改正について</p> <p>【 報 告 】</p> <p>1 監事監査の結果について</p> <p>2 詐欺横領事件に係る損害賠償請求について</p> <p>3 委員会担当理事からの報告について</p>
<p>第4回</p> <p>平成25年 2月7日(木)</p>	<p>県民福祉プラザ 2階</p>	<p>理事 10人 監事 2人</p>	<p>【 議 案 】</p> <p>1 社会福祉法人青森県社会福祉協議会評議員の選任について</p> <p>2 青森県民間社会福祉事業職員共済事業における積立金の運用受託機関等の選定について</p> <p>3 社会福祉法人青森県社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>4 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について</p> <p>5 社会福祉法人青森県社会福祉協議会旅費規程の一部改正について</p> <p>6 社会福祉法人青森県社会福祉協議会嘱託職員等就業規程の一部改正について</p> <p>【 報 告 】</p> <p>1 詐欺横領事件に係る損害賠償請求について</p>
<p>第5回</p> <p>平成25年 3月15日(金)</p>	<p>県民福祉プラザ 4階</p>	<p>理事 10人 監事 1人</p>	<p>【 議 案 】</p> <p>1 社会福祉法人青森県社会福祉協議会会長及び副会長の選任について</p> <p>2 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について</p> <p>3 平成25年度事業計画について</p> <p>4 平成25年度一般会計及び特別会計収入支出予算について</p> <p>5 社会福祉法人青森県社会福祉協議会職員の給与規程の一部改正について</p> <p>6 社会福祉法人青森県社会福祉協議会常勤役員の給与等に関する規程の一部改正について</p> <p>7 理事の委員会担当について</p>

2 評議員会

期 日	会 場	出席者	案 件
<p>第1回</p> <p>平成24年 5月23日(水)</p>	<p>県民福祉プラザ 4階</p>	<p>評議員 19人 監 事 2人</p>	<p>【 議 案 】</p> <p>1 平成23年度事業報告について</p> <p>2 平成23年度一般会計及び特別会計収入支出決算について</p> <p>3 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について</p>
<p>第2回</p> <p>平成24年 10月4日(木)</p>	<p>青森グランドホテル2階</p>	<p>評議員 19人 監 事 1人</p>	<p>【 議 案 】</p> <p>1 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出予算の補正について</p>
<p>第3回</p>	<p>青森国際ホテル 5</p>	<p>評議員 20人</p>	<p>【 議 案 】</p> <p>1 平成24年度一般会計及び特別会計収入支出</p>

平成 24 年 12 月 20 日 (木)	階	監 事 2 人	予算の補正について 【 報 告 】 1 監事監査の結果について 2 詐欺横領事件に係る損害賠償請求について
第 4 回 平成 25 年 3 月 5 日 (火)	県民福祉プラザ 4階	評議員 25 人 監 事 2 人	【 議 案 】 1 理事及び監事の選任について 【 報 告 】 1 詐欺横領事件に係る損害賠償請求について
第 5 回 平成 25 年 3 月 15 日 (金)	県民福祉プラザ 4階	評議員 26 人 監 事 2 人	【 議 案 】 1 平成 24 年度一般会計及び特別会計収入支出 予算の補正について 2 平成 25 年度事業計画について 3 平成 25 年度一般会計及び特別会計収入支出 予算について

3 監査

期 日	会 場	出席者	監 査 事 項
第 1 回 平成 24 年 5 月 9 日 (水)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	監事 3 人	1 平成 23 年度業務執行状況 2 平成 23 年度一般会計及び特別会計の経理状況
第 2 回 平成 24 年 11 月 14 日 (水)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	監事 3 人	1 平成 24 年度上半期事業報告について 2 平成 24 年度上半期決算報告について

4 正副会長会議

期 日	会 場	出席者	案 件
第 1 回 平成 24 年 5 月 11 日 (金)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 4 人	1 理事会・評議員会に付議する事項等について
第 2 回 平成 24 年 9 月 14 日 (金)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 4 人	1 理事会・評議員会に付議する事項等について
第 3 回 平成 24 年 12 月 6 日 (木)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 4 人	1 理事会・評議員会に付議する事項等について
第 4 回 平成 25 年 1 月 29 日 (火)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 3 人	1 理事会に付議する事項等について
第 5 回 平成 25 年 2 月 19 日 (火)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 3 人	1 評議員会に付議する事項等について
第 6 回 平成 25 年 3 月 5 日 (火)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	正副会長 3 人	1 理事会・評議員会に付議する事項等について

5 評議員推薦委員会

期 日	会 場	出席者	案 件
第 1 回 平成 24 年 8 月 29 日 (水)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	推薦委員 4 人	評議員の選任について
第 2 回 平成 24 年 12 月 26 日 (水)	県民福祉プラザ 2 階 県社協会議室	推薦委員 5 人	評議員の選任について

会 員 の 状 況

1 正会員

(1) 市町村社会福祉協議会	40 社協
(2) 社会福祉施設	967 施設
① 入所施設	200 施設
② 通所施設	564 施設
③ その他	203 施設
(3) 社会福祉団体	47 団体

2 賛助会員

(1) 企業団体等 (46 団体) ※順不同

会 社 ・ 団 体 名	
株式会社みちのく銀行	新日本法規出版株式会社仙台支社
株式会社青森銀行	都築電気株式会社東北営業所
青森県信用組合	東洋建物管理株式会社
東北労働金庫青森県本部	有限会社青森ウイールチェアー
財団法人むつ小川原地域・産業振興財団	東洋シルバーサービス株式会社
株式会社国際ホテル	青森コロニー印刷
有限会社青森グランドホテル	株式会社ヒグチ
株式会社南部屋旅館	株式会社ヒロタ
青森ケーブルテレビ株式会社	株式会社ぶんき
公益社団法人青森県医師会	有限会社クロタキ
社団法人青森県薬剤師会	大日商事株式会社仙台連絡所
東洋光伸株式会社	株式会社イワテシガ
富国生命保険相互会社青森支社	株式会社立山システム研究所
株式会社アール・エー・ビー企画	株式会社青森共同計算センター
青森県火災共済共同組合	日興通信株式会社青森支店
山田揚一法律事務所	株式会社こがわ
小野寺高公認会計士税理士事務所	エイチピースタイリング
株式会社マルキ	アップルパレス青森
株式会社コーセイ印刷	地方職員共済組合ラ・プラス青い森
ワタナベサービス	株式会社エアートレンド
さかき経営労務管理センター	ホテル青森
日本原燃株式会社	株式会社アラスカ
株式会社青森テレビ	株式会社エムケービジネス

(2) 個人 (41 人) ※順不同、敬称略

前田保	田口豊實	石澤善成	福士悦郎	岩渕惣二
三上弘文	坂本美洋	高杉金之助	工藤光則	黒田進二
中山辰巳	三浦昭子	船水松春	寺田義秋	外川三千雄
後藤秀次郎	工藤光男	古館義美	棟方光秀	高谷修
吉川源悟	三上一夫	江渡恵美	津島壽一	新保なり子
今本芳穂	神和子	中山瑤和子	藤田久治	白取肇
三浦裕	良原せつ	奥田稔	対馬清典	三浦善二郎
佐々木信弘	工藤俊幸	下田亨	小山内敬子	工藤慶広
舘野義春				

3 特別会員 (福祉安心電話加入者)

40 市町村 2,852 人

4 寄附金等一覧

寄付者・団体名	寄付金額 (円)	備考
高杉金之助	10,000	
青森自然薬研究会	30,824	
青森県信用金庫協会	462,034	
NPO 法人モバイル・コミュニケーション・ファン ド/株NTT ドコモ 東北支社/株NTT ドコモ 東 北支社青森支店	500,000	
高杉金之助	20,000	
青森県ターゲットバードゴルフ協会	45,000	
NPO 法人青森県土佐犬友好会	87,111	
日本原燃株式会社	143,117	
麒麟マーケティング株式会社青森支社	120,000	
ジューキ編物講師会	7,760	
あすなろコーラス	28,210	
柴田壽	5,000	
青森自然薬研究会	34,713	
青森いづみ会	72,849	
東洋建物管理株式会社	31,005	
株式会社国際ホテル	100,000	
株式会社エフエム青森	232,150	震災
故伊勢田岳人御遺族	100,000	
公益社団法人柔道整復師会	200,000	
匿名希望	2,273,141	
計	4,502,914	